

## 4 少子高齢化への取組について

**問17** あなたは、つくば市には安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると思いますか。 <○は1つ>

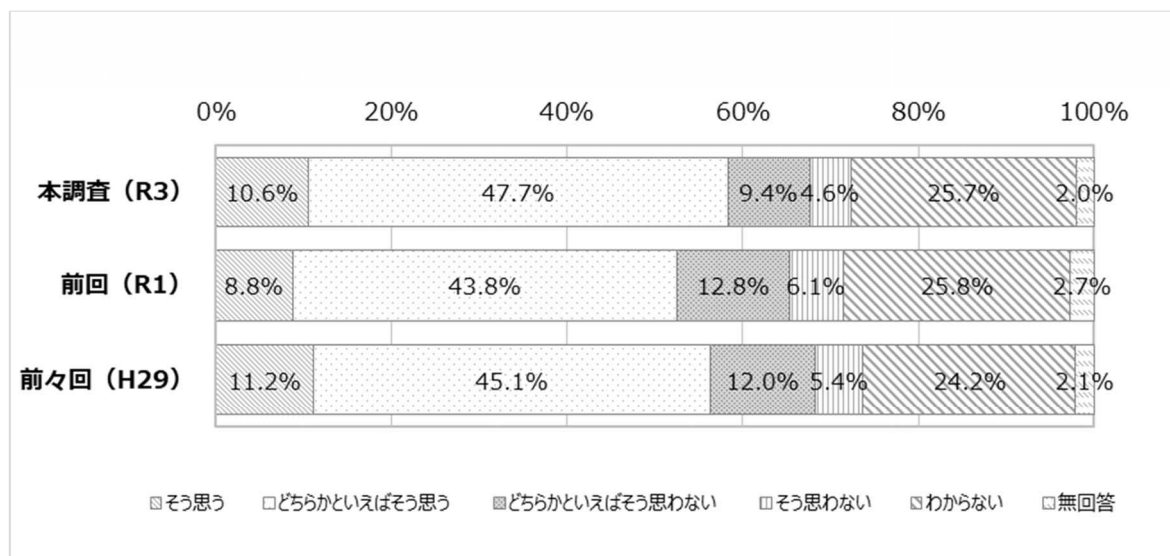
## ① 全体集計の結果

●子育て環境が整っているかについては、「そう思う/どちらかといえばそう思う」が6割近く

・つくば市に安心して子どもを産み育てられる環境が整っているかについては、「どちらかといえばそう思う」が834人(47.7%)で最も多く、「わからない」が450人(25.7%)、「どちらかといえばそう思わない」が165人(9.4%)が続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
そう思う	186	10.6%	8.8%	11.2%
どちらかといえばそう思う	834	47.7%	43.8%	45.1%
どちらかといえばそう思わない	165	9.4%	12.8%	12.0%
そう思わない	81	4.6%	6.1%	5.4%
わからない	450	25.7%	25.8%	24.2%
無回答	35	2.0%	2.7%	2.1%
全体	1,751	100.0%	100.0%	100.0%

## &lt;過年度調査との比較&gt;



## 4 少子高齢化への取組について

**問17** あなたは、つくば市には安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると思いますか。 <〇は1つ>

### ② クロス集計

そう思う      どちらかとい      どちらかといえ  
えばそう思う      ばそう思わない      そう思わない      わからない      無回答



#### 【地区別】

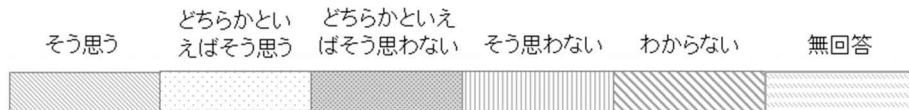
・全ての地区で「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が40%を超えている。



#### 【年齢別】

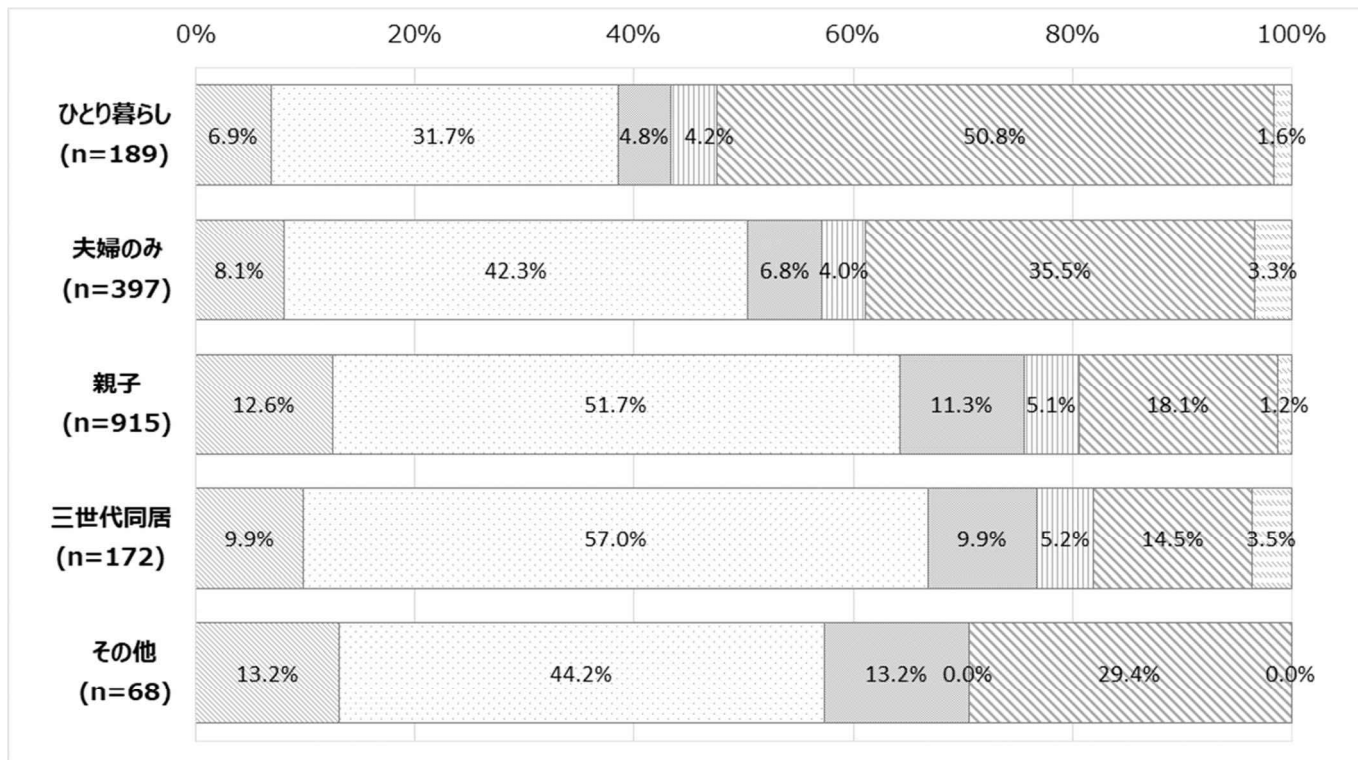
・10歳代、30歳～60歳代では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が55%を超えている。  
 ・30歳代では「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が19.7%で最も多く、次いで40歳代が17.9%となっている。





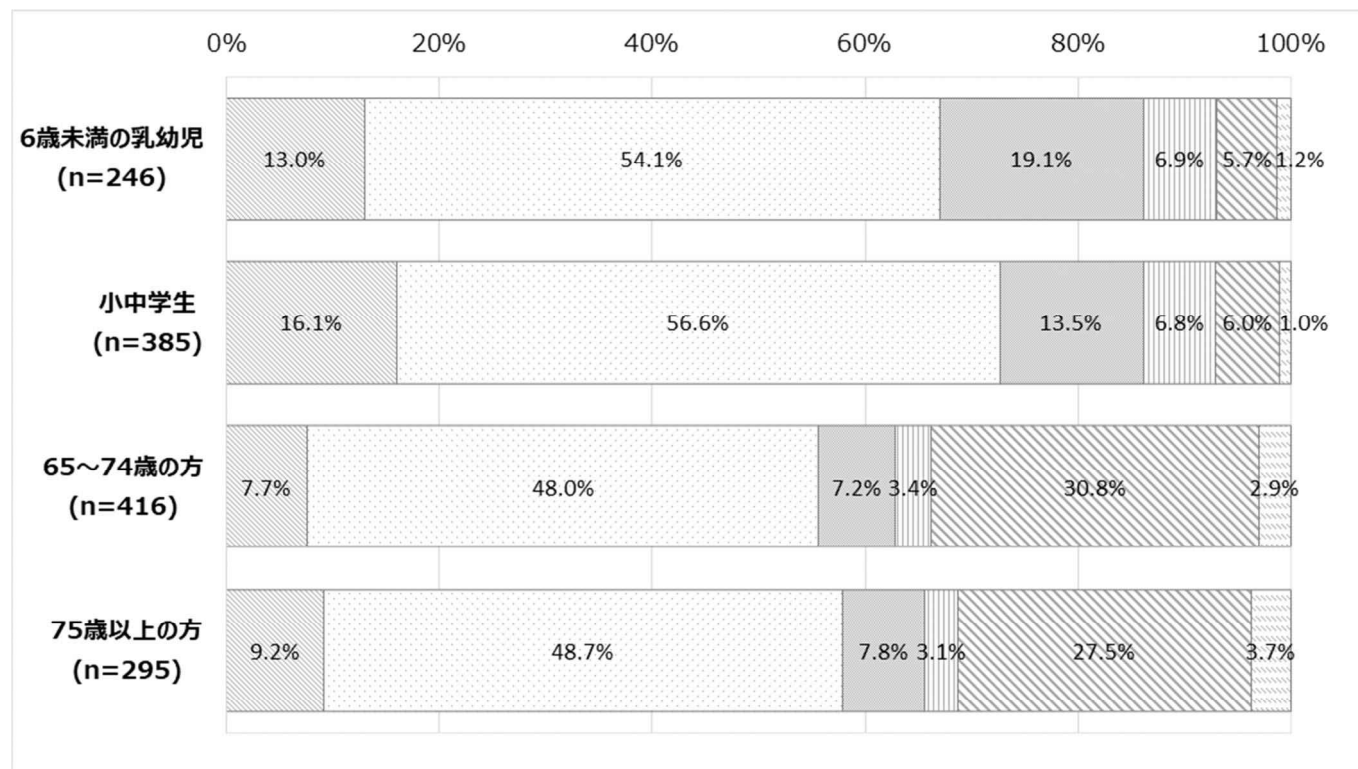
【世帯構成別】

・親子、三世帯同居では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が60%を超えている。



【世帯に含む人別】

・6歳未満の乳幼児、小中学生では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が60%を超えている。



## 4 少子高齢化への取組について

**問 18** 安心して子どもを産み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。  
 <〇は当てはまる欄すべて>

●子育て環境について、充実していると思うものは「子育て世代への経済的支援」が3割半ば、不足していると思うものは「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000」が約2割半ば

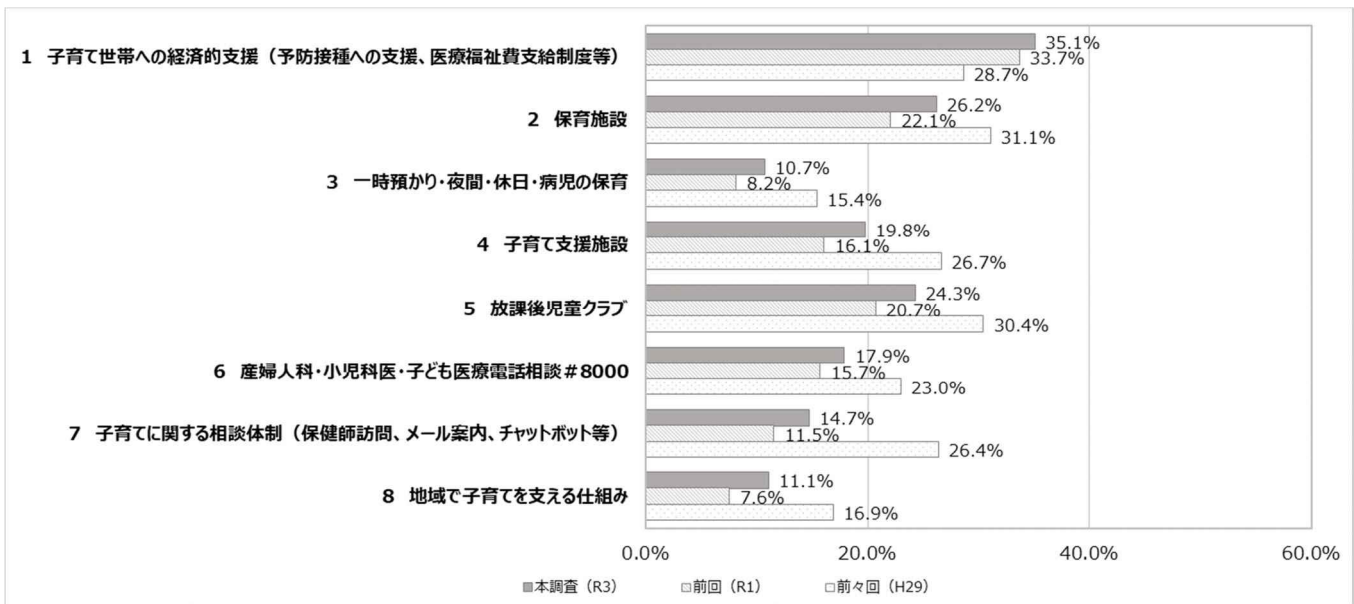
<充実していると思うもの>

### ① 全体集計の結果

つくば市で子育て環境で充実していると思うものについては、「子育て世帯への経済的支援」が614人(35.1%)と最も多く、「保育施設」が458人(26.2%)、「放課後児童クラブ」が426人(24.3%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 子育て世帯への経済的支援(予防接種への支援、医療福祉費支給制度等)	614	35.1%	33.7%	28.7%
2 保育施設	458	26.2%	22.1%	31.1%
3 一時預かり・夜間・休日・病児の保育	188	10.7%	8.2%	15.4%
4 子育て支援施設	347	19.8%	16.1%	26.7%
5 放課後児童クラブ	426	24.3%	20.7%	30.4%
6 産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	313	17.9%	15.7%	23.0%
7 子育てに関する相談体制(保健師訪問、メール案内、チャットボット等)	258	14.7%	11.5%	26.4%
8 地域で子育てを支える仕組み	195	11.1%	7.6%	16.9%
全体(有効回答数)	1,751			

<過年度調査との比較(項目順)>





② クロス集計

【地区別】

- ・大穂地区以外の全ての地区で「子育て世帯への経済的支援」、大穂地区では「放課後児童クラブ」が最も多くなっている。また、全ての地区で「保育施設」が上位に入っている。
- ・TX沿線地区以外の全ての地区で「放課後児童クラブ」が上位に入っている。TX沿線地区では「子育てに関する相談体制」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=121)	子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		保育施設		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	
	56	46.3%	41	33.9%	37	30.6%	25	20.7%	22	18.2%
大穂地区 (n=104)	放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		保育施設		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	
	39	37.5%	37	35.6%	34	32.7%	19	18.3%	18	17.3%
豊里地区 (n=118)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	
	48	40.6%	34	28.8%	30	25.4%	25	21.2%	19	16.1%
谷田部地区 (n=242)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	
	72	29.8%	64	26.4%	52	21.5%	43	17.8%	33	13.6%
桜地区 (n=164)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		子育てに関する相談体制	
	68	41.5%	66	40.2%	59	36.0%	45	27.4%	28	17.1%
荻崎地区 (n=174)	子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000		保育施設/子育てに関する相談体制			
	30	17.2%	23	13.2%	23	13.2%	15		9	
研究学園地区 (n=507)	子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		保育施設		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	
	171	33.7%	132	26.0%	128	25.2%	111	21.9%	99	19.5%
TX沿線地区 (n=321)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000		子育て支援施設		子育てに関する相談体制	
	132	41.1%	80	24.9%	75	23.4%	66	20.6%	58	18.1%

【年齢別】

- ・65歳から74歳以外の全ての年齢で「子育て世帯への経済的支援」が最も多くなっている。
- ・全ての年齢で「保育施設」が上位に入っている。
- ・30歳代以外の全ての年齢で「放課後児童クラブ」が上位に入っている。30歳代では「子育て支援施設」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=27)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設	
	10	37.0%	8	29.6%	8	29.6%	6	22.2%	5	18.5%
20歳代 (n=189)	子育て世帯への経済的支援		保育施設/放課後児童クラブ				子育て支援施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	
	55	29.1%	49		25.9%		39	20.6%	35	
30歳代 (n=284)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000		子育てに関する相談体制	
	119	41.8%	86	30.3%	85	29.9%	67	23.6%	65	
40歳代 (n=419)	子育て世帯への経済的支援		保育施設/放課後児童クラブ				産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000		子育て支援施設	
	194	46.3%	126		30.1%		122	29.1%	111	
50歳代 (n=289)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	
	93	32.2%	68	23.5%	61	21.1%	42	14.5%	40	
60～64歳 (n=134)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000		子育て支援施設	
	32	23.9%	31	23.1%	22	16.4%	16	11.9%	11	
65～69歳 (n=147)	放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		保育施設		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	
	38	25.9%	37	25.2%	34	23.1%	16	10.9%	12	
70～74歳 (n=158)	放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		保育施設		子育て支援施設		一時預かり・夜間・休日・病児の保育	
	42	26.6%	37	23.4%	31	19.6%	23	14.6%	10	
75歳以上 (n=100)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		一時預かり・夜間・休日・病児の保育	
	35	35.0%	24	24.0%	18	18.0%	14	14.0%	8	

## 4 少子高齢化への取組について

### 【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「子育て世帯への経済的支援」が最も多く、いずれも「保育施設」と「放課後児童クラブ」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=189)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	
	29	15.3%	26	13.8%	23	12.2%	16	8.5%	11	5.8%
夫婦のみ (n=397)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		一時預かり・夜間・休日・病児の保育	
	76	19.1%	67	16.9%	63	15.9%	42	10.6%	27	6.8%
親子 (n=915)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		子育て支援施設	
	407	44.5%	285	26.9%	259	25.5%	237	22.5%	234	21.1%
三世帯同居 (n=172)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	
	79	45.9%	65	37.8%	58	33.7%	40	23.3%	30	17.4%
その他 (n=68)	子育て世帯への経済的支援		保育施設／放課後児童クラブ			子育て支援施設／産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000				
	20	29.4%	17		25.0%		12		17.6%	

### 【世帯に含む人別】

- ・全ての世帯で「子育て世帯への経済的支援」が最も多くなっている。
- ・小中学生、65～74歳の方、75歳以上の方を含む世帯では、「保育施設」「放課後児童クラブ」が上位に入っている。
- ・6歳未満の乳幼児を含む世帯では「一時預かり・夜間・休日・病児の保育」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児 (n=246)	子育て世帯への経済的支援		一時預かり・夜間・休日・病児の保育		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000／地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設		子育てに関する相談体制	
	141	57.3%	99	40.2%	92	37.4%	82	33.3%		
小中学生 (n=385)	子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		保育施設		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	
	232	60.3%	165	42.9%	150	39.0%	132	34.3%	120	31.2%
65～74歳の方 (n=416)	子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ		保育施設		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	
	118	28.4%	115	27.6%	104	25.0%	67	16.1%	51	12.3%
75歳以上の方 (n=295)	子育て世帯への経済的支援		保育施設		放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	
	92	31.2%	74	25.1%	56	19.0%	36	12.2%	34	11.5%

**問 18** 安心して子どもを産み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。  
 <〇は当てはまる欄すべて>

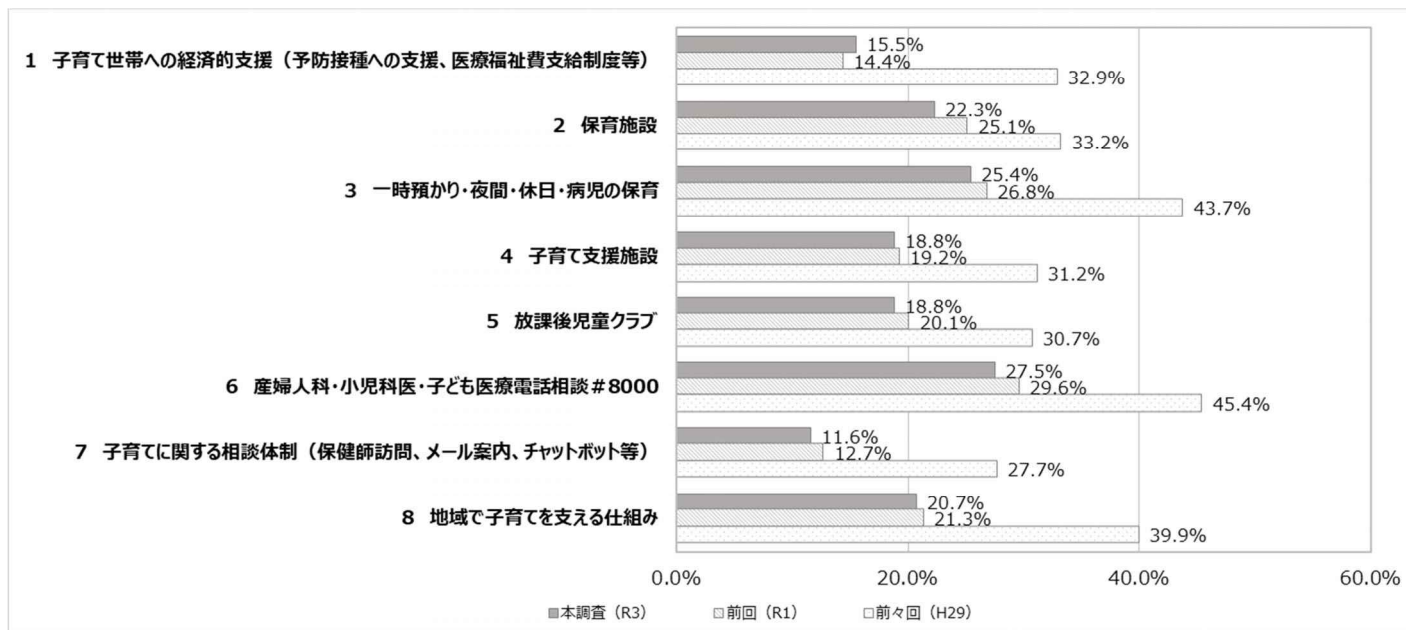
<不足していると思うもの>

① 全体集計の結果

・つくば市で子育て環境で不足していると思うものについては、「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000」が481人(27.5%)と最も多く、「一時預かり・夜間・休日・病児の保育」が445人(25.4%)、「保育施設」が391人(22.3%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 子育て世帯への経済的支援(予防接種への支援、医療福祉費支給制度等)	272	15.5%	14.4%	32.9%
2 保育施設	391	22.3%	25.1%	33.2%
3 一時預かり・夜間・休日・病児の保育	445	25.4%	26.8%	43.7%
4 子育て支援施設	330	18.8%	19.2%	31.2%
5 放課後児童クラブ	329	18.8%	20.1%	30.7%
6 産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	481	27.5%	29.6%	45.4%
7 子育てに関する相談体制(保健師訪問、メール案内、チャットボット等)	203	11.6%	12.7%	27.7%
8 地域で子育てを支える仕組み	362	20.7%	21.3%	39.9%
全体(有効回答数)	1,751			

<過年度調査との比較(項目順)>



## 4 少子高齢化への取組について

### ② クロス集計

#### 【地区別】

- ・全ての地区で「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000」「一時預かり・夜間・休日・病児の保育」「保育施設」「地域で子育てを支える仕組み」が上位に入っている。
- ・大穂地区以外の地区では「子育て支援施設」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
筑波地区 (n=121)	産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	保育施設	地域で子育てを支える仕組み	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	子育て支援施設
	34 28.1%	23 19.0%	22 18.2%	21 17.4%	19 15.7%
大穂地区 (n=104)	産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	地域で子育てを支える仕組み	保育施設	子育て世帯への経済的支援
	32 30.8%	26 25.0%	21 20.2%	17 16.3%	16 15.4%
豊里地区 (n=118)	産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	放課後児童クラブ	地域で子育てを支える仕組み	保育施設
	42 35.6%	29 24.6%	23 19.5%	20 16.9%	18 15.3%
谷田部地区 (n=242)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	保育施設	子育て支援施設	地域で子育てを支える仕組み
	63 26.0%	62 25.6%	57 23.6%	51 21.1%	48 19.8%
桜地区 (n=164)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育／産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000		地域で子育てを支える仕組み	子育て支援施設	保育施設
	41 25.0%		38 23.2%	29 17.7%	28 17.1%
荃崎地区 (n=174)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育／産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000		子育て支援施設／保育施設		地域で子育てを支える仕組み
	43 24.7%		41 23.6%	34 19.5%	
研究学園地区 (n=507)	産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	保育施設	地域で子育てを支える仕組み	放課後児童クラブ
	116 22.9%	109 21.5%	99 19.5%	93 18.3%	78 15.4%
TX沿線地区 (n=321)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	産婦人科・小児科医・ 子ども医療電話相談#8000	保育施設	放課後児童クラブ	子育て支援施設
	113 35.2%	111 34.6%	108 33.6%	89 27.7%	87 27.1%

#### 【年齢別】

- ・50歳代から75歳以上で「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000」が最も多くなっている。
- ・10歳代から30歳代では「保育施設」が最も多くなっている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=27)	保育施設	放課後児童クラブ	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000 ／地域で子育てを支える仕組み	子育て世帯への経済的支援 ／一時預かり・夜間・休日・病児の保育	
	7 25.9%	5 18.5%	4 14.8%	3 11.1%	
20歳代 (n=189)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	保育施設／産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	子育て支援施設	地域で子育てを支える仕組み	
	26 24.8%	40 21.2%	33 17.5%	32 16.9%	
30歳代 (n=284)	産婦人科・小児科医 ・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	保育施設	地域で子育てを支える仕組み	子育て支援施設
	107 37.7%	94 33.1%	92 32.4%	78 27.5%	68 23.9%
40歳代 (n=419)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	産婦人科・小児科医 ・子ども医療電話相談#8000	保育施設	放課後児童クラブ	地域で子育てを支える仕組み
	141 33.7%	126 30.1%	123 29.4%	120 28.6%	113 27.0%
50歳代 (n=289)	産婦人科・小児科医 ・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	地域で子育てを支える仕組み	保育施設	放課後児童クラブ
	73 25.3%	70 24.2%	54 18.7%	52 18.0%	48 16.6%
60～64歳 (n=134)	産婦人科・小児科医 ・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	地域で子育てを支える仕組み	放課後児童クラブ	保育施設
	35 26.1%	26 19.4%	24 17.9%	23 17.2%	22 16.4%
65～69歳 (n=147)	産婦人科・小児科医 ・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設
	48 32.7%	28 19.0%	25 17.0%	22 15.0%	
70～74歳 (n=158)	産婦人科・小児科医 ・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	保育施設	地域で子育てを支える仕組み／子育て支援施設	
	28 17.7%	25 15.8%	20 12.7%	19 12.0%	
75歳以上 (n=100)	産婦人科・小児科医 ・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育／地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設／子育てに関する相談体制	
	19 19.0%	12 12.0%	10 10.0%		

【世帯構成別】

- ・ひとり暮らし、三世帯同居、その他では「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000」が最も多くなっている。
- ・夫婦のみでは「子育て世帯への経済的支援」、親子では「一時預かり・夜間・休日・病児の保育」が最も多くなっている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位				
ひとり暮らし (n=189)	産婦人科・小児科医 一時預かり・夜間・休日・病児の保育／産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	産婦人科・小児科医 産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	保育施設	子育て世帯への経済的支援	子育てに関する相談体制／地域で子育てを支える仕組み				
	20	10.6%	18	9.5%	17	9.0%	16	8.5%	
夫婦のみ (n=397)	子育て世帯への経済的支援	放課後児童クラブ	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	地域で子育てを支える仕組み	子育て支援施設				
	105	26.4%	74	18.6%	71	17.9%	62	15.6%	53
親子 (n=915)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	産婦人科・小児科医 産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	保育施設	地域で子育てを支える仕組み	放課後児童クラブ				
	290	31.7%	272	29.7%	257	28.1%	227	24.8%	224
三世帯同居 (n=172)	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	子育てに関する相談体制／地域で子育てを支える仕組み	子育て支援施設	子育て支援施設				
	67	39.0%	46	26.7%	45	26.2%	38	22.1%	
その他 (n=68)	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	保育施設	放課後児童クラブ／子育て支援施設	子育て世帯への経済的支援					
	16	23.5%	10	14.7%	7	10.3%	6	8.8%	

【世帯に含む人別】

- ・6歳未満の乳幼児を含む世帯では「一時預かり・夜間・休日・病児の保育」が最も多くなっている。
- ・小中学生、65～74歳の方、75歳以上では「産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000」が最も多くなっている。

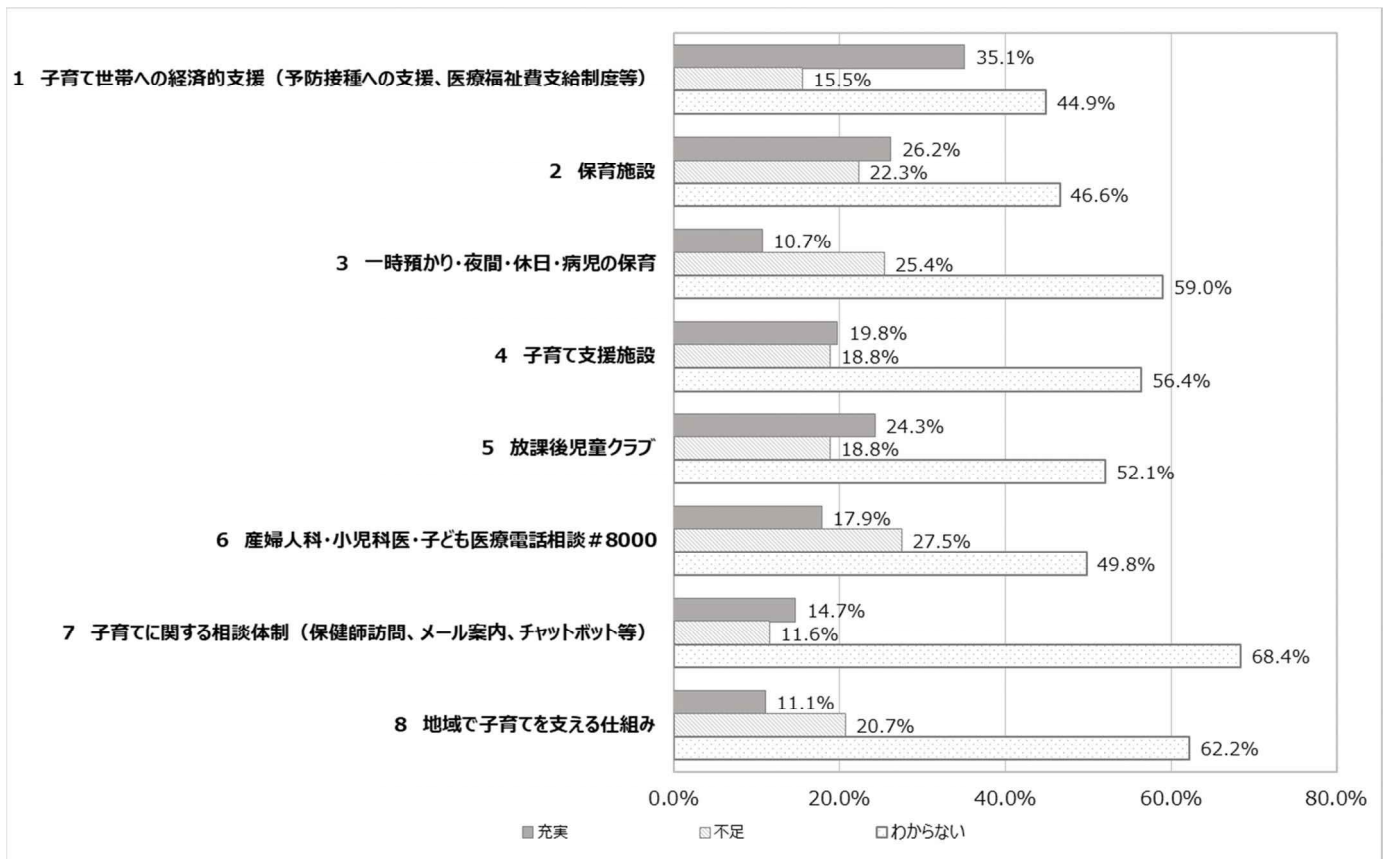
回答順	1位	2位	3位	4位	5位				
6歳未満の乳幼児 (n=216)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	保育施設	産婦人科・小児科医 産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	子育て支援施設	地域で子育てを支える仕組み				
	129	52.4%	125	50.8%	120	48.8%	92	37.4%	86
小中学生 (n=385)	産婦人科・小児科医 産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	放課後児童クラブ	保育施設	地域で子育てを支える仕組み				
	151	39.2%	146	37.9%	127	33.0%	124	32.2%	123
65～74歳の方 (n=416)	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育	地域で子育てを支える仕組み	保育施設	子育て支援施設				
	102	24.5%	85	20.4%	70	16.8%	64	15.4%	56
75歳以上の方 (n=295)	産婦人科・小児科医 産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000	一時預かり・夜間・休日・病児の保育／地域で子育てを支える仕組み	子育て支援施設	放課後児童クラブ ／地域で子育てを支える仕組み					
	72	24.4%	57	19.3%	48	16.3%	46	15.6%	



## 4 少子高齢化への取組について

**問 18** 安心して子どもを産み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。  
 <○は当てはまる欄すべて>

<充実・不足の比較（項目順）>



II  
4

問19 あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。 <○は1つ>

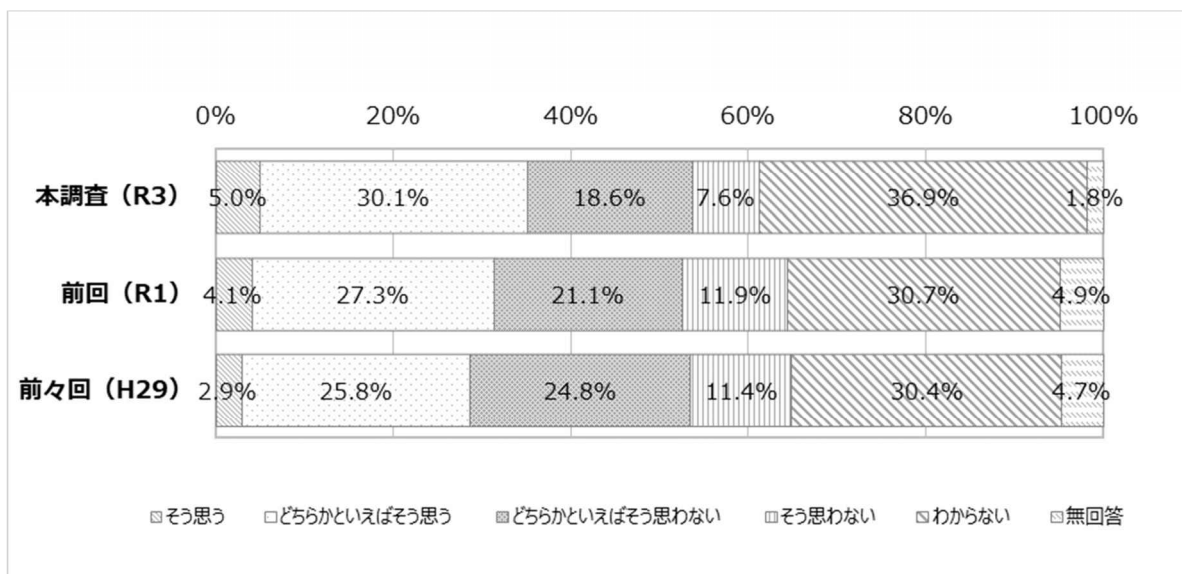
① 全体集計の結果

●高齢者の生活環境が整っているかについては、「そう思う/どちらかといえばそう思う」が3割半ば

- ・つくば市に高齢者が安心して住み続けられる環境が整っているかについては、「わからない」が645人(36.9%)で最も多く、「どちらかといえばそう思う」が527人(30.1%)、「どちらかといえばそう思わない」が326人(18.6%)、「そう思わない」が133人(7.6%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
そう思う	88	5.0%	4.1%	2.9%
どちらかといえばそう思う	527	30.1%	27.3%	25.8%
どちらかといえばそう思わない	326	18.6%	21.1%	24.8%
そう思わない	133	7.6%	11.9%	11.4%
わからない	645	36.9%	30.7%	30.4%
無回答	32	1.8%	4.9%	4.7%
全体	1,751	100.0%	100.0%	100.0%

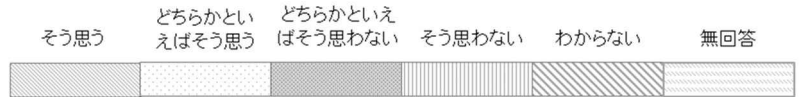
<過年度調査との比較>



## 4 少子高齢化への取組について

**問 19** あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。 <〇は1つ>

### ② クロス集計



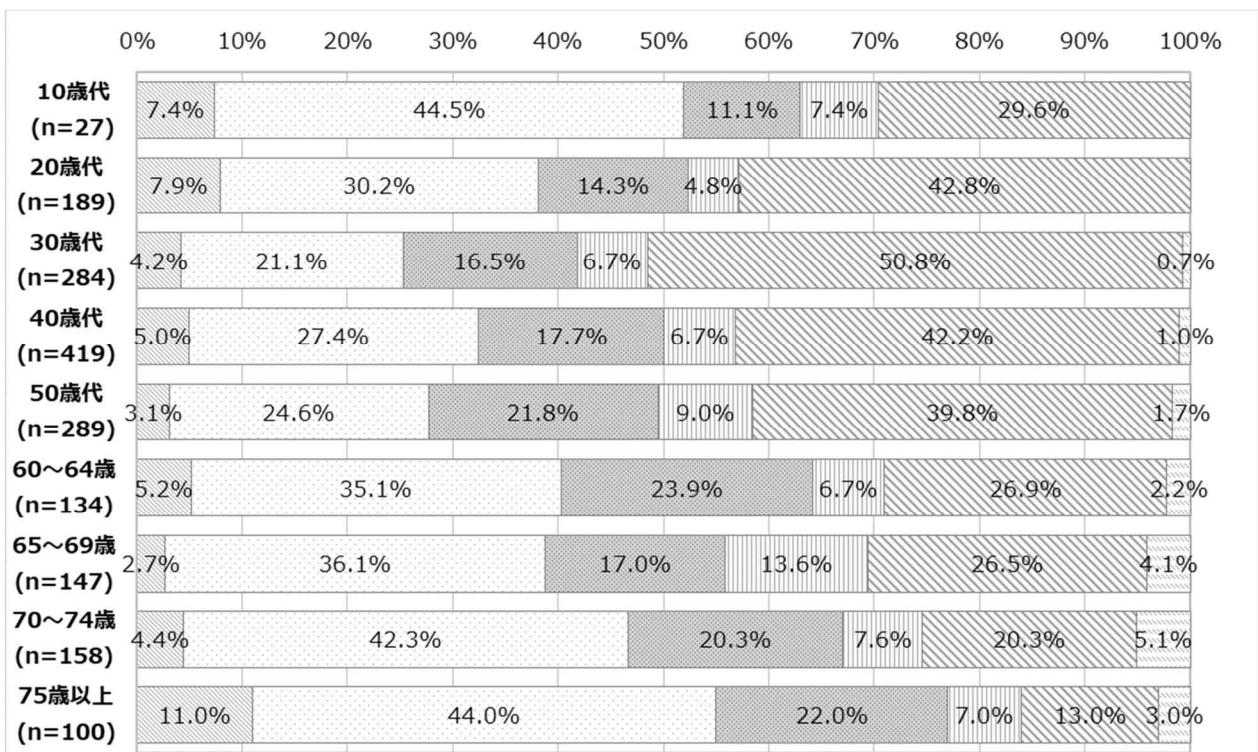
#### 【地区別】

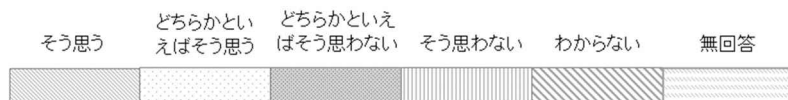
- ・筑波地区では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が45.4%で最も多くなっている。
- ・荃崎地区では「そう思わない/どちらかといえばそう思わない」の割合が34.5%で最も多くなっている。



#### 【年齢別】

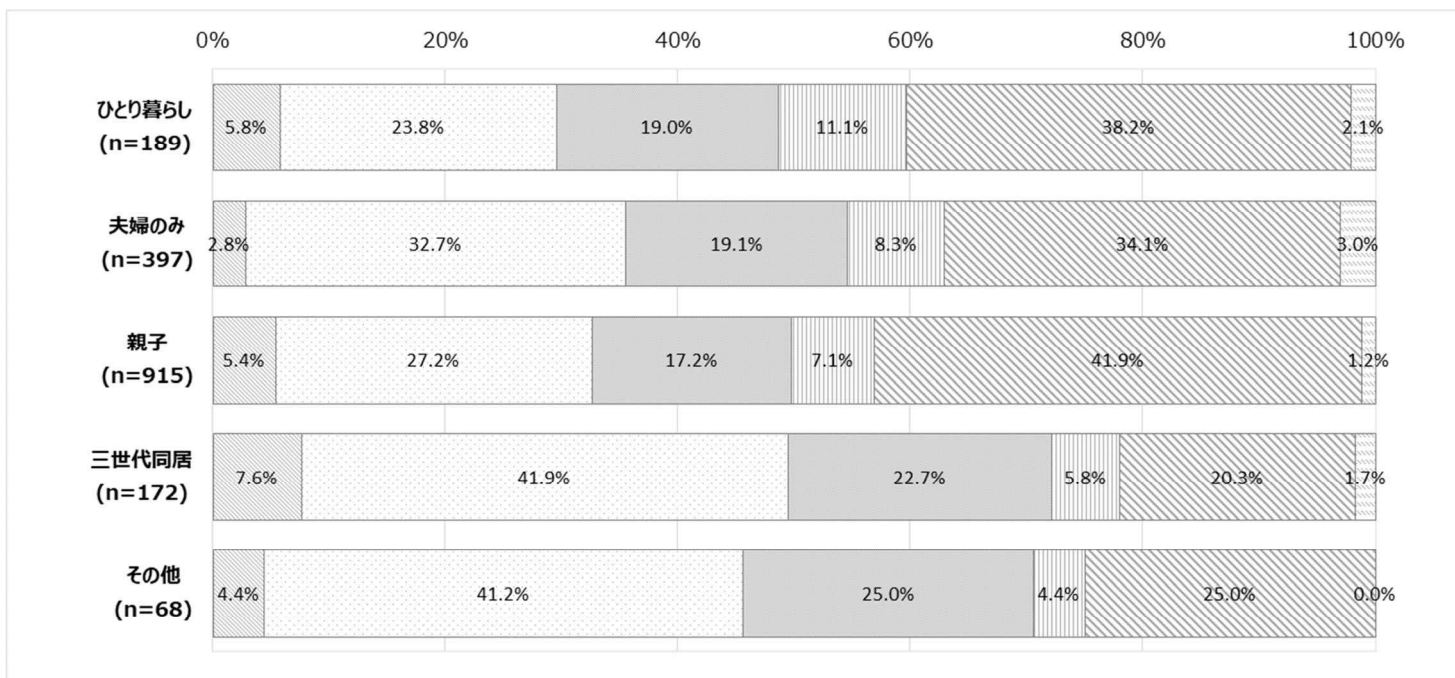
- ・10歳代、60～64歳、70～74歳、75歳以上では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が40%を超えている。
- ・50歳代では「そう思わない/どちらかといえばそう思わない」の割合が30.8%で最も多く、次いで60～64歳、65～69歳が30.6%、75歳以上が29.0%と続いている。





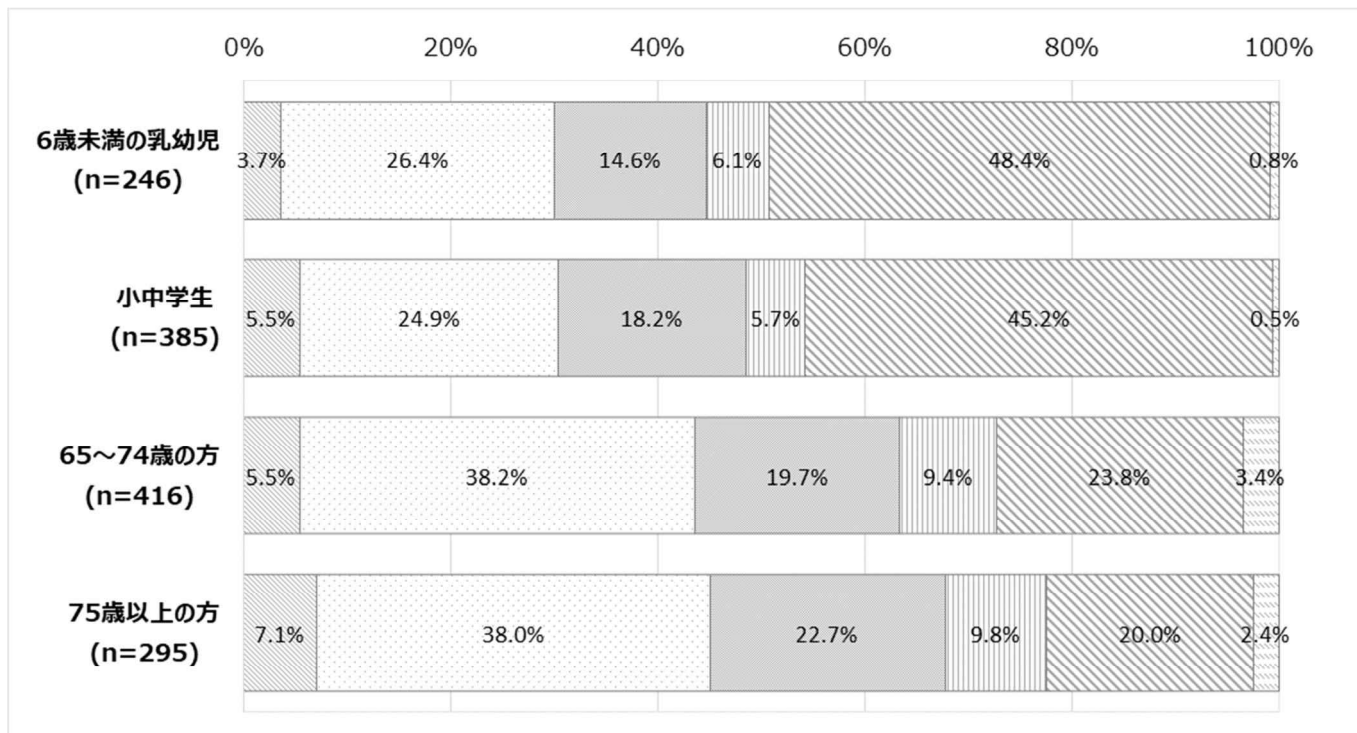
【世帯構成別】

- ・夫婦のみ、三世帯同居、その他では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が35%を超えている。
- ・ひとり暮らしでは「そう思わない/どちらかといえばそう思わない」の割合が30%を超えている。



【世帯に含む人別】

- ・65～74歳の方、75歳以上を含む世帯では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が40%を超えている。
- ・6歳未満の乳幼児、小中学生を含む世帯では「わからない」の割合が45%を超えている。



## 4 少子高齢化への取組について

**問 20** 高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。  
 <○は当てはまる欄すべて>

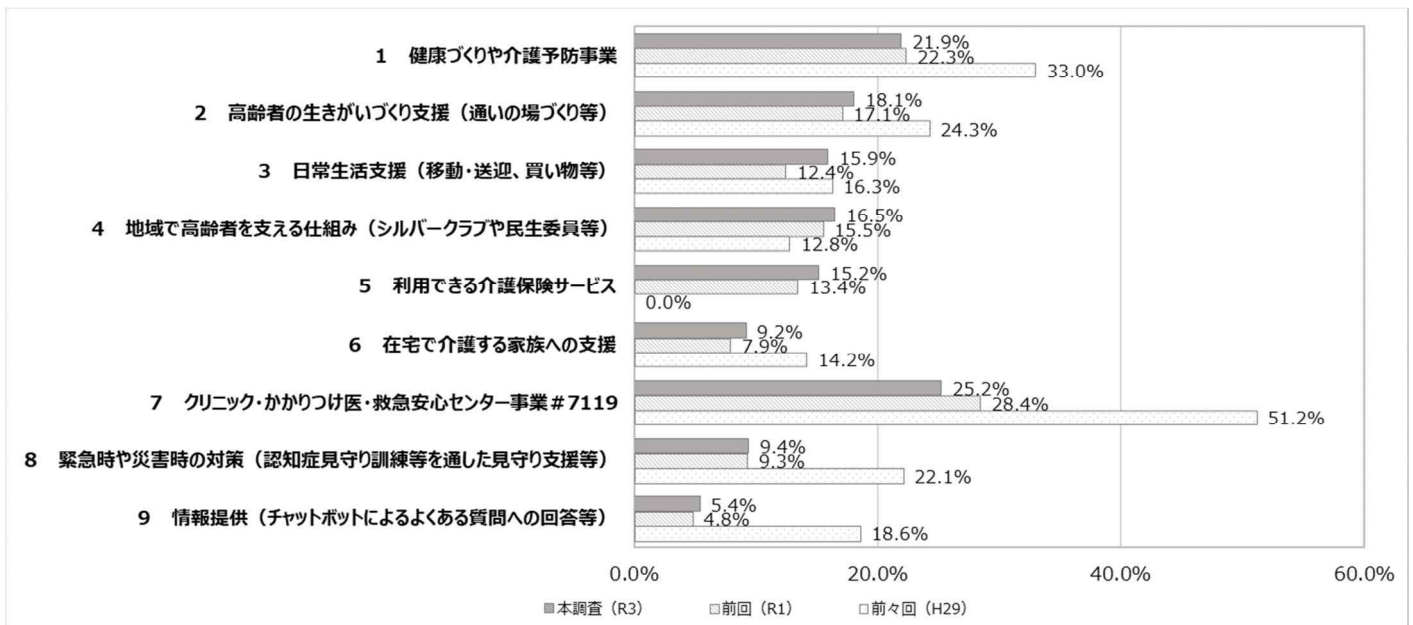
●**高齢者の生活環境について、充実していると思うものは「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119」が2割以上、不足していると思うものは「日常生活支援(移動・送迎、買い物等)」が3割近く**  
 <充実していると思うもの>

### ① 全体集計の結果

・高齢者の生活環境で充実していると思うものについては、「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119」が442人(25.2%)で最も多く、「健康づくりや介護予防事業」が383人(21.9%)、「健康づくりや介護予防事業」が383人(21.9%)、「高齢者の生きがいづくり支援(通いの場づくり等)」が317人(18.1%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 健康づくりや介護予防事業	383	21.9%	22.3%	33.0%
2 高齢者の生きがいづくり支援(通いの場づくり等)	317	18.1%	17.1%	24.3%
3 日常生活支援(移動・送迎、買い物等)	279	15.9%	12.4%	16.3%
4 地域で高齢者を支える仕組み(シルバークラブや民生委員等)	289	16.5%	15.5%	12.8%
5 利用できる介護保険サービス	267	15.2%	13.4%	-
6 在宅で介護する家族への支援	161	9.2%	7.9%	14.2%
7 クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119	442	25.2%	28.4%	51.2%
8 緊急時や災害時の対策(認知症見守り訓練等を通じた見守り支援等)	164	9.4%	9.3%	22.1%
9 情報提供(チャットボットによるよくある質問への回答等)	95	5.4%	4.8%	18.6%
全体(有効回答数)	1,751			

<過年度調査との比較(項目順)>





② クロス集計

【地区別】

- ・全ての地区で「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119」と「健康づくりや介護予防事業」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
筑波地区 (n=121)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業／利用できる介護保険サービス	高齢者の生きがいづくり支援	日常生活支援	
	44   36.4%	31   25.6%	29   24.0%	28   23.1%	
大穂地区 (n=104)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	地域で高齢者を支える仕組み	利用できる介護保険サービス	高齢者の生きがいづくり支援 ／日常生活支援
	38   36.5%	35   33.7%	28   26.9%	25   24.0%	23   22.1%
豊里地区 (n=118)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み	利用できる介護保険サービス
	42   35.6%	36   30.5%	33   28.0%	31   26.3%	30   25.4%
谷田部地区 (n=242)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み	利用できる介護保険サービス
	74   30.6%	62   25.6%	47   19.4%	45   18.6%	42   17.4%
桜地区 (n=164)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み	利用できる介護保険サービス
	44   26.8%	43   26.2%	30   18.3%	29   17.7%	27   16.5%
荃崎地区 (n=174)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	高齢者の生きがいづくり支援	健康づくりや介護予防事業	地域で高齢者を支える仕組み	日常生活支援
	40   23.0%	36   20.7%	33   19.0%	30   17.2%	27   15.5%
研究学園地区 (n=507)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み／日常生活支援	
	105   20.7%	92   18.1%	81   16.0%	70   13.8%	
TX沿線地区 (n=321)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	日常生活支援	高齢者の生きがいづくり支援	利用できる介護保険サービス
	55   17.1%	51   15.9%	48   15.0%	38   11.8%	35   10.9%

【年齢別】

- ・全ての年齢で「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119」が上位に入っている。
- ・30歳代以上では「健康づくりや介護予防事業」が最も多くなっている。
- ・10歳代、20歳代では「日常生活支援」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=27)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	高齢者の生きがいづくり支援	日常生活支援	地域で高齢者を支える仕組み／利用できる介護保険サービス	
	8   29.6%	7   25.9%	6   22.2%	5   18.5%	
20歳代 (n=189)	日常生活支援	健康づくりや介護予防事業	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み
	52   27.5%	43   22.8%	40   21.2%	39   20.6%	35   18.5%
30歳代 (n=284)	健康づくりや介護予防事業	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	高齢者の生きがいづくり支援	日常生活支援	地域で高齢者を支える仕組み
	50   17.6%	45   15.8%	44   15.5%	39   13.7%	38   13.4%
40歳代 (n=419)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	高齢者の生きがいづくり支援	日常生活支援	地域で高齢者を支える仕組み
	93   22.2%	91   21.7%	70   16.7%	61   14.6%	60   14.3%
50歳代 (n=289)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み ／利用できる介護保険サービス	
	63   21.8%	48   16.6%	37   12.8%	33   11.4%	
60～64歳 (n=134)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	利用できる介護保険サービス	高齢者の生きがいづくり支援	日常生活支援
	37   27.6%	32   23.9%	25   18.7%	22   16.4%	21   15.7%
65～69歳 (n=147)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	利用できる介護保険サービス	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み
	48   32.7%	33   22.4%	29   19.7%	28   19.0%	26   17.7%
70～74歳 (n=158)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	地域で高齢者を支える仕組み	高齢者の生きがいづくり支援	利用できる介護保険サービス
	50   31.6%	47   29.7%	41   25.9%	37   23.4%	35   22.2%
75歳以上 (n=100)	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119	健康づくりや介護予防事業	地域で高齢者を支える仕組み	高齢者の生きがいづくり支援	日常生活支援
	57   57.0%	34   34.0%	33   33.0%	31   31.0%	27   27.0%

## 4 少子高齢化への取組について

### 【世帯構成別】

- 全ての世帯構成で「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119」が最も多く、次いで「健康づくりや介護予防事業」となっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=189)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み	
	36	20.6%	35	18.5%	30	15.9%	27	14.3%	23	13.1%
夫婦のみ (n=397)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		地域で高齢者を支える仕組み/利用できる介護保険サービス			
	100	26.3%	82	21.6%	66	17.4%	60			
親子 (n=915)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		地域で高齢者を支える仕組み		日常生活支援	
	208	22.7%	185	20.2%	151	16.5%	140	15.3%	134	14.6%
三世帯同居 (n=172)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		地域で高齢者を支える仕組み/利用できる介護保険サービス			
	62	36.0%	61	35.5%	47	27.3%	45			
その他 (n=68)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119		健康づくりや介護予防事業		利用できる介護保険サービス		日常生活支援		高齢者の生きがいづくり支援	
	26	38.2%	22	32.4%	21	30.9%	19	27.9%	18	26.5%

### 【世帯に含む人別】

- 75歳以上の方を含む世帯以外では「クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119」「健康づくりや介護予防事業」が上位に入っている。
- 75歳以上の方を含む世帯では「利用できる介護保険サービス」「日常生活支援」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児 (n=246)	健康づくりや介護予防事業		クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119		高齢者の生きがいづくり支援		日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み	
	48	19.5%	42	17.1%	41	16.7%	36	14.6%	30	12.2%
小中学生 (n=385)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		高齢者の生きがいづくり支援/地域で高齢者を支える仕組み/利用できる介護保険サービス			
	86	28.1%	69	22.5%	47	15.4%	76			
65～74歳の方 (n=416)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		利用できる介護保険サービス		地域で高齢者を支える仕組み	
	141	33.9%	110	26.4%	94	22.6%	91	21.9%	88	21.2%
75歳以上の方 (n=295)	利用できる介護保険サービス		日常生活支援		健康づくりや介護予防事業		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援	
	122	41.4%	94	31.9%	78	26.4%	75	25.4%	70	23.7%

**問 20** 高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。  
 <〇は当てはまる欄すべて>

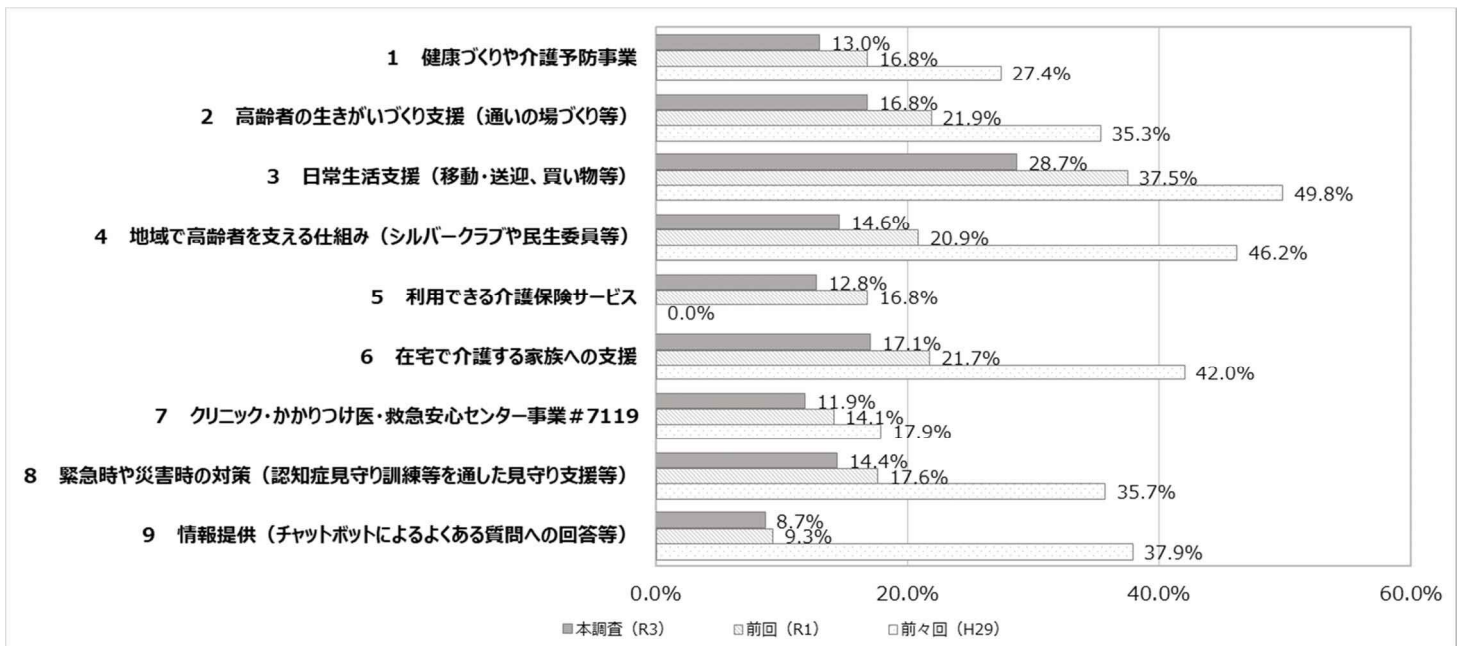
<不足していると思うもの>

① 全体集計の結果

・高齢者の生活環境で不足していると思うものについては、「日常生活支援(移動・送迎、買い物等)」が502人(28.7%)で最も多く、「在宅で介護する家族への支援」が299人(17.1%)、「高齢者の生きがいがづくり支援(通いの場づくり等)」が294人(16.8%)、で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 健康づくりや介護予防事業	228	13.0%	16.8%	27.4%
2 高齢者の生きがいがづくり支援(通いの場づくり等)	294	16.8%	21.9%	35.3%
3 日常生活支援(移動・送迎、買い物等)	502	28.7%	37.5%	49.8%
4 地域で高齢者を支える仕組み(シルバークラブや民生委員等)	255	14.6%	20.9%	46.2%
5 利用できる介護保険サービス	225	12.8%	16.8%	-
6 在宅で介護する家族への支援	299	17.1%	21.7%	42.0%
7 クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119	209	11.9%	14.1%	17.9%
8 緊急時や災害時の対策(認知症見守り訓練等を通じた見守り支援等)	253	14.4%	17.6%	35.7%
9 情報提供(チャットボットによるよくある質問への回答等)	153	8.7%	9.3%	37.9%
全体(有効回答数)	1751			

<過年度調査との比較(項目順)>



## 4 少子高齢化への取組について

### ② クロス集計

#### 【地区別】

・全ての地区で「日常生活支援」が最も多くなっている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
筑波地区 (n=121)	日常生活支援	高齢者の生きがいづくり支援／在宅で介護する家族への支援	緊急時や災害時の対策	健康づくりや介護予防事業 ／地域で高齢者を支える仕組み	
	44 36.4%	35 28.9%	27 22.3%	24 19.8%	
大穂地区 (n=104)	日常生活支援	在宅で介護する家族への支援	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み	緊急時や災害時の対策
	39 37.5%	26 25.0%	22 21.2%	21 20.2%	20 19.2%
豊里地区 (n=118)	日常生活支援	在宅で介護する家族への支援	高齢者の生きがいづくり支援／緊急時や災害時の対策	地域で高齢者を支える仕組み	
	35 29.7%	25 21.2%	22 18.6%	18 15.3%	
谷田部地区 (n=242)	日常生活支援	在宅で介護する家族への支援	高齢者の生きがいづくり支援	緊急時や災害時の対策	利用できる介護保険サービス
	92 38.0%	65 26.9%	60 24.8%	56 23.1%	52 21.5%
桜地区 (n=164)	日常生活支援	在宅で介護する家族への支援	高齢者の生きがいづくり支援／地域で高齢者を支える仕組み	緊急時や災害時の対策	
	56 34.1%	35 21.3%	30 18.3%	29 17.7%	
荳崎地区 (n=174)	日常生活支援	高齢者の生きがいづくり支援	健康づくりや介護予防事業／ クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119	在宅で介護する家族への支援	
	60 34.5%	35 20.1%	33 19.0%	32 18.4%	
研究学園地区 (n=507)	日常生活支援	地域で高齢者を支える仕組み	高齢者の生きがいづくり支援	緊急時や災害時の対策	健康づくりや介護予防事業
	106 20.9%	55 10.8%	54 10.7%	50 9.9%	49 9.7%
TX沿線地区 (n=321)	日常生活支援	高齢者の生きがいづくり支援	在宅で介護する家族への支援	地域で高齢者を支える仕組み	クリニック・かかりつけ医・ 救急安心センター事業#7119
	70 21.8%	36 11.2%	34 10.6%	28 8.7%	24 7.5%

#### 【年齢別】

・全ての年齢で「日常生活支援」が最も多くなっている。

・10歳から50歳代、65～69歳では「在宅で介護する家族への支援」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=27)	日常生活支援	健康づくりや介護予防事業／在宅で介護する家族への支援／情報提供	地域で高齢者を支える仕組み／利用できる介護保険サービス／緊急時や災害時の対策		
	4 14.8%	3 11.1%	2 7.4%		
20歳代 (n=189)	日常生活支援	在宅で介護する家族への支援	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み／利用できる介護保険サービス	
	36 19.0%	23 12.2%	21 11.1%	18 9.5%	
30歳代 (n=284)	日常生活支援	高齢者の生きがいづくり支援／地域で高齢者を支える仕組み	在宅で介護する家族への支援	緊急時や災害時の対策	
	70 24.6%	36 12.7%	30 10.6%	28 9.9%	
40歳代 (n=419)	日常生活支援	在宅で介護する家族への支援	緊急時や災害時の対策	地域で高齢者を支える仕組み	高齢者の生きがいづくり支援
	116 27.7%	70 16.7%	56 13.4%	51 12.2%	50 11.9%
50歳代 (n=289)	日常生活支援	在宅で介護する家族への支援	高齢者の生きがいづくり支援	利用できる介護保険サービス	緊急時や災害時の対策
	93 32.2%	60 20.8%	52 18.0%	47 16.3%	42 14.5%
60～64歳 (n=134)	日常生活支援	地域で高齢者を支える仕組み	高齢者の生きがいづくり支援	緊急時や災害時の対策	健康づくりや介護予防事業
	49 36.6%	33 24.6%	32 23.9%	29 21.6%	28 20.9%
65～69歳 (n=147)	日常生活支援	在宅で介護する家族への支援	高齢者の生きがいづくり支援	緊急時や災害時の対策	健康づくりや介護予防事業
	48 32.7%	40 27.2%	37 25.2%	36 24.5%	35 23.8%
70～74歳 (n=158)	日常生活支援	高齢者の生きがいづくり支援	地域で高齢者を支える仕組み	利用できる介護保険サービス	在宅で介護する家族への支援 ／健康づくりや介護予防事業
	54 34.2%	42 26.6%	32 20.3%	29 18.4%	27 17.1%
75歳以上 (n=100)	日常生活支援	緊急時や災害時の対策	高齢者の生きがいづくり支援	在宅で介護する家族への支援	健康づくりや介護予防事業
	31 31.0%	23 23.0%	22 22.0%	19 19.0%	17 17.0%

## 【世帯構成別】

- ・その他以外の世帯で「日常生活支援」が最も多くなっている。
- ・その他の世帯では「在宅で介護する家族への支援」が最も多くなっており、ひとり暮らし、親子、三世帯同居でも上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=189)	日常生活支援		緊急時や災害時の対策/在宅で介護する家族への支援				地域で高齢者を支える仕組み		クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業#7119	
	49	25.9%	25		13.2%		23	12.2%	21	11.1%
夫婦のみ (n=397)	日常生活支援		高齢者の生きがいづくり支援		健康づくりや介護予防事業		地域で高齢者を支える仕組み/在宅で介護する家族への支援			
	119	30.0%	83	20.9%	61	15.4%	57		14.4%	
親子 (n=915)	日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援		緊急時や災害時の対策		地域で高齢者を支える仕組み	
	255	27.9%	145	15.8%	133	14.5%	127	13.9%	125	13.7%
三世帯同居 (n=172)	日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援		地域で高齢者を支える仕組み		利用できる介護保険サービス	
	66	38.4%	57	33.1%	48	27.9%	42	24.4%	41	23.8%
その他 (n=68)	在宅で介護する家族への支援		日常生活支援		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		利用できる介護保険サービス/緊急時や災害時の対策	
	43	51.2%	145	15.8%	133	14.5%	127	13.9%	125	13.7%

## 【世帯に含む人別】

- ・75歳以上の方を含む世帯以外の世帯で「日常生活支援」が最も多くなっている。
- ・75歳以上の方を含む世帯では「在宅で介護する家族への支援」が最も多くなっており、それ以外の世帯でも上位に入っている。

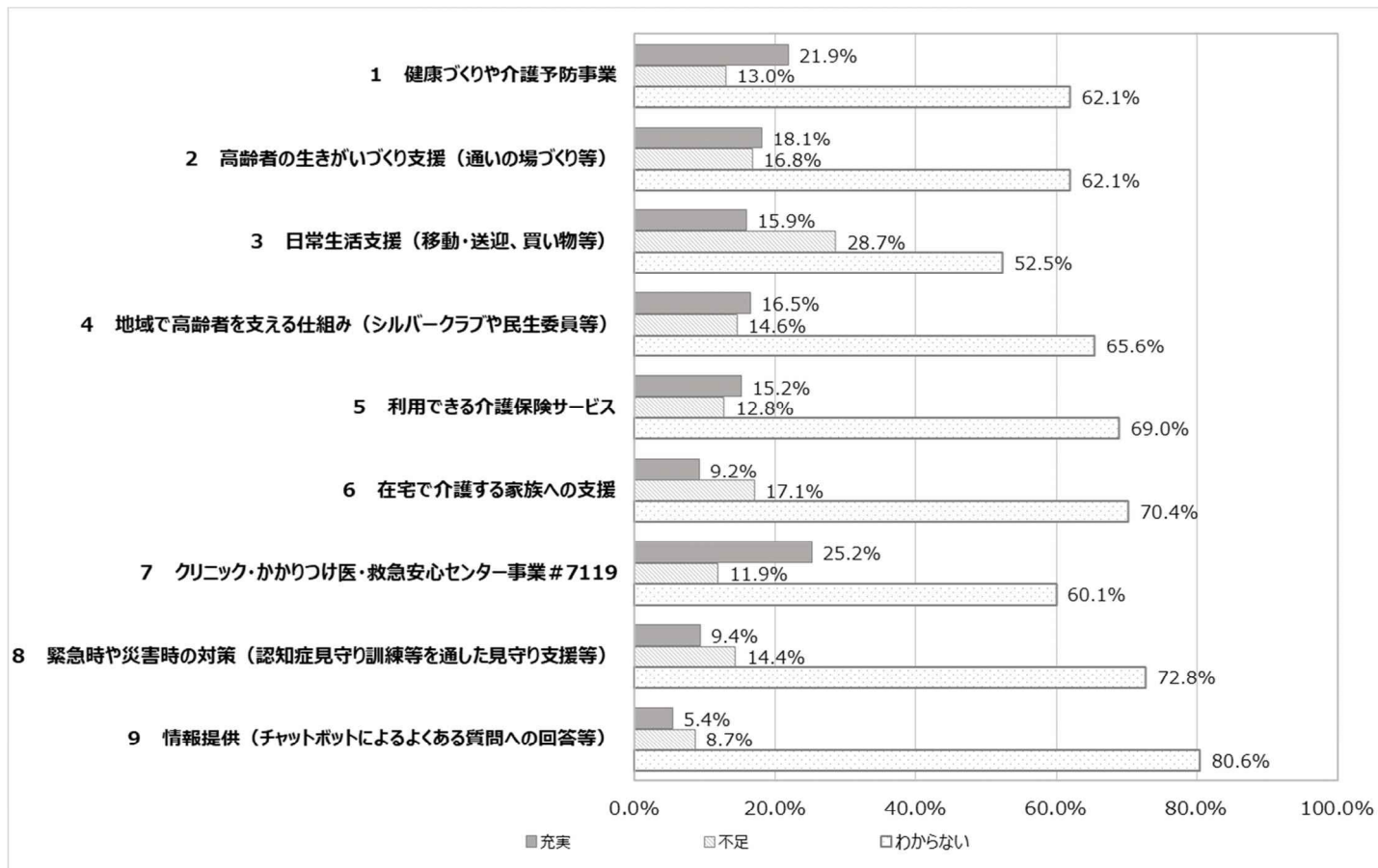
回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児 (n=249)	日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援		在宅で介護する家族への支援		利用できる介護保険サービス	
	60	29.4%	38	18.6%	37	18.1%	34	16.7%	28	13.7%
小中学生 (n=385)	日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み		緊急時や災害時の対策		利用できる介護保険サービス	
	109	28.3%	68	17.7%	56	14.5%	53	13.8%	48	12.5%
65～74歳の方 (n=416)	日常生活支援		高齢者の生きがいづくり支援		在宅で介護する家族への支援		健康づくりや介護予防事業		地域で高齢者を支える仕組み	
	147	35.3%	102	24.5%	97	23.3%	83	20.0%	83	20.0%
75歳以上の方 (n=295)	在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援		緊急時や災害時の対策		地域で高齢者を支える仕組み		日常生活支援/健康づくりや介護予防事業	
	111	37.6%	83	28.1%	81	27.5%	61	20.7%	60	20.3%



## 4 少子高齢化への取組について

**問 20** 高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。  
 <○は当てはまる欄すべて>

<充実・不足の比較（項目順）>



II  
4

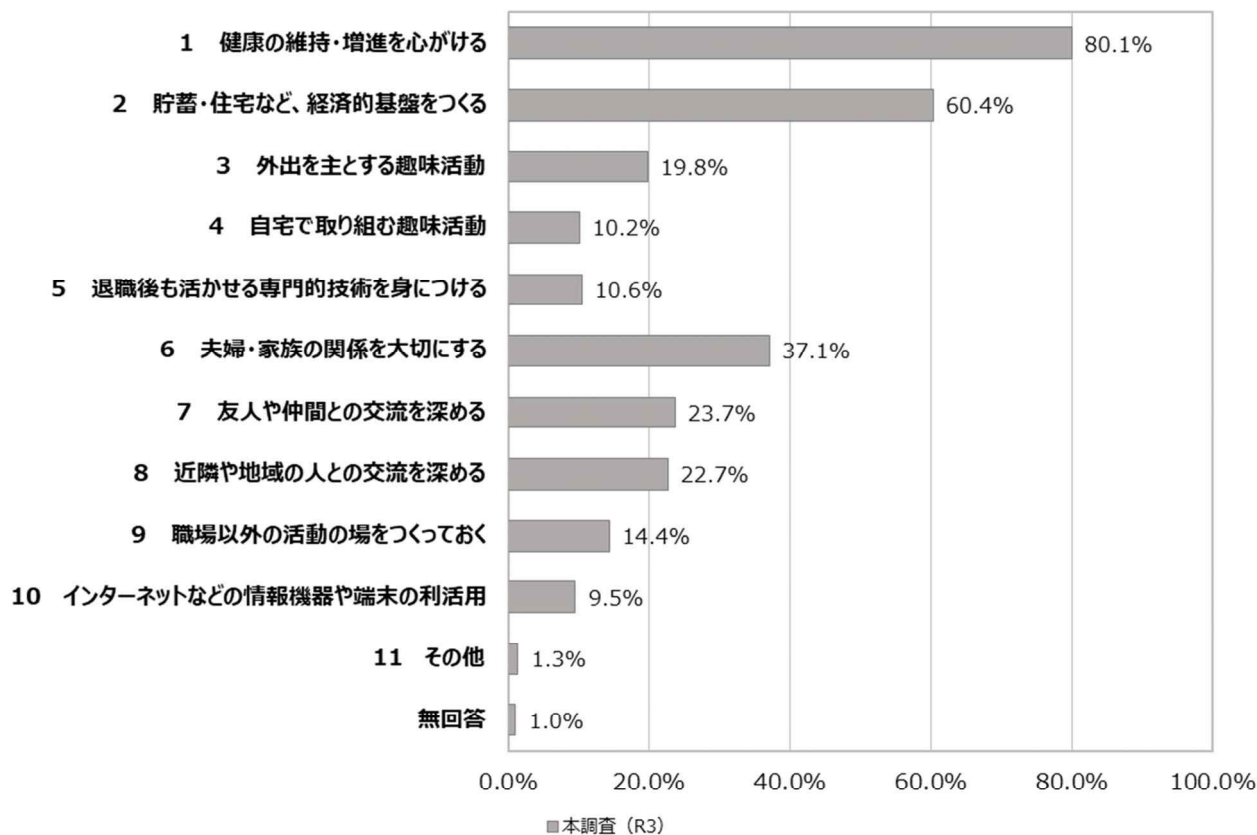
**問 21** あなたは、豊かな高齢期を過ごすために、どのようなことが重要だと思いますか。  
当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

① 全体集計の結果

●**豊かな高齢期に重要だと思うものは「健康の維持・増進を心がける」が約8割、「貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる」が約6割**

・豊かな高齢期に重要だと思うものについては、「健康の維持・増進を心がける」が1,402人(80.1%)で最も多く、「貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる」が1,057人(60.4%)、「夫婦・家族の関係を大切にする」が649人(37.1%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)	
	回答数(人)	構成比
1 健康の維持・増進を心がける	1,402	80.1%
2 貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる	1,057	60.4%
3 外出を主とする趣味活動	346	19.8%
4 自宅で取り組む趣味活動	179	10.2%
5 退職後も活かせる専門的技術を身につける	185	10.6%
6 夫婦・家族の関係を大切にする	649	37.1%
7 友人や仲間との交流を深める	415	23.7%
8 近隣や地域の人との交流を深める	398	22.7%
9 職場以外の活動の場をつくっておく	253	14.4%
10 インターネットなどの情報機器や端末の利活用	167	9.5%
11 その他	23	1.3%
無回答	17	1.0%
全体(有効回答数)	1,751	



## 4 少子高齢化への取組について

### ② クロス集計

#### 【地区別】

・全ての地区で「健康の維持・増進を心がける」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=121)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		近隣や地域の人との交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	96	79.3%	65	53.7%	50	41.3%	35	28.9%	30	24.8%
大穂地区 (n=104)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		近隣や地域の人との交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	83	79.8%	59	56.7%	44	42.3%	27	26.0%	26	25.0%
豊里地区 (n=118)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		近隣や地域の人との交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	94	79.7%	68	57.6%	44	37.3%	32	27.1%	27	22.9%
谷田部地区 (n=242)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		近隣や地域の人との交流を深める		外出を主とする趣味活動	
	189	78.1%	154	63.6%	91	37.6%	66	27.3%	49	20.2%
桜地区 (n=164)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		友人や仲間との交流を深める		近隣や地域の人との交流を深める	
	140	85.4%	90	54.9%	60	36.6%	45	27.4%	38	23.2%
荃崎地区 (n=174)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		友人や仲間との交流を深める		近隣や地域の人との交流を深める	
	138	79.3%	89	51.1%	68	39.1%	54	31.0%	47	27.0%
研究学園地区 (n=507)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		友人や仲間との交流を深める		近隣や地域の人との交流を深める	
	408	80.5%	312	61.5%	166	32.7%	121	23.9%	101	19.9%
TX沿線地区 (n=321)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		友人や仲間との交流を深める		外出を主とする趣味活動	
	254	79.1%	220	68.5%	126	39.3%	66	20.6%	63	19.6%

#### 【年齢別】

・全ての年齢で「健康の維持・増進を心がける」が最も多くなっている。

・全ての年齢で「貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる」「夫婦・家族の関係を大切にする」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=27)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		外出を主とする趣味活動／友人や仲間との交流を深める			
	17	63.0%	15	55.6%	12	44.4%			7	25.9%
20歳代 (n=189)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		外出を主とする趣味活動		友人や仲間との交流を深める	
	135	71.4%	103	54.5%	75	39.7%	52	27.5%	47	24.9%
30歳代 (n=284)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		友人や仲間との交流を深める		外出を主とする趣味活動	
	218	76.8%	212	74.6%	108	38.0%	58	20.4%	52	18.3%
40歳代 (n=419)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		近隣や地域の人との交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	333	79.5%	284	67.8%	131	31.3%	100	23.9%	95	22.7%
50歳代 (n=289)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		近隣や地域の人との交流を深める		職場以外の活動の場をつくっておく	
	224	77.5%	190	65.7%	89	30.8%	65	22.5%	58	20.1%
60～64歳 (n=134)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		友人や仲間との交流を深める		外出を主とする趣味活動	
	116	86.6%	77	57.5%	43	32.1%	36	26.9%	35	26.1%
65～69歳 (n=147)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にする		近隣や地域の人との交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	137	93.2%	71	48.3%	68	46.3%	40	27.2%	36	24.5%
70～74歳 (n=158)	健康の維持・増進を心がける		夫婦・家族の関係を大切にする		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		友人や仲間との交流を深める		近隣や地域の人との交流を深める	
	139	88.0%	77	48.7%	63	39.9%	57	36.1%	49	31.0%
75歳以上 (n=100)	健康の維持・増進を心がける		夫婦・家族の関係を大切にする		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		近隣や地域の人との交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	81	81.0%	46	46.0%	40	40.0%	30	30.0%	27	27.0%

## 【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「健康の維持・増進を心がける」が最も多くなっている。
- ・その他の世帯では「友人や仲間との交流を深める」も最も多くなっている。一人暮らし、夫婦のみでも上位に入っている。
- ・全ての世帯構成で「貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=189)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		友人や仲間との交流を深める		外出を主とする趣味活動		職場以外の活動の場をつくっておく	
	148	78.3%	108	57.1%	46	24.3%	42	22.2%	41	21.7%
夫婦のみ (n=397)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		友人や仲間との交流を深める		外出を主とする趣味活動		友人や仲間との交流を深める	
	336	84.6%	216	54.4%	184	46.3%	89	22.4%	88	22.2%
親子 (n=915)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にす		友人や仲間との交流を深める		近隣や地域の人との交流を深める	
	726	79.3%	588	64.3%	348	38.0%	222	24.3%	207	22.6%
三世同居 (n=172)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にす		近隣や地域の人との交流を深める		外出を主とする趣味活動	
	135	78.5%	97	56.4%	64	37.2%	51	29.7%	36	20.9%
その他 (n=10)	健康の維持・増進を心がける/友人や仲間との交流を深める		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		近隣や地域の人との交流を深める/外出を主とする趣味活動/自宅取り組み趣味活動					
	6	60.0%	4	40.0%	2	20.0%				

## 【世帯に含む人別】

- ・全ての世帯で「健康の維持・増進を心がける」が最も多くなっている。
- ・全ての世帯で「貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる」「夫婦・家族の関係を大切にす」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の 乳幼児 (n=246)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にす		近隣や地域の人との交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	187	76.0%	170	69.1%	112	45.5%	55	22.4%	54	22.0%
小中学生 (n=385)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にす		近隣や地域の人との交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	306	79.5%	251	65.2%	148	38.4%	98	25.5%	88	22.9%
65～74歳の 方 (n=416)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にす		友人や仲間との交流を深める		近隣や地域の人との交流を深める	
	357	85.8%	221	53.1%	171	41.1%	119	28.6%	107	25.7%
75歳以上の 方 (n=295)	健康の維持・増進を心がける		貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる		夫婦・家族の関係を大切にす		近隣や地域の人との交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	240	81.4%	145	49.2%	110	37.3%	88	29.8%	83	28.1%

## 4 少子高齢化への取組について

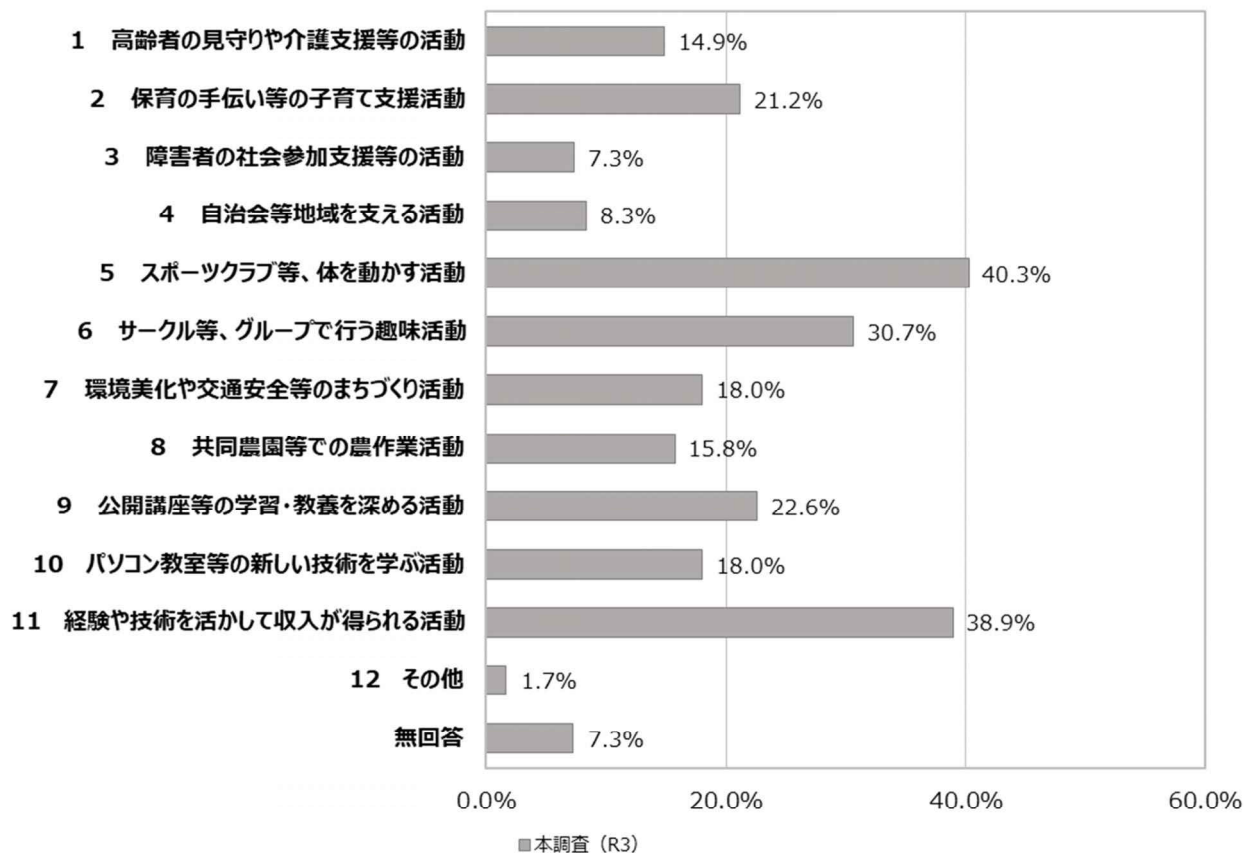
**問 22** あなたは、次に掲げる社会参加活動について、高齢者になっても生涯を通じて参加してみたいと思う活動はありますか。当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

### ① 全体集計の結果

●社会参加活動について、生涯を通じて参加したいと思うものは「スポーツクラブ等、体を動かす活動」が約4割、「経験や技術を活かして収入が得られる活動」が4割近く

・生涯を通じて参加したいと思うものについては、「スポーツクラブ等、体を動かす活動」が705人(40.3%)で最も多く、「経験や技術を活かして収入が得られる活動」が682人(38.9%)、「サークル等、グループで行う趣味活動」が537人(30.7%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)	
	回答数(人)	構成比
1 高齢者の見守りや介護支援等の活動	261	14.9%
2 保育の手伝い等の子育て支援活動	371	21.2%
3 障害者の社会参加支援等の活動	128	7.3%
4 自治会等地域を支える活動	146	8.3%
5 スポーツクラブ等、体を動かす活動	705	40.3%
6 サークル等、グループで行う趣味活動	537	30.7%
7 環境美化や交通安全等のまちづくり活動	316	18.0%
8 共同農園等での農作業活動	276	15.8%
9 公開講座等の学習・教養を深める活動	396	22.6%
10 パソコン教室等の新しい技術を学ぶ活動	316	18.0%
11 経験や技術を活かして収入が得られる活動	682	38.9%
12 その他	29	1.7%
無回答	127	7.3%
全体(有効回答数)	1,751	





② クロス集計

【地区別】

・筑波地区以外の地区で「スポーツクラブ等、体を動かす活動」が最も多くなっている。筑波地区では「経験や技術を活かして収入が得られる活動」が最も多くなっている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
筑波地区 (n=121)	経験や技術を活かして収入が得られる活動	スポーツクラブ等、体を動かす活動	高齢者の見守りや介護支援等の活動	保育の手伝い等の子育て支援活動	サークル等、グループで行う趣味活動
	37 30.6%	35 28.9%	33 27.3%	32 26.4%	30 24.6%
大穂地区 (n=104)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	サークル等、グループで行う趣味活動 ／環境美化や交通安全等のまちづくり活動		保育の手伝い等の子育て支援活動
	36 34.6%	35 33.7%	28 26.9%		24 23.1%
豊里地区 (n=118)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	サークル等、グループで行う趣味活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	共同農園等での農作業活動	環境美化や交通安全等のまちづくり活動／高齢者の見守りや介護支援等の活動／公開講座等の学習・教養を深める活動
	50 42.4%	46 39.0%	41 34.7%	26 22.0%	22 18.6%
谷田部地区 (n=242)	スポーツクラブ等、体を動かす活動 ／経験や技術を活かして収入が得られる活動		サークル等、グループで行う趣味活動	環境美化や交通安全等のまちづくり活動	パソコン教室等の新しい技術を学ぶ活動
	87 36.0%		58 24.0%	51 21.1%	40 16.5%
桜地区 (n=164)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	サークル等、グループで行う趣味活動	保育の手伝い等の子育て支援活動	公開講座等の学習・教養を深める活動
	68 41.5%	59 36.0%	50 30.5%	38 23.2%	37 22.6%
荃崎地区 (n=174)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	サークル等、グループで行う趣味活動	高齢者の見守りや介護支援等の活動	パソコン教室等の新しい技術を学ぶ活動
	68 39.1%	66 37.9%	56 32.2%	35 20.1%	30 17.2%
研究学園地区 (n=507)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	サークル等、グループで行う趣味活動	公開講座等の学習・教養を深める活動	保育の手伝い等の子育て支援活動
	228 45.0%	226 44.6%	166 32.7%	160 31.6%	106 20.9%
TX沿線地区 (n=321)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	サークル等、グループで行う趣味活動	保育の手伝い等の子育て支援活動	公開講座等の学習・教養を深める活動
	133 41.4%	131 40.8%	103 32.1%	87 27.1%	78 24.3%

【年齢別】

・全ての年齢で「スポーツクラブ等、体を動かす活動」「経験や技術を活かして収入が得られる活動」が上位に入っている。  
 ・30歳代以外の年齢で「サークル等、グループで行う趣味活動」も上位に入っている。30歳代では「保育の手伝い等の子育て支援活動」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=27)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	サークル等、グループで行う趣味活動	高齢者の見守りや介護支援等の活動	
	18 66.7%	15 55.6%	6 22.2%	5 18.5%	
20歳代 (n=189)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	サークル等、グループで行う趣味活動	保育の手伝い等の子育て支援活動	パソコン教室等の新しい技術を学ぶ活動
	88 46.6%	79 41.8%	69 36.5%	50 26.5%	42 22.2%
30歳代 (n=284)	経験や技術を活かして収入が得られる活動	スポーツクラブ等、体を動かす活動	保育の手伝い等の子育て支援活動	サークル等、グループで行う趣味活動	公開講座等の学習・教養を深める活動
	132 46.5%	116 40.8%	86 30.3%	84 29.6%	64 22.5%
40歳代 (n=419)	経験や技術を活かして収入が得られる活動	スポーツクラブ等、体を動かす活動	サークル等、グループで行う趣味活動	保育の手伝い等の子育て支援活動	公開講座等の学習・教養を深める活動
	201 48.0%	156 37.7%	120 28.6%	119 28.4%	93 22.2%
50歳代 (n=289)	経験や技術を活かして収入が得られる活動	スポーツクラブ等、体を動かす活動	サークル等、グループで行う趣味活動	公開講座等の学習・教養を深める活動	環境美化や交通安全等のまちづくり活動
	127 43.9%	107 37.0%	74 25.6%	69 23.9%	61 21.1%
60～64歳 (n=134)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	サークル等、グループで行う趣味活動	公開講座等の学習・教養を深める活動	環境美化や交通安全等のまちづくり活動
	58 43.3%	48 35.8%	47 35.1%	44 32.8%	27 20.1%
65～69歳 (n=147)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	サークル等、グループで行う趣味活動	経験や技術を活かして収入が得られる活動	パソコン教室等の新しい技術を学ぶ活動	公開講座等の学習・教養を深める活動
	55 37.4%	48 32.7%	38 25.9%	37 25.2%	36 24.5%
70～74歳 (n=158)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	サークル等、グループで行う趣味活動	高齢者の見守りや介護支援等の活動	公開講座等の学習・教養を深める活動	環境美化や交通安全等のまちづくり活動
	64 40.5%	50 31.6%	35 22.2%	33 20.9%	31 19.6%
75歳以上 (n=100)	スポーツクラブ等、体を動かす活動	サークル等、グループで行う趣味活動	高齢者の見守りや介護支援等の活動 ／パソコン教室等の新しい技術を学ぶ活動		経験や技術を活かして収入が得られる活動
	39 39.0%	37 37.0%	22 22.0%		18 18.0%

## 4 少子高齢化への取組について

### 【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「スポーツクラブ等、体を動かす活動」「経験や技術を活かして収入が得られる活動」が上位に入っている。
- ・その他以外の世帯構成で「サークル等、グループで行う趣味活動」も上位に入っている。その他では「高齢者の見守りや介護支援等の活動」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=189)	経験や技術を活かして収入が得られる活動		スポーツクラブ等、体を動かす活動		サークル等、グループで行う趣味活動		近隣や地域のひととの交流を深める		友人や仲間との交流を深める	
	148	78.3%	108	57.1%	46	24.3%	42	22.2%	41	21.7%
夫婦のみ (n=397)	スポーツクラブ等、体を動かす活動		サークル等、グループで行う趣味活動		経験や技術を活かして収入が得られる活動		公開講座等の学習・教養を深める活動		パソコン教室等の新しい技術を学ぶ活動	
	42.8	10.8%	35.0	8.8%	32.0	8.1%	28.0	7.1%	19.4	4.9%
親子 (n=915)	経験や技術を活かして収入が得られる活動		スポーツクラブ等、体を動かす活動		サークル等、グループで行う趣味活動		保育の手伝い等の子育て支援活動		公開講座等の学習・教養を深める活動	
	380	41.5%	377	41.2%	270	29.5%	238	26.0%	187	20.4%
三世帯同居 (n=172)	経験や技術を活かして収入が得られる活動		スポーツクラブ等、体を動かす活動		サークル等、グループで行う趣味活動		環境美化や交通安全等のまちづくり活動		保育の手伝い等の子育て支援活動	
	62	36.0%	61	35.5%	51	29.7%	41	23.8%	38	22.1%
その他 (n=10)	経験や技術を活かして収入が得られる活動		スポーツクラブ等、体を動かす活動		高齢者の見守りや介護支援等の活動		公開講座等の学習・教養を深める活動		サークル等、グループで行う趣味活動	
	28	41.2%	21	30.9%	19	27.9%	15	22.1%	14	20.6%

### 【世帯に含む人別】

- ・全ての世帯で「スポーツクラブ等、体を動かす活動」「経験や技術を活かして収入が得られる活動」が上位に入っている。
- ・6歳未満の乳幼児を含む世帯では「保育の手伝い等の子育て支援活動」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児 (n=246)	スポーツクラブ等、体を動かす活動		保育の手伝い等の子育て支援活動		経験や技術を活かして収入が得られる活動		サークル等、グループで行う趣味活動		公開講座等の学習・教養を深める活動	
	112	45.5%	104	42.3%	96	39.0%	75	30.5%	52	21.1%
小中学生 (n=385)	経験や技術を活かして収入が得られる活動		スポーツクラブ等、体を動かす活動		サークル等、グループで行う趣味活動		保育の手伝い等の子育て支援活動		公開講座等の学習・教養を深める活動/ 共同農園等での農作業活動	
	181	47.0%	157	40.8%	123	31.9%	116	30.1%	72	18.7%
65～74歳の方 (n=416)	スポーツクラブ等、体を動かす活動		サークル等、グループで行う趣味活動		経験や技術を活かして収入が得られる活動		公開講座等の学習・教養を深める活動		環境美化や交通安全等のまちづくり活動	
	162	38.9%	132	31.7%	99	23.8%	86	20.7%	78	18.8%
75歳以上の方 (n=295)	スポーツクラブ等、体を動かす活動		経験や技術を活かして収入が得られる活動		サークル等、グループで行う趣味活動		環境美化や交通安全等のまちづくり活動		高齢者の見守りや介護支援等の活動	
	100	33.9%	89	30.2%	87	29.5%	64	21.7%	63	21.4%

## 5 防災対策・防犯活動について

問 23 あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。

&lt;○は当てはまるものすべて&gt;

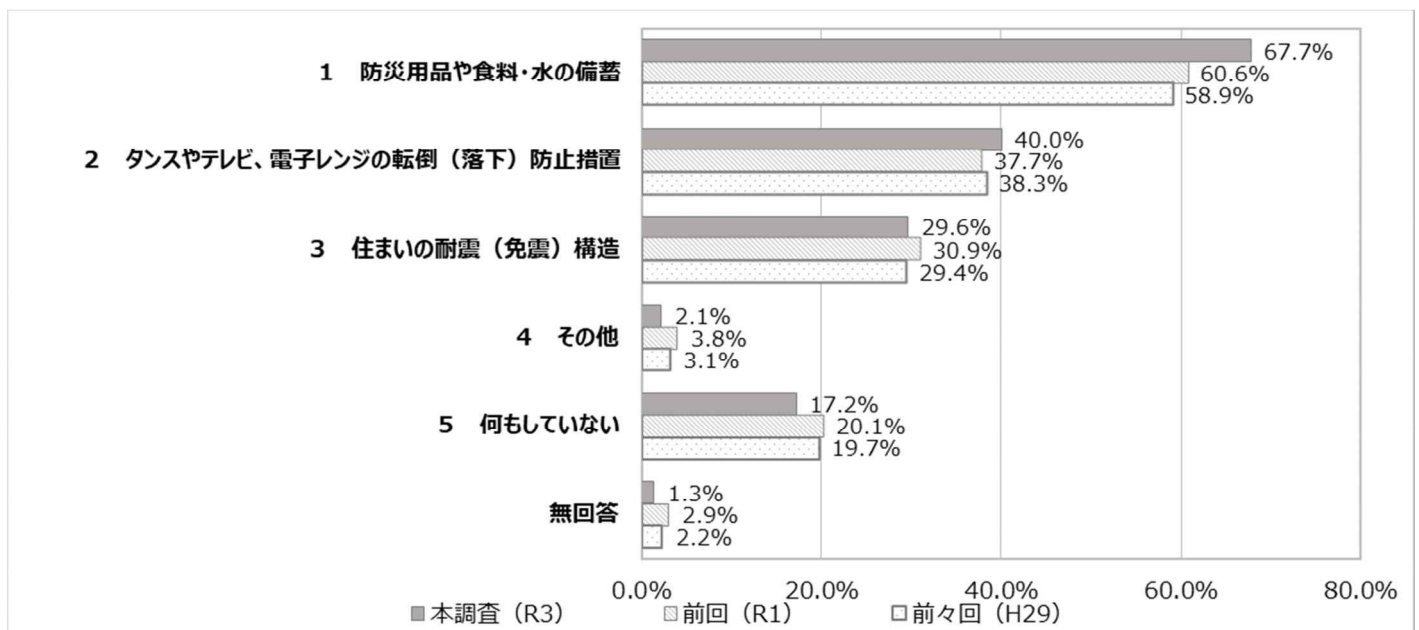
## ① 全体集計の結果

## ●防災対策として実施しているものは、「防災用品や食料・水の備蓄」が6割半ば

- ・防災対策として実施しているものについては、「防災用品や食料・水の備蓄」が1,186人(67.7%)で最も多く、「タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置」が701人(40.0%)、「住まいの耐震(免震)構造」が519人(29.6%)で続いている。
- ・前回と比べると、「防災用品や食料・水の備蓄」が7.1ポイント上昇している。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 防災用品や食料・水の備蓄	1,186	67.7%	60.6%	58.9%
2 タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置	701	40.0%	37.7%	38.3%
3 住まいの耐震(免震)構造	519	29.6%	30.9%	29.4%
4 その他	37	2.1%	3.8%	3.1%
5 何もしていない	301	17.2%	20.1%	19.7%
無回答	23	1.3%	2.9%	2.2%
全体(有効回答数)	1,751			

&lt;過年度調査との比較(項目順)&gt;



## 5 防災対策について

問23 あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

### ② クロス集計

#### 【地区別】

- 全ての地区で「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多く、「タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
筑波地区 (n=101)	防災用品や食料・水の備蓄	何もしていない	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	その他
	44 43.6%	35 34.7%	29 28.7%	19 18.8%	1 1.0%
大穂地区 (n=95)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	何もしていない	住まいの耐震(免震)構造	その他
	55 57.9%	28 29.5%	23 24.2%	22 23.2%	1 1.1%
豊里地区 (n=104)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	何もしていない	住まいの耐震(免震)構造	その他
	56 53.8%	32 30.8%	27 26.0%	26 25.0%	7 6.7%
谷田部地区 (n=192)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	その他
	104 54.2%	73 38.0%	59 30.7%	38 19.8%	6 3.1%
桜地区 (n=126)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	その他
	83 65.9%	45 35.7%	37 29.4%	21 16.7%	5 4.0%
荻崎地区 (n=153)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	何もしていない	住まいの耐震(免震)構造	その他
	87 56.9%	57 37.3%	39 25.5%	31 20.3%	10 6.5%
研究学園地区 (n=440)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	その他
	295 67.0%	193 43.9%	127 28.9%	75 17.0%	20 4.5%
TX沿線地区 (n=270)	防災用品や食料・水の備蓄	住まいの耐震(免震)構造	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	何もしていない	その他
	174 64.4%	137 50.7%	102 37.8%	40 14.8%	7 2.6%

#### 【年齢別】

- 全ての年齢で「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多く、「タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置」が上位に入っている。
- 20歳代で「何もしていない」が上位に入っている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=25)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	-
	14 56.0%	9 36.0%	8 32.0%	5 20.0%	-
20歳代 (n=105)	防災用品や食料・水の備蓄	何もしていない	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	その他
	48 45.7%	38 36.2%	32 30.5%	16 15.2%	8 7.6%
30歳代 (n=241)	防災用品や食料・水の備蓄	住まいの耐震(免震)構造	タンスやテレビ、電子レンジの転倒 (落下)防止措置	何もしていない	その他
	153 63.5%	83 34.4%	77 32.0%	48 19.9%	7 2.9%
40歳代 (n=319)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置 ／住まいの耐震(免震)構造	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	その他
	218 68.3%	117 36.7%	48 15.0%	16 5.0%	
50歳代 (n=248)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	その他
	142 57.3%	108 43.5%	74 29.8%	59 23.8%	3 1.2%
60～64歳 (n=131)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	その他
	88 67.2%	56 42.7%	49 37.4%	20 15.3%	6 4.6%
65～69歳 (n=118)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	その他
	71 60.2%	45 38.1%	36 30.5%	20 16.9%	3 2.5%
70～74歳 (n=169)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	その他
	92 54.4%	72 42.6%	42 24.9%	32 18.9%	10 5.9%
75歳以上 (n=119)	防災用品や食料・水の備蓄	タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置	住まいの耐震(免震)構造	何もしていない	その他
	70 58.8%	40 33.6%	30 25.2%	26 21.8%	4 3.4%

## 【世帯構成別】

- 全ての世帯構成で「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多く、「タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=189)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの転倒(落下)防止措置 ／何もしていない				住まいの耐震(免震)構造		その他	
	106	56.1%	58		30.7%		21	11.1%	7	3.7%
夫婦のみ (n=397)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	293	73.8%	178	44.8%	118	29.7%	56	14.1%	9	2.3%
親子 (n=915)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	643	70.3%	370	40.4%	328	35.8%	127	13.9%	19	2.1%
三世帯同居 (n=172)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	104	60.5%	72	41.9%	41	23.8%	35	20.3%	2	1.2%
その他 (n=68)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		-	
	37	54.4%	21	30.9%	20	29.4%	10	14.7%	-	-

## 【住まい別】

- 全ての住まいで「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建(持ち家) (n=1,165)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	790	67.8%	472	40.5%	408	35.0%	181	15.5%	20	1.7%
一戸建(借家) (n=35)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		その他		住まいの耐震(免震)構造	
	23	65.7%	16	45.7%	8	22.9%	2	5.7%	1	2.9%
集合住宅(分譲) (n=151)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	121	80.1%	77	51.0%	76	50.3%	11	7.3%	4	2.6%
集合住宅(賃貸) (n=333)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	208	62.5%	105	31.5%	91	27.3%	28	8.4%	9	2.7%
公営住宅(公社・ 県営・市営) (n=17)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		タンスやテレビ、電子レンジの転倒 (落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		-	
	9	52.9%	6	35.3%	4	23.5%	1	5.9%	-	-
社宅・官舎 (n=31)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの 転倒(落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない／その他			
	25	80.6%	20	64.5%	2	6.5%	1			3.2%
その他 (n=15)	防災用品や食料・水の備蓄		タンスやテレビ、電子レンジの転倒 (落下)防止措置		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない／その他			
	9	60.0%	6	40.0%	2	13.3%	1			6.7%

## 5 防災対策について

**問 24** あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。〈〇は1つ〉

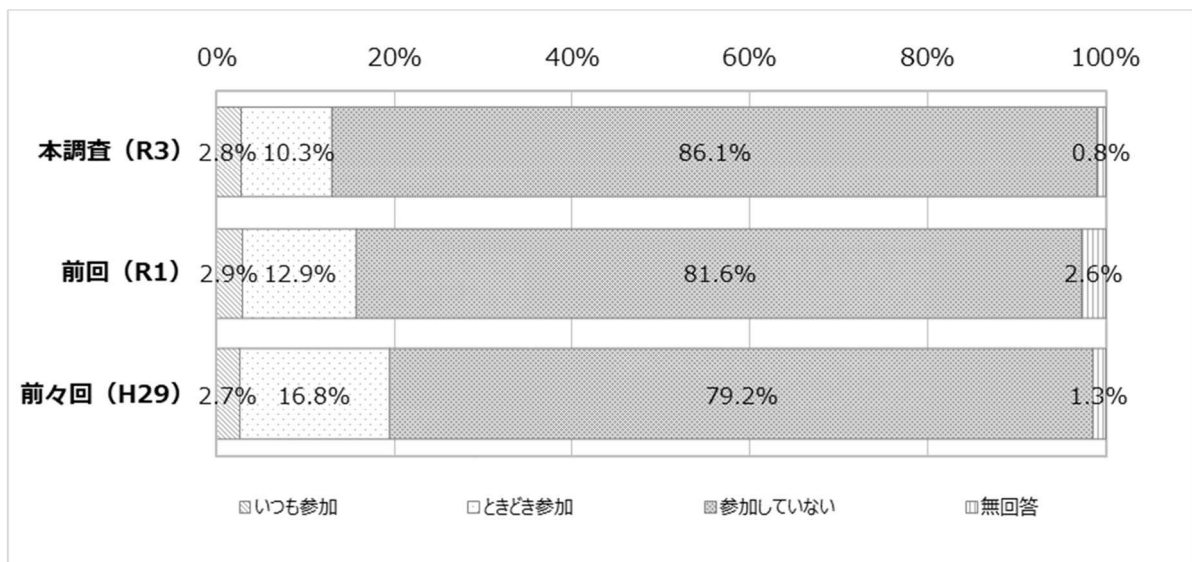
### ① 全体集計の結果

#### ●防犯活動に「参加していない」が8割半ば

- ・防犯活動への参加については、「参加していない」が1,507人(86.1%)で最も多く、「ときどき参加」が181人(10.3%)、「いつも参加」が49人(2.8%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
いつも参加	49	2.8%	2.9%	2.7%
ときどき参加	181	10.3%	12.9%	16.8%
参加していない	1,507	86.1%	81.6%	79.2%
無回答	14	0.8%	2.6%	1.3%
全体(有効回答数)	1,751	100.0%	100.0%	100.0%

### ＜過年度調査との比較＞





**問 24** あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。〈〇は1つ〉

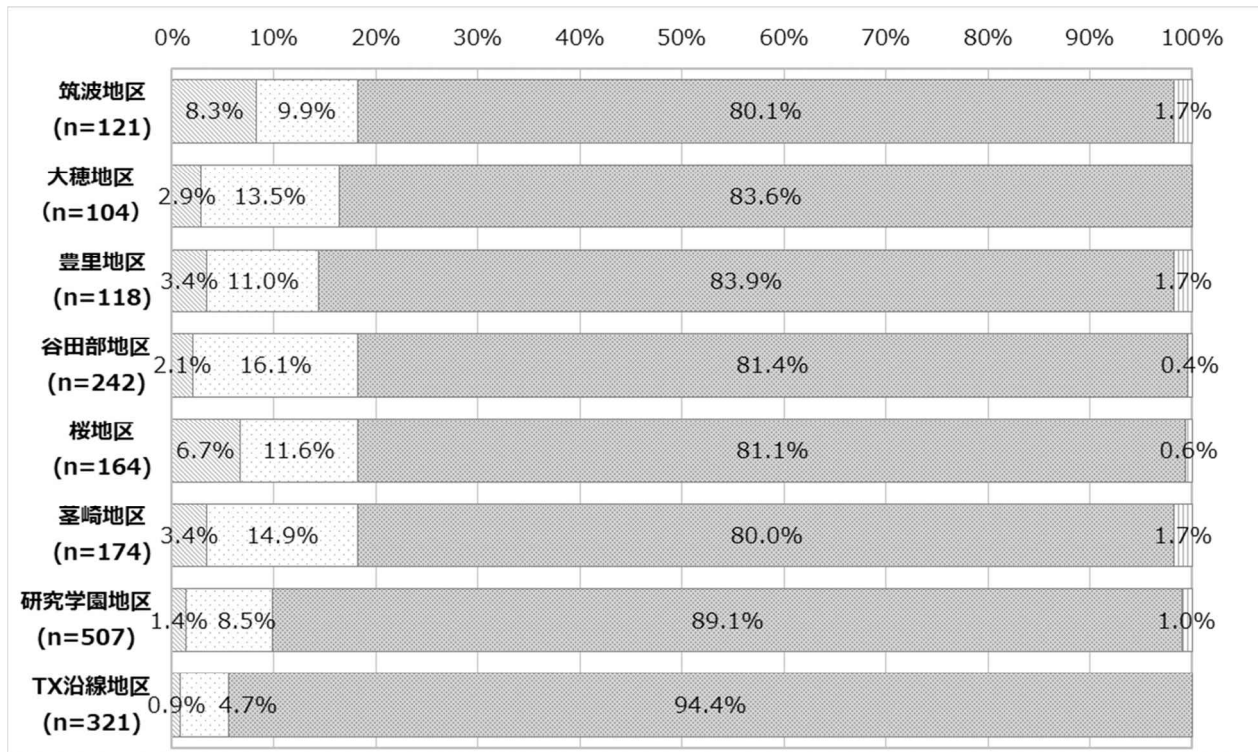
② クロス集計

いつも参加    ときどき参加    参加していない    無回答



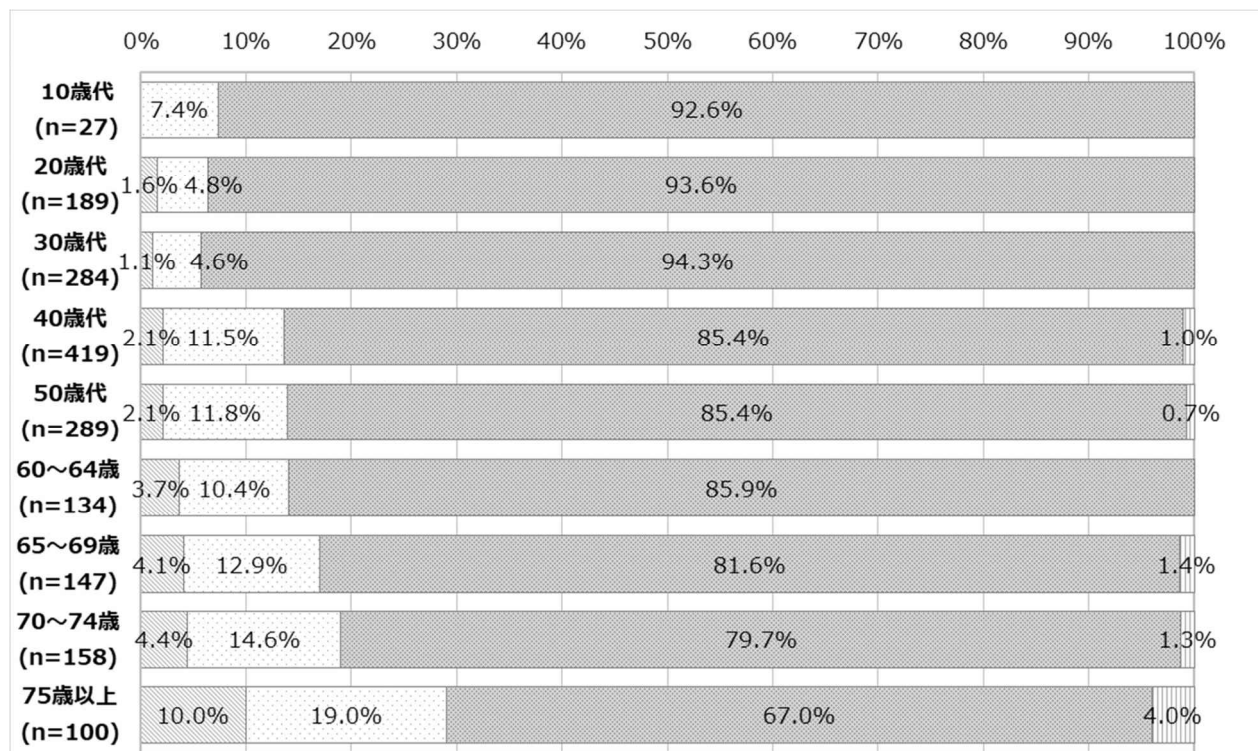
【地区別】

- ・全地区で「参加していない」の割合が80%を超えている。
- ・筑波地区、大穂地区、谷田部地区、桜地区、荃崎地区では「いつも参加/ときどき参加」の割合が15%を超えている。



【年齢別】

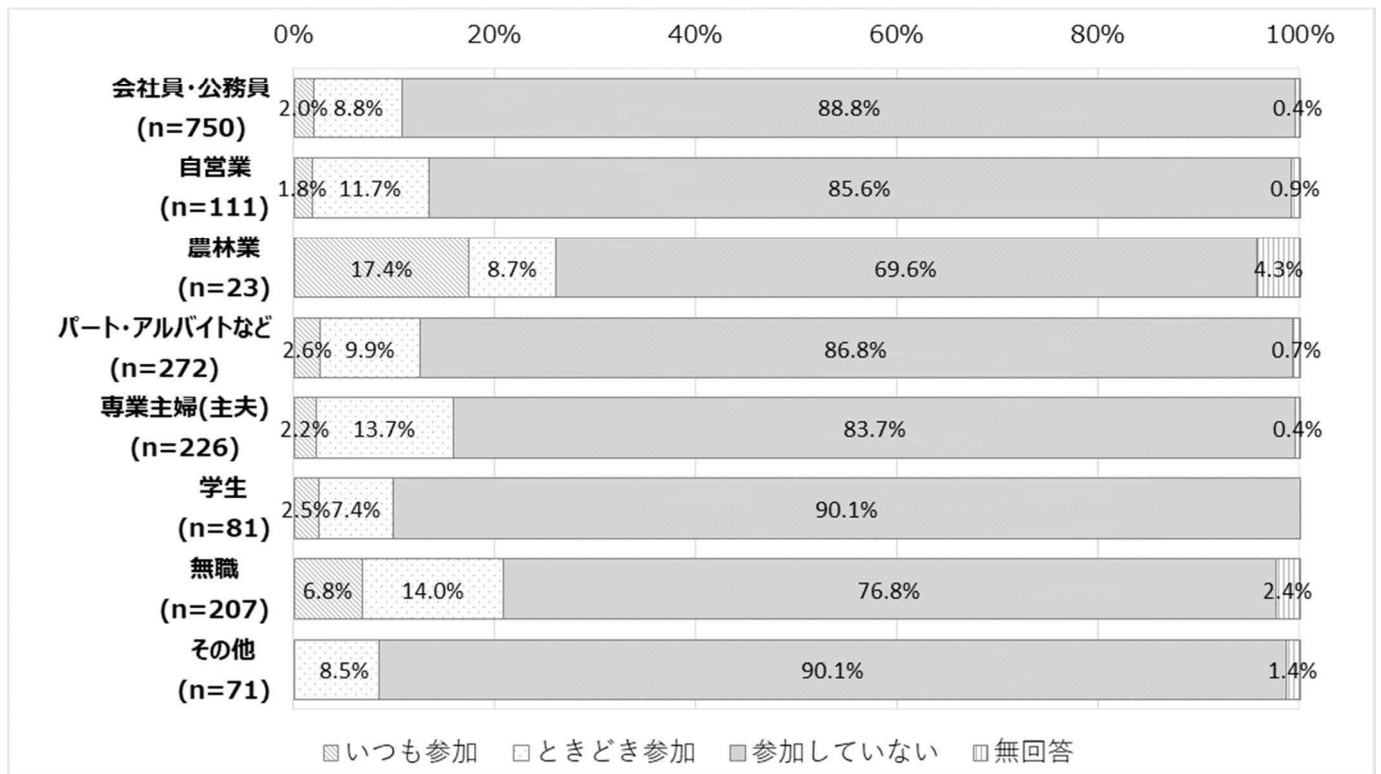
- ・全ての年齢で「参加していない」の割合が最も多くなっている。
- ・75歳以上では「いつも参加/ときどき参加」の割合が20%を超えている。
- ・10歳代、20歳代、30歳代では「いつも参加/ときどき参加」の割合が10%を下回っている。



## 5 防災対策について

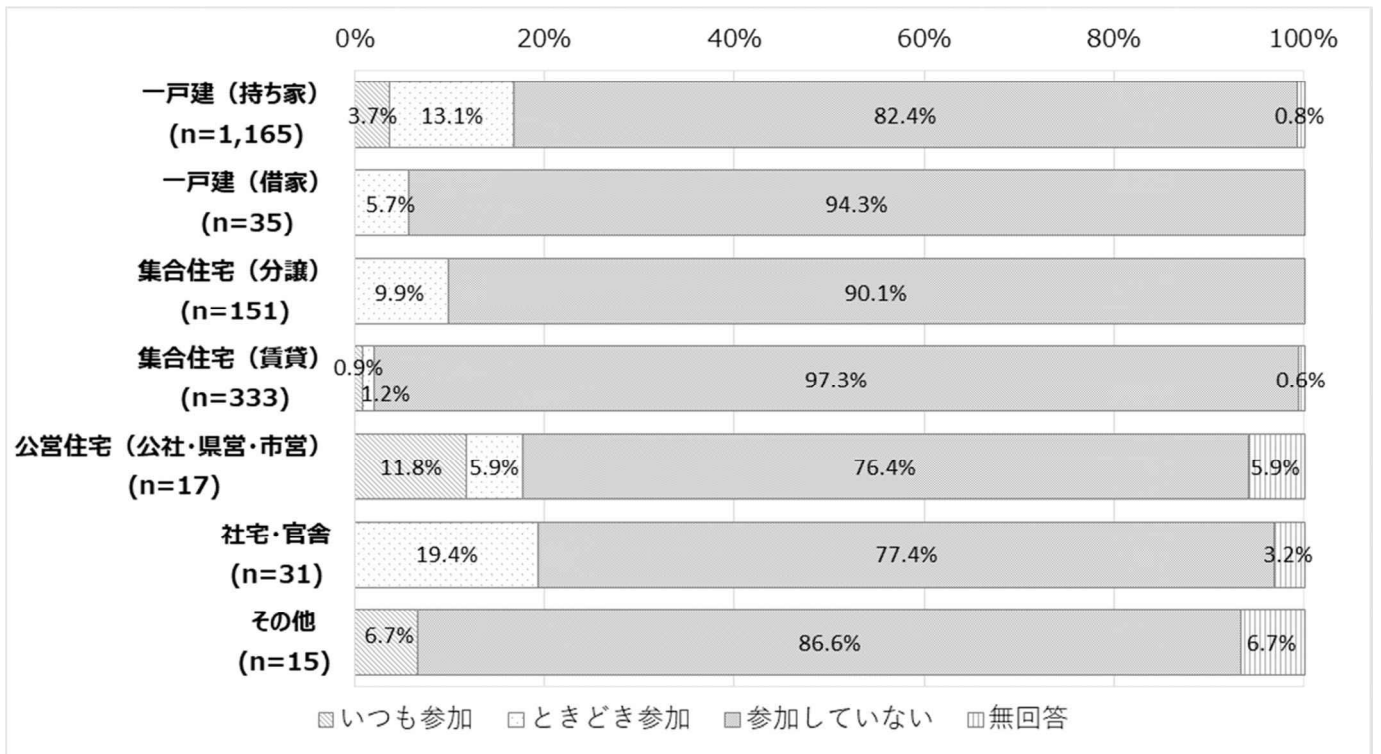
### 【職業別】

- ・学生、その他では「参加してしない」の割合が90%を超えている。
- ・農林業、無職では「いつも参加/ときどき参加」の割合が20%を超えている。



### 【住まい別】

- ・一戸建（借家）、集合住宅（分譲）、集合住宅（賃貸）では「参加してしない」の割合が90%を超えている。
- ・公営住宅（公社・県営・市営）では「いつも参加」の割合が10%を超えている。



【問 24 で「3 参加していない」とお答えの方にお聞きします】

問 25 防犯活動に参加しない理由は何ですか。

&lt;〇は1つ&gt;

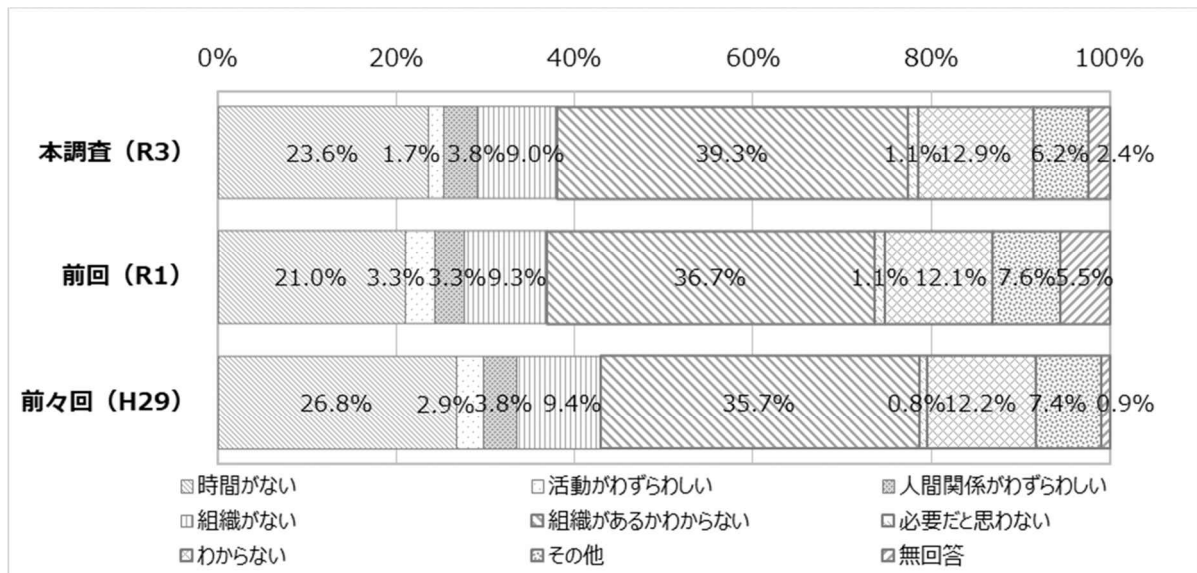
## ① 全体集計の結果

## ●防犯活動に参加しない理由は、「組織があるかわからない」が4割近く

・防犯活動に参加しない理由は、「組織があるかわからない」が 591 人(39.3%)で最も多く、「時間がない」が 356 人(23.6%)、「わからない」が 195 人(12.9%)で続いている。

選択肢	本調査 (R3)		前回 (R1)	前々回 (H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
時間がない	356	23.6%	21.0%	26.8%
活動がわずらわしい	26	1.7%	3.3%	2.9%
人間関係がわずらわしい	58	3.8%	3.3%	3.8%
組織がない	136	9.0%	9.3%	9.4%
組織があるかわからない	591	39.3%	36.7%	35.7%
必要だと思わない	16	1.1%	1.1%	0.8%
わからない	195	12.9%	12.1%	12.2%
その他	93	6.2%	7.6%	7.4%
無回答	36	2.4%	5.5%	0.9%
全体	1,507	100.0%	100.0%	100.0%

&lt;過年度調査との比較&gt;





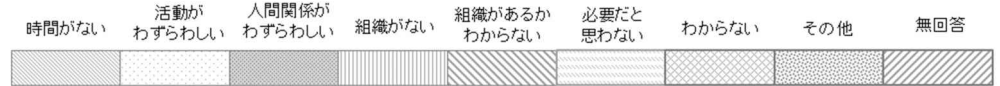
## 5 防災対策について

【問 24 で「3 参加していない」とお答えの方にお聞きます】

問 25 防犯活動に参加しない理由は何ですか。

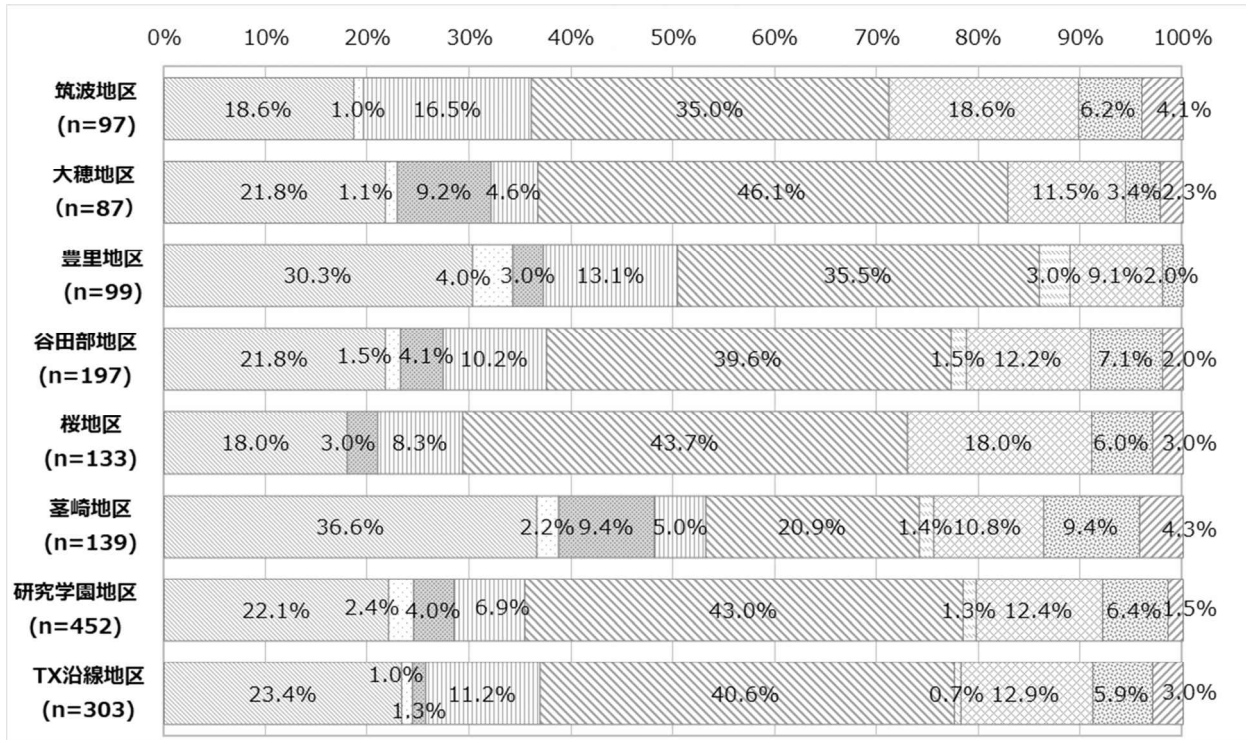
<○は1つ>

### ② クロス集計



#### 【地区別】

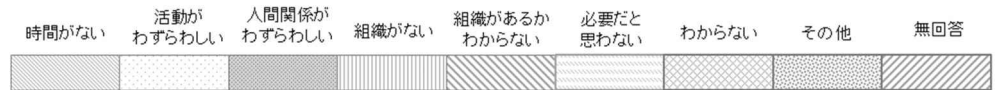
- ・ 荃崎地区以外全ての地区で「組織があるかわからない」の割合が最も多く、35%を超えている。
- ・ 荃崎地区では「時間がない」の割合が36.6%で最も多く、豊里地区でも「時間がない」の割合が30%を超えている。



#### 【年齢別】

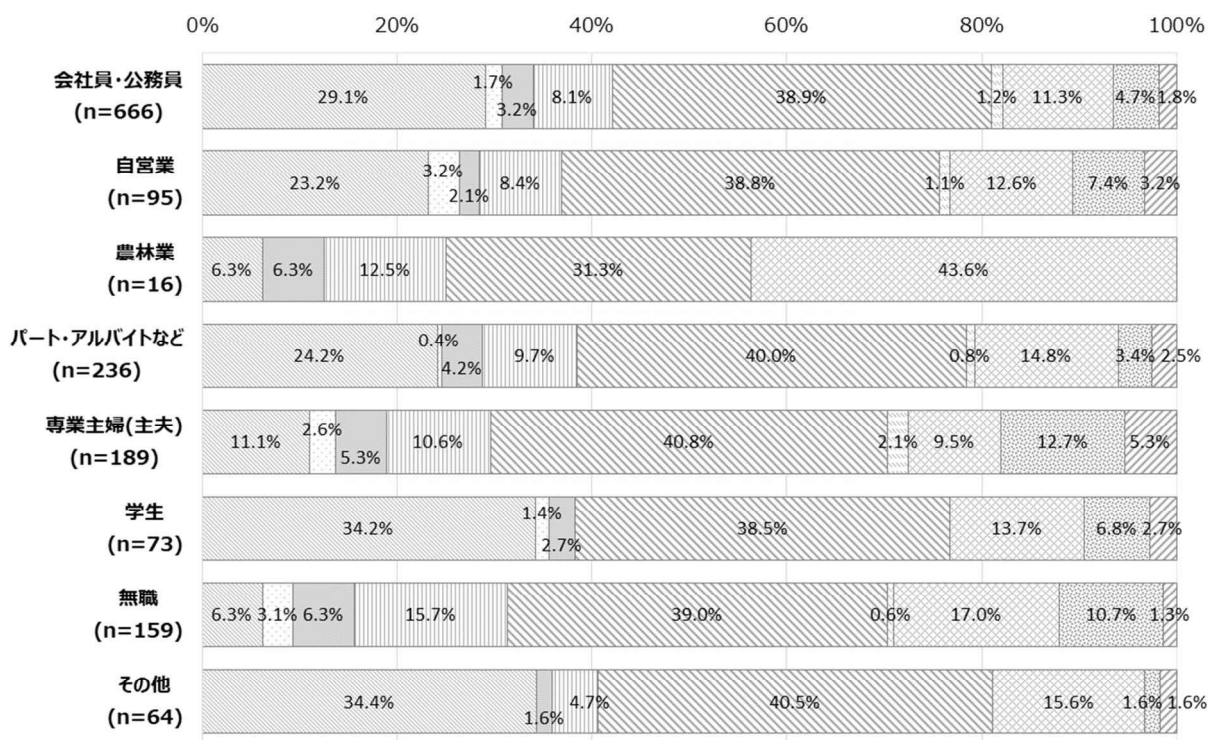
- ・ 全ての年齢で「組織があるかわからない」の割合が最も多く、30%を超えている。





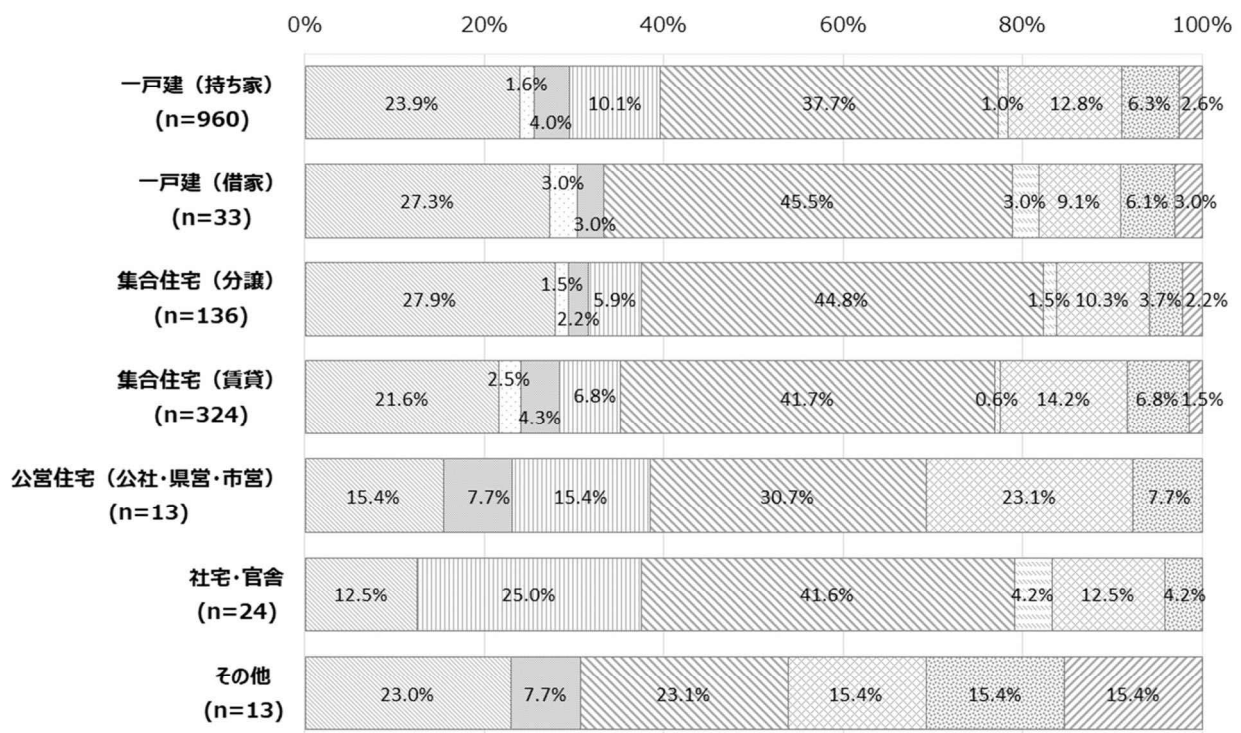
【職業別】

- ・農林業以外の職業では「組織があるかわからない」の割合が最も多く、30%を超えている。
- ・農林業では「わからない」の割合が40%を超えている。



【住まい別】

- ・一戸建(借家)、集合住宅(分譲)、集合住宅(賃貸)、社宅・官舎では「組織があるかわからない」の割合が40%を超えている。



## 6 交通環境について

問 26 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

&lt;○は当てはまるものすべて&gt;

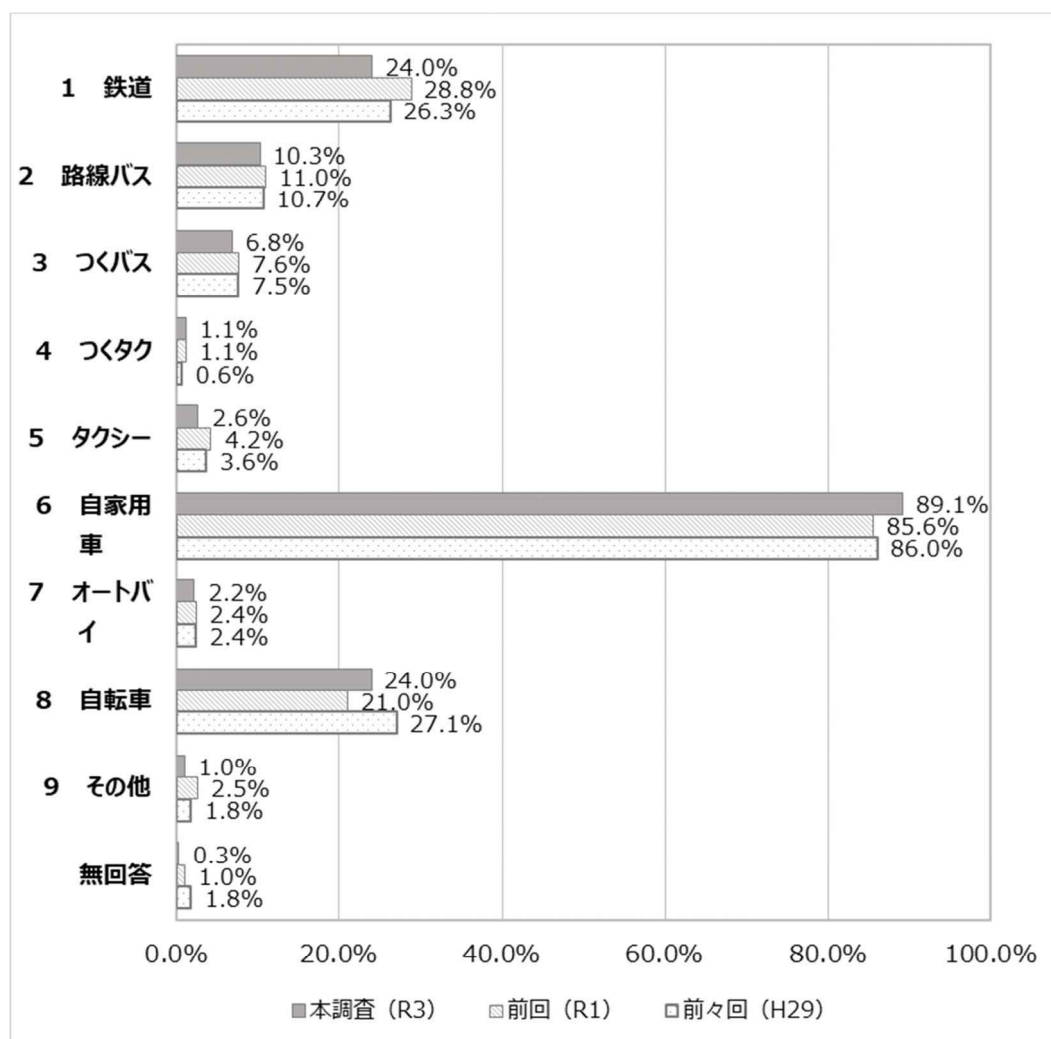
## ① 全体集計の結果

## ●日常利用する交通手段は、「自家用車」が9割近く

・日常利用する交通手段は、「自家用車」が1,561人(89.1%)で最も多く、「鉄道」「自転車」が421人(24.0%)、「路線バス」が180人(10.3%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 鉄道	421	24.0%	28.9%	28.8%
2 路線バス	180	10.3%	10.9%	11.0%
3 つくバス	119	6.8%	8.2%	7.6%
4 つくタク	20	1.1%	1.6%	1.1%
5 タクシー	46	2.6%	3.4%	4.2%
6 自家用車	1,561	89.1%	85.8%	85.6%
7 オートバイ	38	2.2%	2.0%	2.4%
8 自転車	420	24.0%	19.9%	21.0%
9 その他	18	1.0%	2.0%	2.5%
無回答	5	0.3%	1.8%	1.0%
全体(有効回答数)	1,751			

&lt;過年度調査との比較(項目順)&gt;





問 26 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

〈○は当てはまるものすべて〉

## ② クロス集計

## 【地区別】

・全ての地区で「自家用車」が最も多く、「自転車」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=121)	自家用車		自転車		鉄道／つくバス		路線バス			
	113	93.4%	16	13.2%		13	10.7%	7	5.8%	
大穂地区 (n=104)	自家用車		自転車		つくバス		鉄道		路線バス	
	96	92.3%	22	21.2%	12	11.5%	10	9.6%	4	3.8%
豊里地区 (n=118)	自家用車		鉄道		自転車		つくバス		オートバイ	
	115	97.5%	21	17.8%	16	13.6%	9	7.6%	5	4.2%
谷田部地区 (n=242)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		オートバイ	
	224	92.6%	52	21.5%	44	18.2%	14	5.8%	8	3.3%
桜地区 (n=164)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	149	90.9%	34	20.7%	28	17.1%	14	8.5%	13	7.9%
荃崎地区 (n=174)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	158	90.8%	29	16.7%	26	14.9%	21	12.1%	17	9.8%
研究学園地区 (n=507)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	415	81.9%	178	35.1%	153	30.2%	102	20.1%	39	7.7%
TX沿線地区 (n=321)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	291	90.7%	123	38.3%	76	23.7%	14	4.4%	10	3.1%

## 【年齢別】

・全ての年齢で「自家用車」が最も多くなっており、「鉄道」「自転車」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=27)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	14	51.9%	13	48.1%	1,200.0%	44.4%	11	40.7%	4	14.8%
20歳代 (n=189)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	141	74.6%	87	46.0%	73	38.6%	34	18.0%	27	14.3%
30歳代 (n=284)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	254	89.4%	69	24.3%	66	23.2%	17	6.0%	10	3.5%
40歳代 (n=419)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	382	91.2%	105	25.1%	95	22.7%	36	8.6%	24	5.7%
50歳代 (n=289)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	265	91.7%	64	22.1%	62	21.5%	29	10.0%	18	6.2%
60～64歳 (n=134)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	127	94.8%	28	20.9%	21	15.7%	12	9.0%	6	4.5%
65～69歳 (n=147)	自家用車		鉄道／自転車				路線バス		タクシー	
	139	94.6%		26		17.7%	11	7.5%	6	4.1%
70～74歳 (n=158)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		路線バス	
	145	91.8%	31	19.6%	21	13.3%	18	11.4%	15	9.5%
75歳以上 (n=100)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス／タクシー／つくタク	
	90	90.0%	23	23.0%	17	17.0%	14	14.0%	9	9.0%

## 6 交通環境について

### 【職業別】

- ・全ての職業で「自家用車」が最も多くなっており、農林業以外の職業では「自転車」が上位に入っている。
- ・農林業以外全ての職業で「鉄道」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=750)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	673	89.7%	218	29.1%	151	20.1%	67	8.9%	53	7.1%
自営業 (n=111)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス/つくバス			
	107	96.4%	26	23.4%	22	19.8%	6		5.4%	
農林業 (n=23)	自家用車		自転車		タクシー		鉄道/路線バス/つくバス/オートバイ			
	22	95.7%	5	21.7%	2	8.7%	1		4.3%	
パート・アルバイトなど (n=272)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	256	94.1%	67	24.6%	47	17.3%	24	8.8%	10	3.7%
専業主婦(主夫) (n=226)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス/つくバス			
	205	90.7%	57	25.2%	32	14.2%	16		7.1%	
学生 (n=81)	鉄道/自家用車				自転車		路線バス		つくバス	
	47		58.0%		43	53.1%	25	30.9%	11	13.6%
無職 (n=207)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	179	86.5%	50	24.2%	35	16.9%	27	13.0%	18	8.7%
その他 (n=71)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス/タクシー	
	63	88.7%	17	23.9%	16	22.5%	11	15.5%	3	4.2%

### 【住まい別】

- ・その他以外の全ての住まいで「自家用車」が最も多く、「鉄道」「自転車」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位		
一戸建(持ち家) (n=1,165)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス		
	1,080	92.7%	251	21.5%	235	20.2%	93	8.0%	71	6.1%	
一戸建(借家) (n=35)	自家用車		自転車		鉄道/オートバイ			路線バス/つくタク			
	31	88.6%	5	14.3%	3		8.6%		2		5.7%
集合住宅(分譲) (n=151)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス		
	133	88.1%	50	33.1%	39	25.8%	19	12.6%	7	4.6%	
集合住宅(賃貸) (n=333)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス		
	268	80.5%	109	32.7%	99	29.7%	50	15.0%	29	8.7%	
公営住宅(公社・ 県営・市営) (n=17)	自家用車		鉄道/路線バス/つくバス/自転車						4		23.5%
	13	76.5%									
社宅・官舎 (n=31)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス		
	24	77.4%	13	41.9%	10	32.3%	8	25.8%	1	3.2%	
その他 (n=15)	鉄道		自家用車/自転車			つくバス		路線バス			
	9	60.0%	8		53.3%		5	33.3%	3	20.0%	

**問 27** あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に通行できていると思いますか。

<〇は1つ>

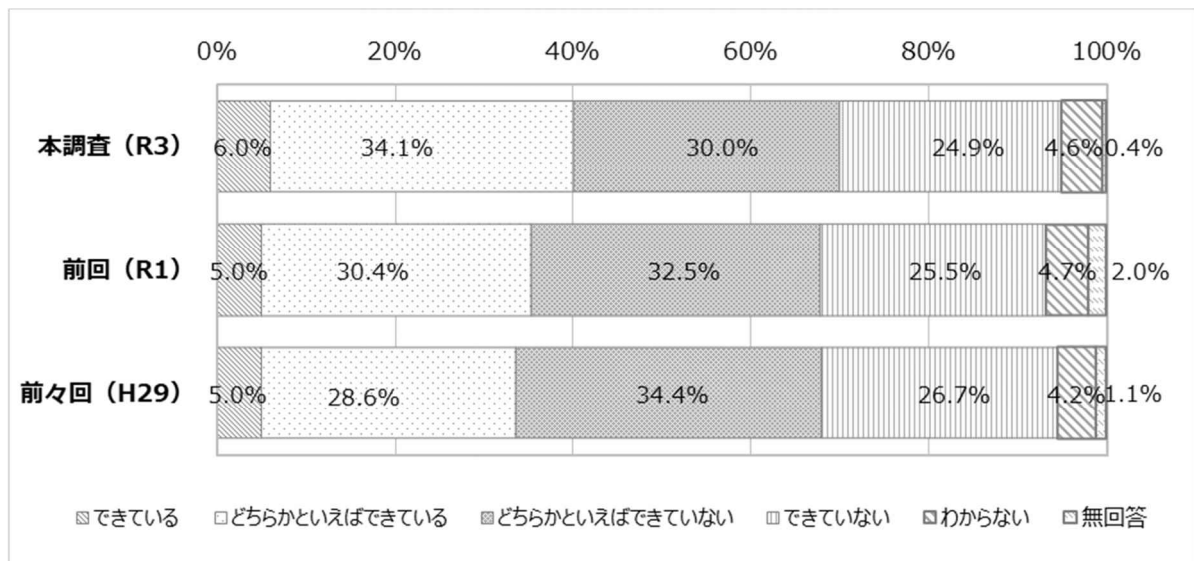
① 全体集計の結果

●歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に通行できているかについては、「どちらかといえばできていない/できていない」が5割半ば

- 安全で快適に通行できているかについては、「どちらかといえばできている」が597人(34.1%)で最も多く、「どちらかといえばできていない」が525人(30.0%)、「できていない」が436人(24.9%)、「できている」が105人(6.0%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
できている	105	6.0%	5.0%	5.0%
どちらかといえばできている	597	34.1%	30.4%	28.6%
どちらかといえばできていない	525	30.0%	32.5%	34.4%
できていない	436	24.9%	25.5%	26.7%
わからない	81	4.6%	4.7%	4.2%
無回答	7	0.4%	2.0%	1.1%
全体	1,751	100.0%	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>

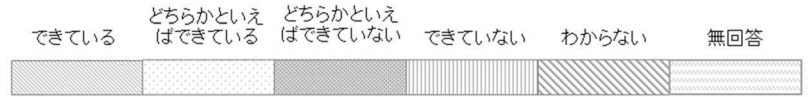


## 6 交通環境について

**問27** あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に  
通行できていると思いますか。

<〇は1つ>

### ② クロス集計



#### 【地区別】

- ・豊里地区、谷田部地区、荃崎地区では「どちらかといえばできていない/できていない」の割合が60%を超えている。
- ・筑波地区、研究学園地区、TX沿線地区では「できている/どちらかといえばできている」の割合が40%を超えている。



#### 【年齢別】

- ・60～64歳代では「どちらかといえばできていない/できていない」の割合が多く、60%を超えている。
- ・10歳代では「できている/どちらかといえばできている」の割合が他の地区に比べて多く、50%を超えている。



問 28 つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。

<〇は1つ>

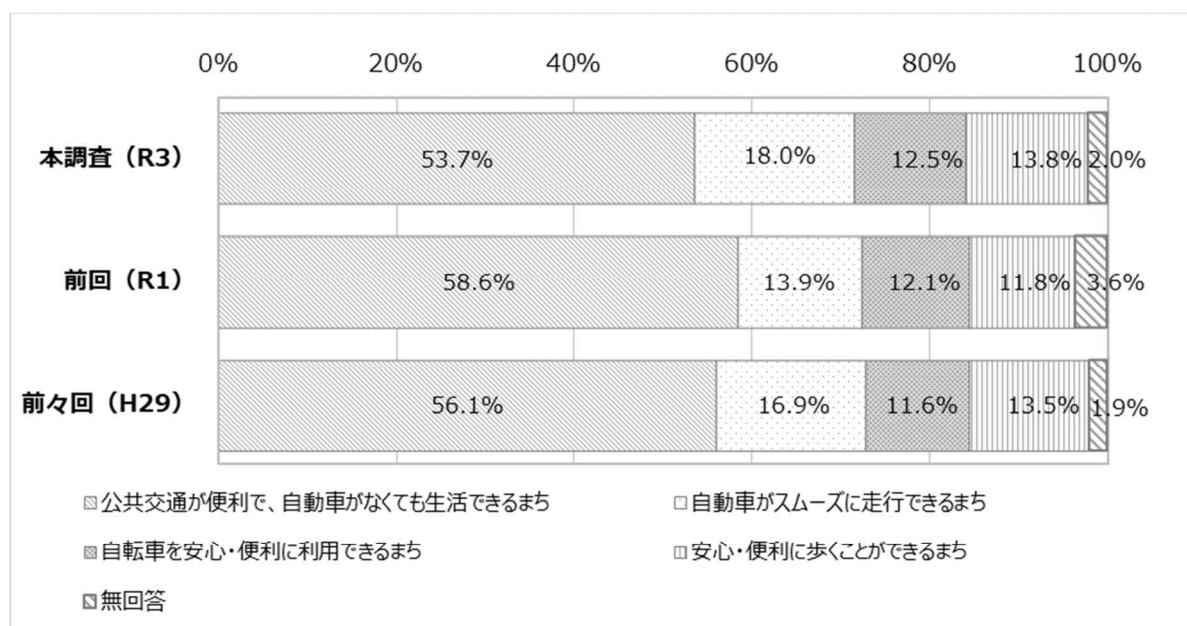
① 全体集計の結果

●つくば市の交通環境で望ましいことについては、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が約5割

・つくば市の交通環境で望ましいことについては、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が941人(53.7%)で最も多く、「自動車がスムーズに走行できるまち」が315人(18.0%)、「安心・便利に歩くことができるまち」が241人(13.8%)、「自転車を安心・便利に利用できるまち」が219人(12.5%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち	941	53.7%	58.6%	56.1%
自動車がスムーズに走行できるまち	315	18.0%	13.9%	16.9%
自転車を安心・便利に利用できるまち	219	12.5%	12.1%	11.6%
安心・便利に歩くことができるまち	241	13.8%	11.8%	13.5%
無回答	35	2.0%	3.6%	1.9%
全体	1,751	100.0%	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



## 6 交通環境について

問 28 つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。

<○は1つ>

### ② クロス集計

公共交通が便利で、  
自動車がなくても

自動車がスムーズ  
に走行できるまち

自転車を安心・便利  
に利用できるまち

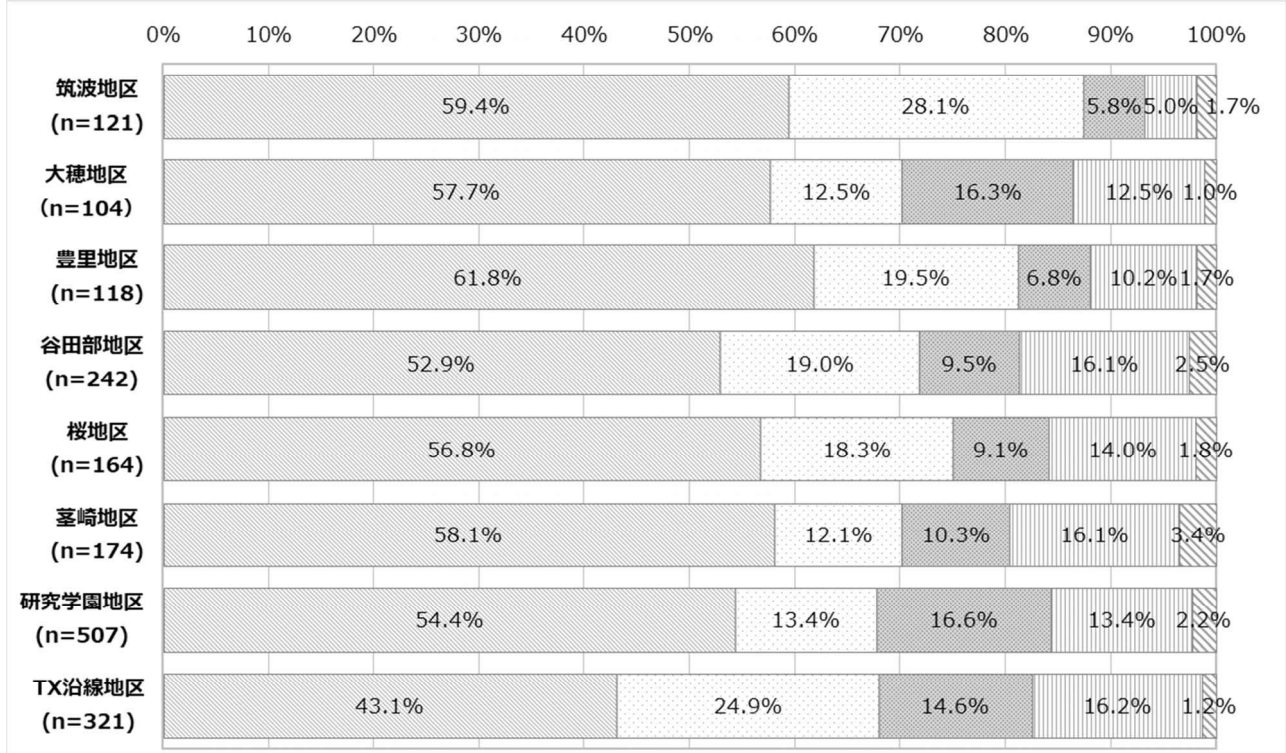
安心・便利に歩  
くことができるまち

無回答



#### 【地区別】

- 全ての地区で「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」の割合が最も多く、豊里地区では60%を超えている。
- 筑波地区、TX沿線地区では「自動車がスムーズに走行できるまち」の割合が20%を超えている。

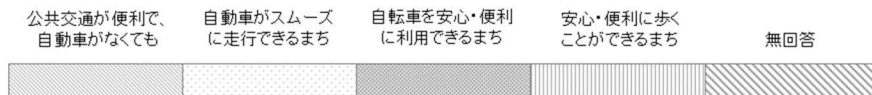


#### 【年齢別】

- 全ての年齢で「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」の割合が最も多くなっている。

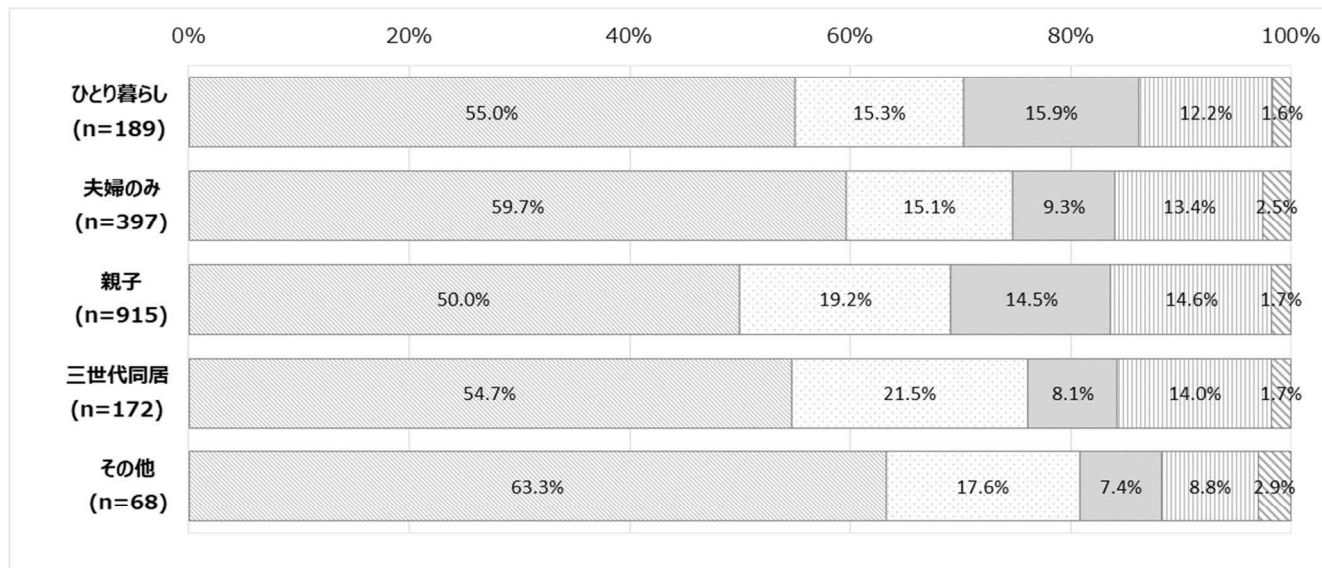






## 【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」の割合が最も多く、その他では60%を超えている。
- ・三世帯同居では「自動車がスムーズに走行できるまち」の割合が20%を超えている。



## 【世帯に含む人別】

- ・全ての世帯で「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」の割合が最も多く、75歳以上の方を含む世帯では60%を超えている。
- ・小中学生を含む世帯では「自転車を安心・便利に利用できるまち」の割合が15%を超えている。



## 7 運動習慣について

**問 29** あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含まれます。 <〇は1つ>

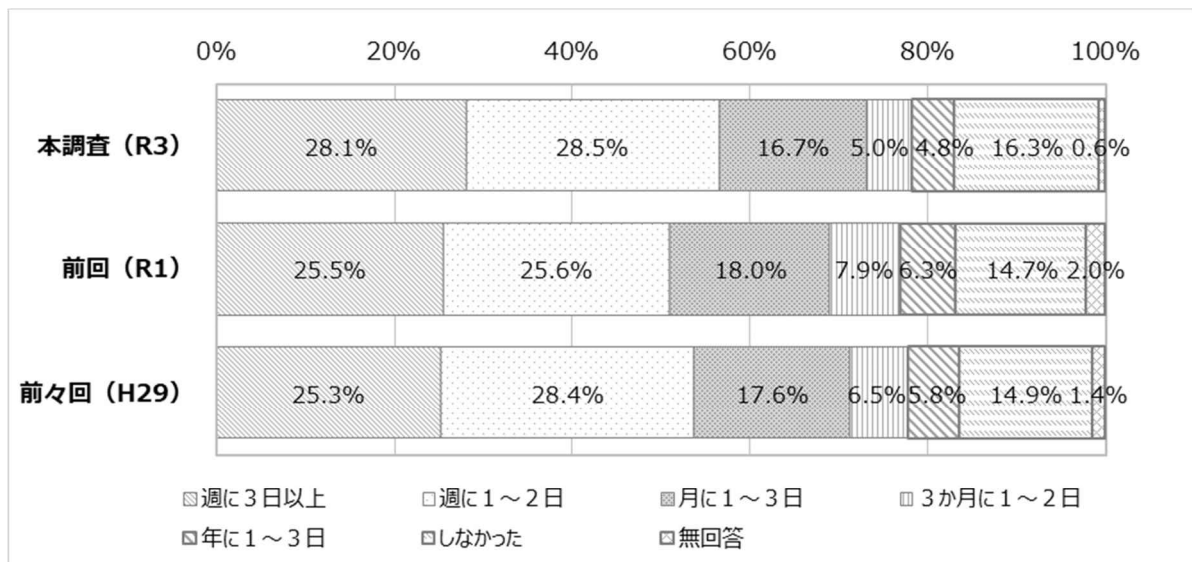
## ① 全体集計の結果

## ●年間のスポーツ頻度は、「週に1日以上」が5割半ば

- ・一年間の運動やスポーツの頻度については、「週に1～2日」が500人(28.5%)で最も多く、「週に3日以上」が492人(28.1%)、「月に1～3日」が293人(16.7%)、「しなかった」が285人(16.3%)で続いている。
- ・「週に3日以上」と「週に1～2日」を合わせた「週に1日以上」は56.6%である。
- ・前回と比べると、「週に3日以上」の割合が2.6%上昇している。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
週に3日以上	492	28.1%	25.5%	25.3%
週に1～2日	500	28.5%	25.6%	28.4%
月に1～3日	293	16.7%	18.0%	17.6%
3か月に1～2日	87	5.0%	7.9%	6.5%
年に1～3日	84	4.8%	6.3%	5.8%
しなかった	285	16.3%	14.7%	14.9%
無回答	10	0.6%	2.0%	1.4%
全体	1,751	100.0%	100.0%	100.0%

&lt;過年度調査との比較&gt;



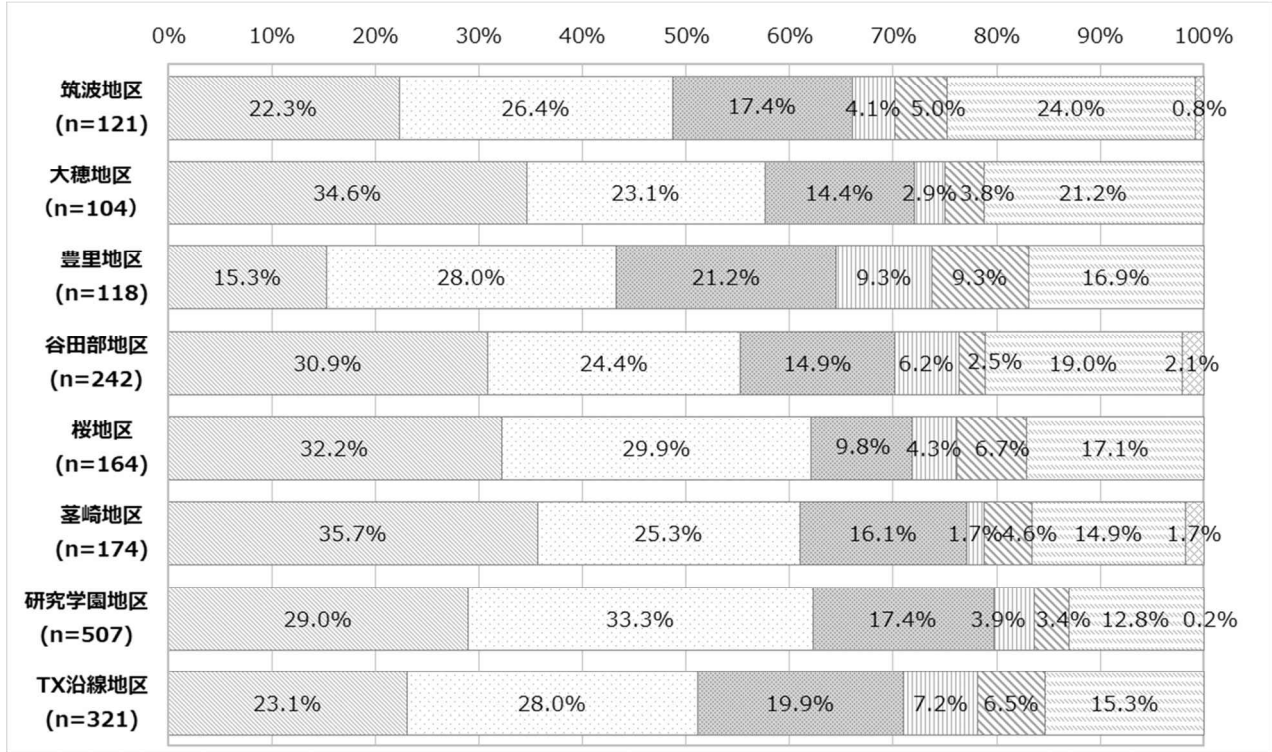
**問 29** あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含みます。 <〇は1つ>

② クロス集計



【地区別】

- ・大穂地区、谷田部地区、桜地区、茎崎地区では「週に3日以上」の割合が30%を超えている。
- ・筑波地区、大穂地区では「しなかった」の割合が20%を超えている。



【年齢別】

- ・10歳代、70歳以上では「週に3日以上」の割合が40%を超えている。



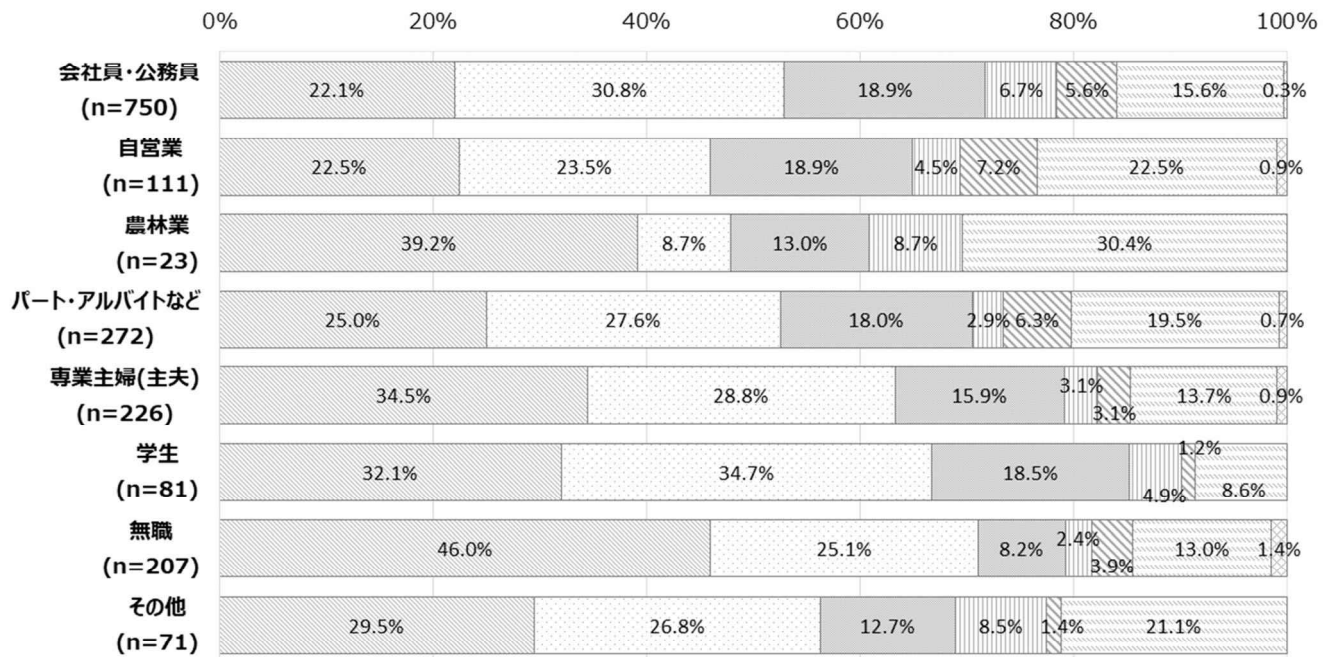
## 7 運動習慣について

週に3日以上 週に1~2日 月に1~3日 3か月に1~2日 年に1~3日 しなかった 無回答



### 【職業別】

- ・農林業、専業主婦（主夫）、学生、無職では「週に3日以上」の割合が30%を超えている。
- ・農林業では「しなかった」の割合が30%を超えている。



## 8 つくば駅周辺地区の活性化について

問30 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

&lt;○は1つ&gt;

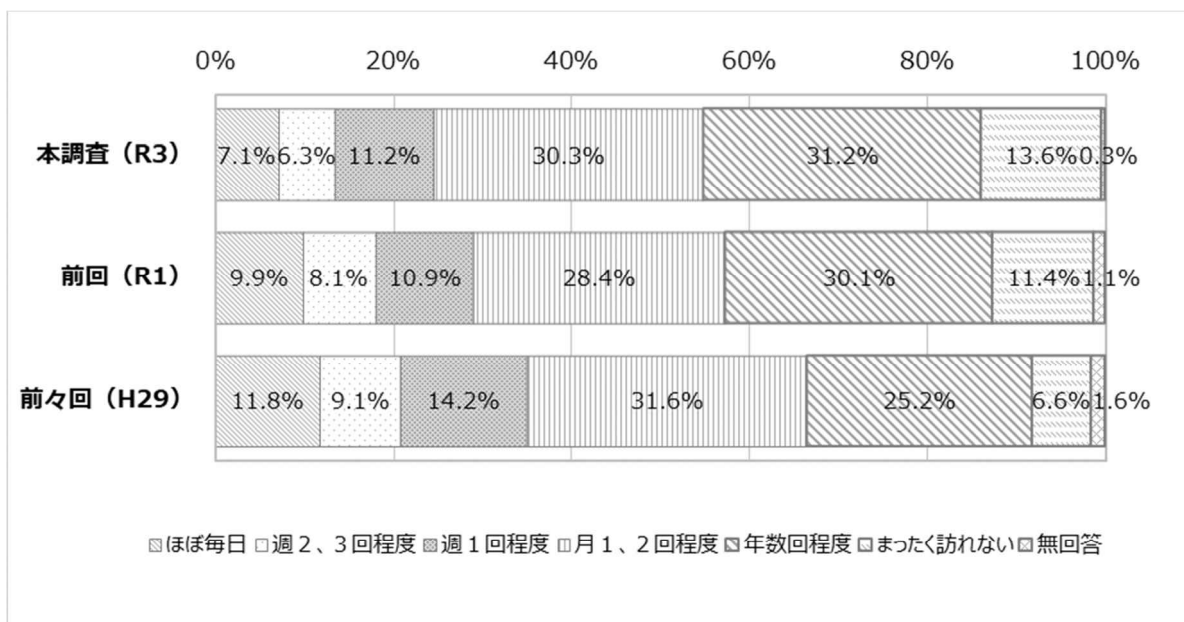
## ① 全体集計の結果

## ●つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れる頻度は、「月1、2回程度」「年数回程度」が約3割

・つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れる頻度については、「年数回程度」が545人(31.2%)で最も多く、「月1、2回程度」が531人(30.3%)、「まったく訪れない」が239人(13.6%)、「週1回程度」が196人(11.2%)が続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
ほぼ毎日	125	7.1%	9.9%	11.8%
週2、3回程度	110	6.3%	8.1%	9.1%
週1回程度	196	11.2%	10.9%	14.2%
月1、2回程度	531	30.3%	28.4%	31.6%
年数回程度	545	31.2%	30.1%	25.2%
まったく訪れない	239	13.6%	11.4%	6.6%
無回答	5	0.3%	1.1%	1.6%
全体	1,751	100.0%	100.0%	100.0%

## &lt;過年度調査との比較&gt;





## 8 つくば駅周辺地区の活性化について

問 30 あなたは、どれくらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

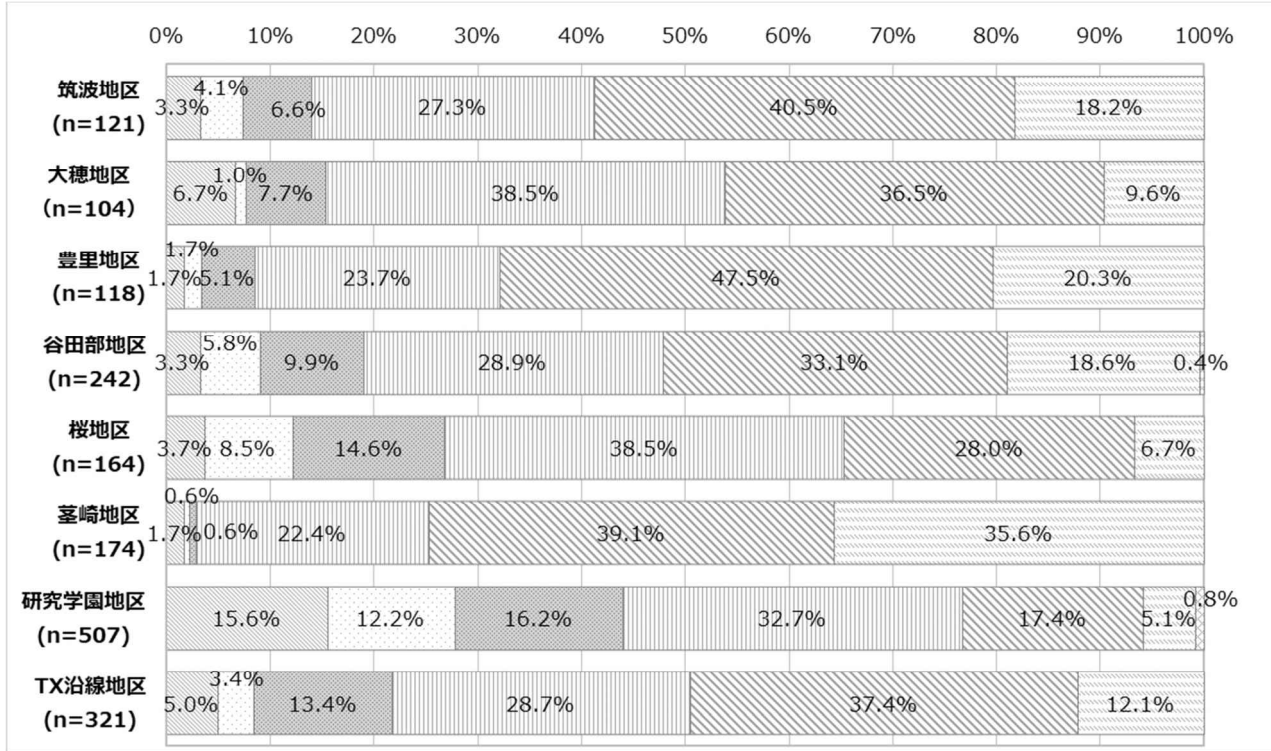
<○は1つ>

### ② クロス集計



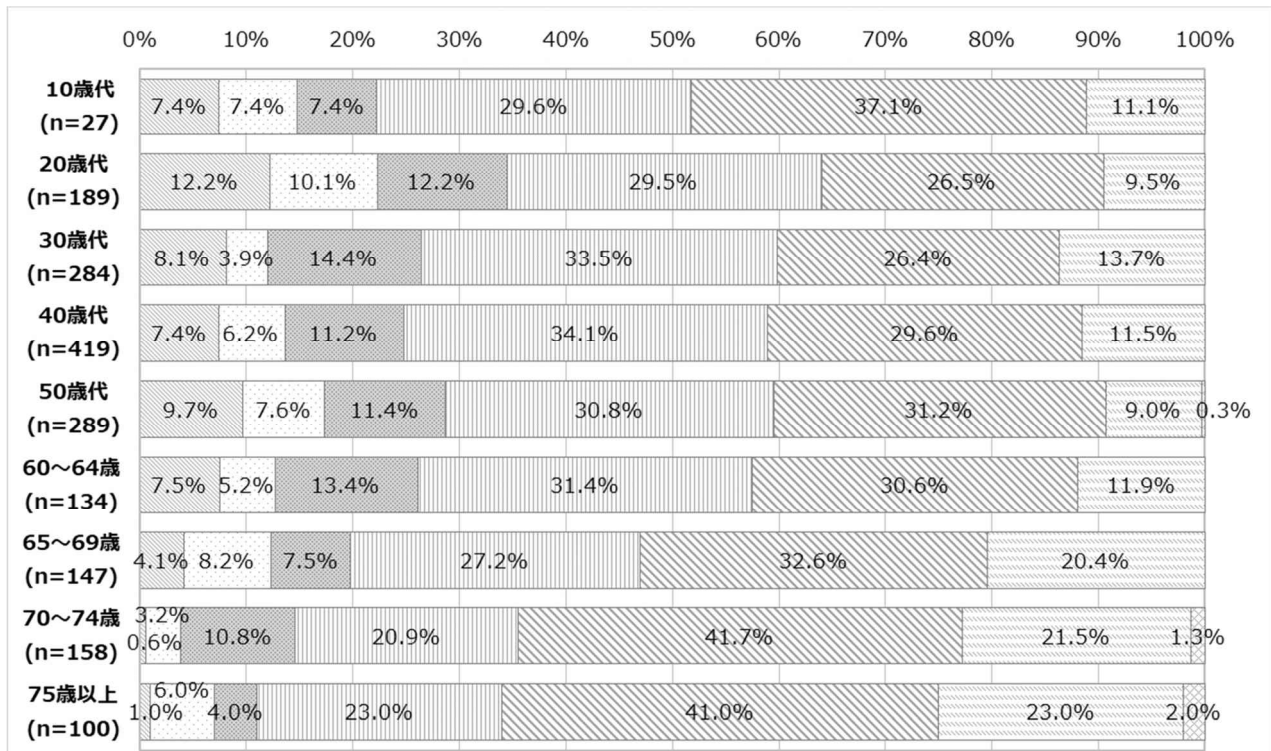
#### 【地区別】

- ・桜地区、研究学園地区では月1、2回以上訪れている割合が他の地区に比べて多く、60%を超えている。
- ・荃崎地区では「まったく訪れない」の割合が35.6%と最も多い。



#### 【年齢別】

- ・20歳代では「ほぼ毎日」の割合が10%を超えている。
- ・65歳以上では「まったく訪れない」の割合が20%を超えており、最も多い75歳以上では23.0%となっている。

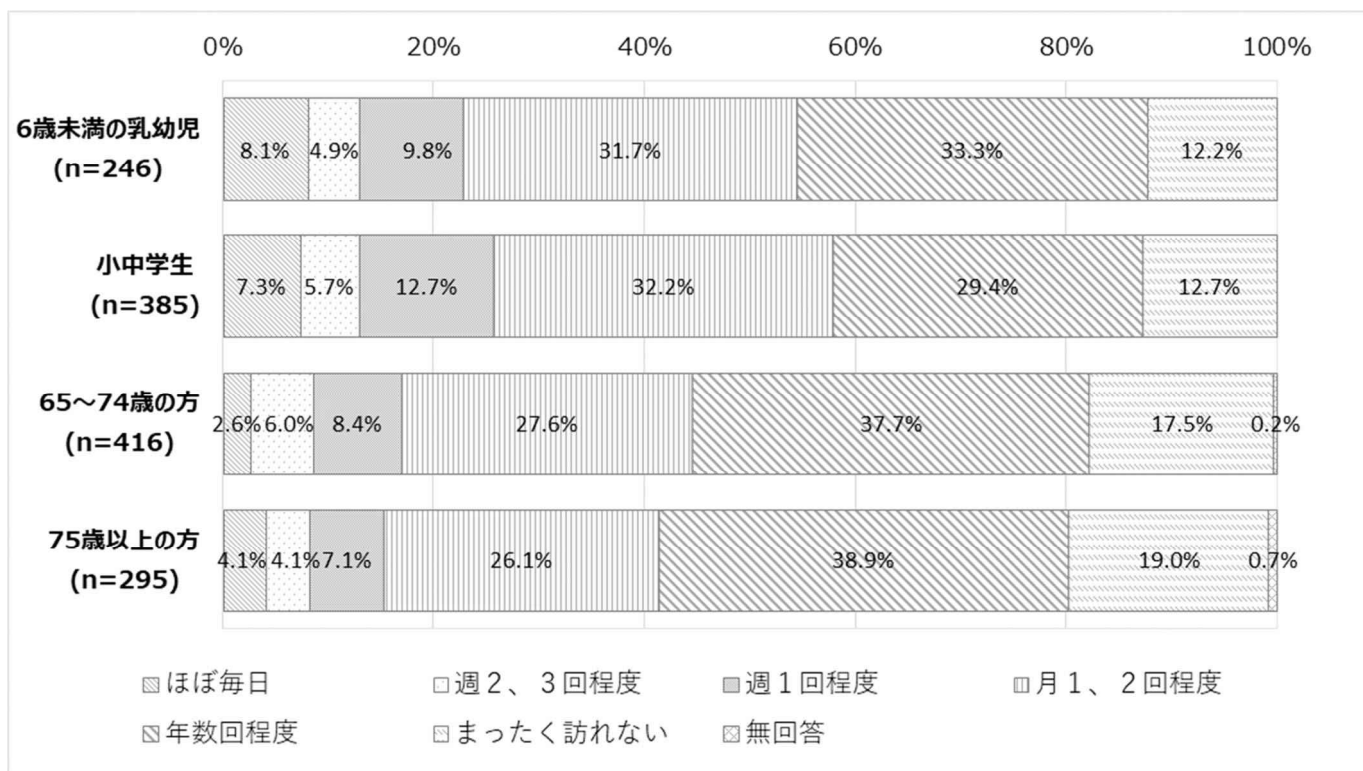






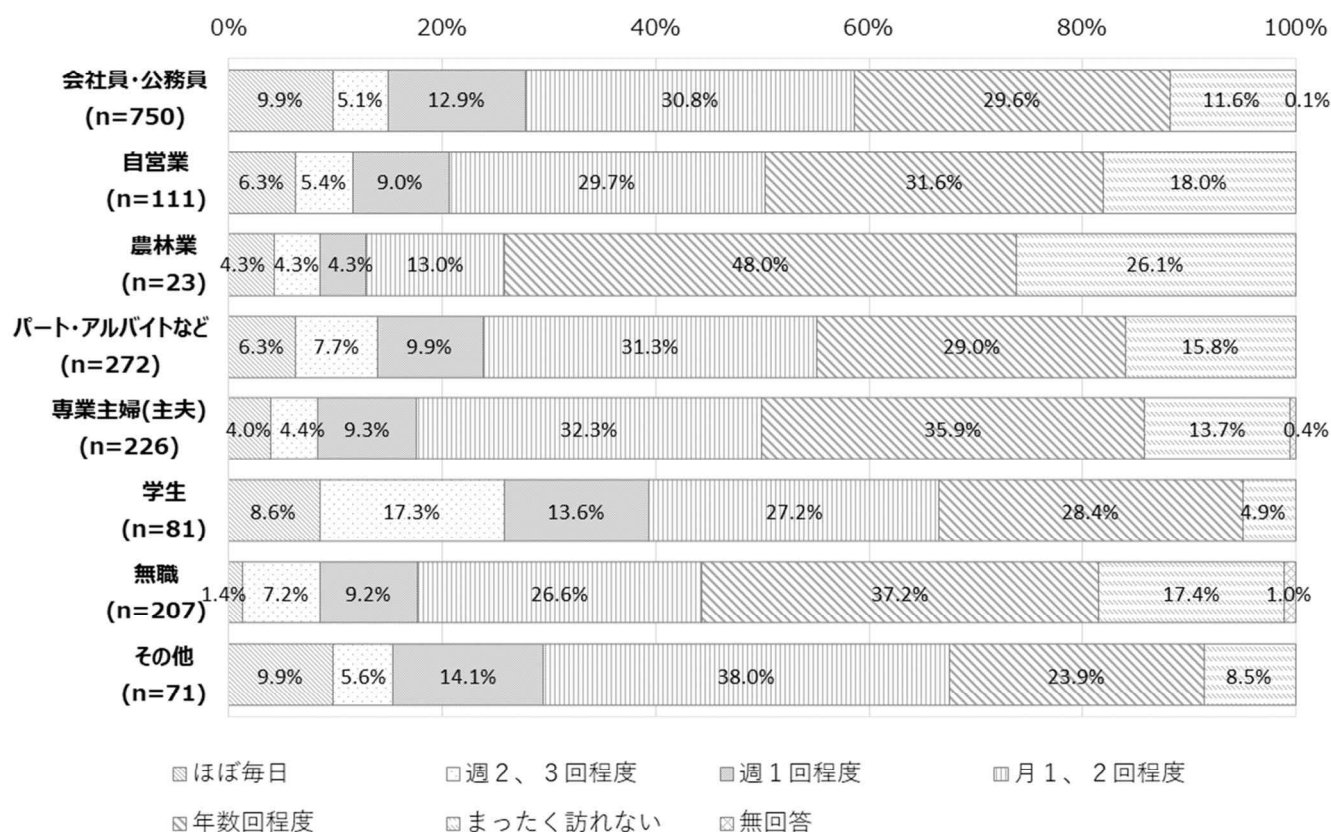
【世帯に含む人別】

- ・6歳未満の乳幼児、小中学生を含む世帯では月1、2回以上訪れている割合が50%を超えている。
- ・65～74歳の方、75歳以上の方を含む世帯では「まったく訪れない」の割合が15%を超えている。



【職業別】

- ・会社員・公務員、パート・アルバイトなど、学生、その他で月1、2回以上訪れている割合が55%を超えている。



## 8 つくば駅周辺地区の活性化について

【問 30 で 1~5 を選択した方にお聞きします】

**問 31** 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<○は1つ>

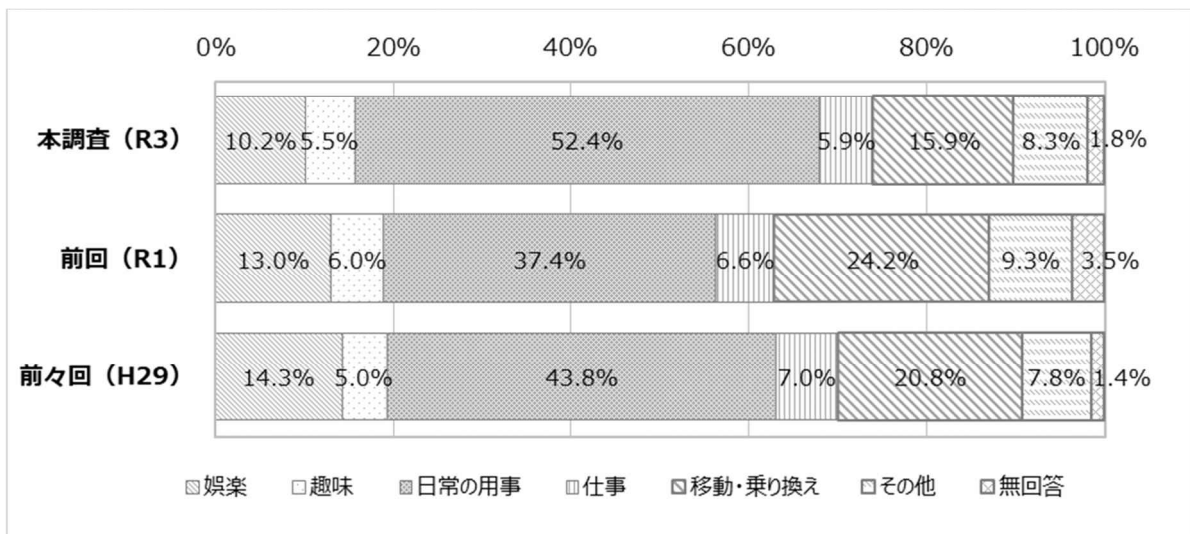
### ① 全体集計の結果

#### ●つくばセンター地区を訪れる主な目的は、「日常の用事」が約5割

・つくばセンター地区を訪れる主な目的は、「日常の用事」が790人(52.4%)で最も多く、「移動・乗り換え」が240人(15.9%)、「娯楽」が153人(10.2%)、「その他」が125人(8.3%)が続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
娯楽	153	10.2%	13.0%	14.3%
趣味	83	5.5%	6.0%	5.0%
日常の用事	790	52.4%	37.4%	43.8%
仕事	89	5.9%	6.6%	7.0%
移動・乗り換え	240	15.9%	24.2%	20.8%
その他	125	8.3%	9.3%	7.8%
無回答	27	1.8%	3.5%	1.4%
全体	1,507	100.0%	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



【問 30 で 1~5 を選択した方にお聞きします】

問 31 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<○は1つ>

② クロス集計



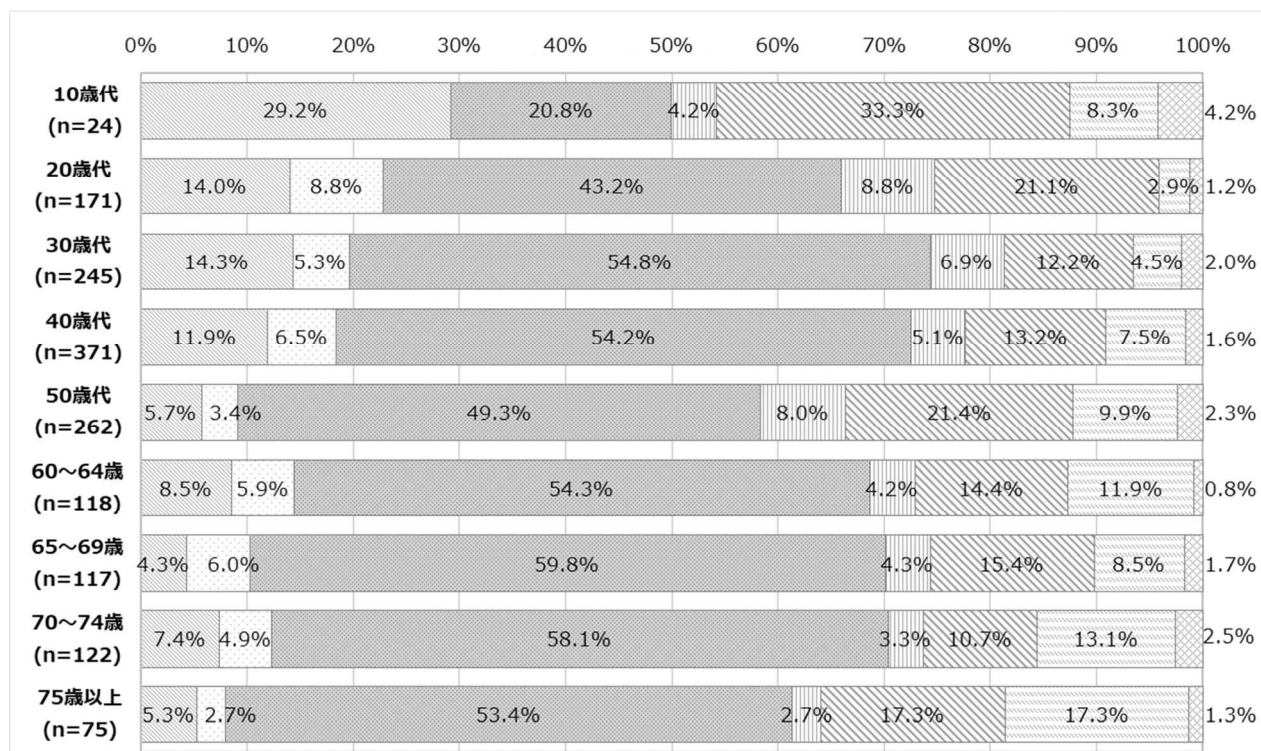
【地区別】

・全ての地区で「日常の用事」の割合が最も多くなっている。



【年齢別】

・10歳代以外の年齢では「日常の用事」が最も多くなっている。10歳代では「移動・乗り換え」の割合が最も多くなっている。

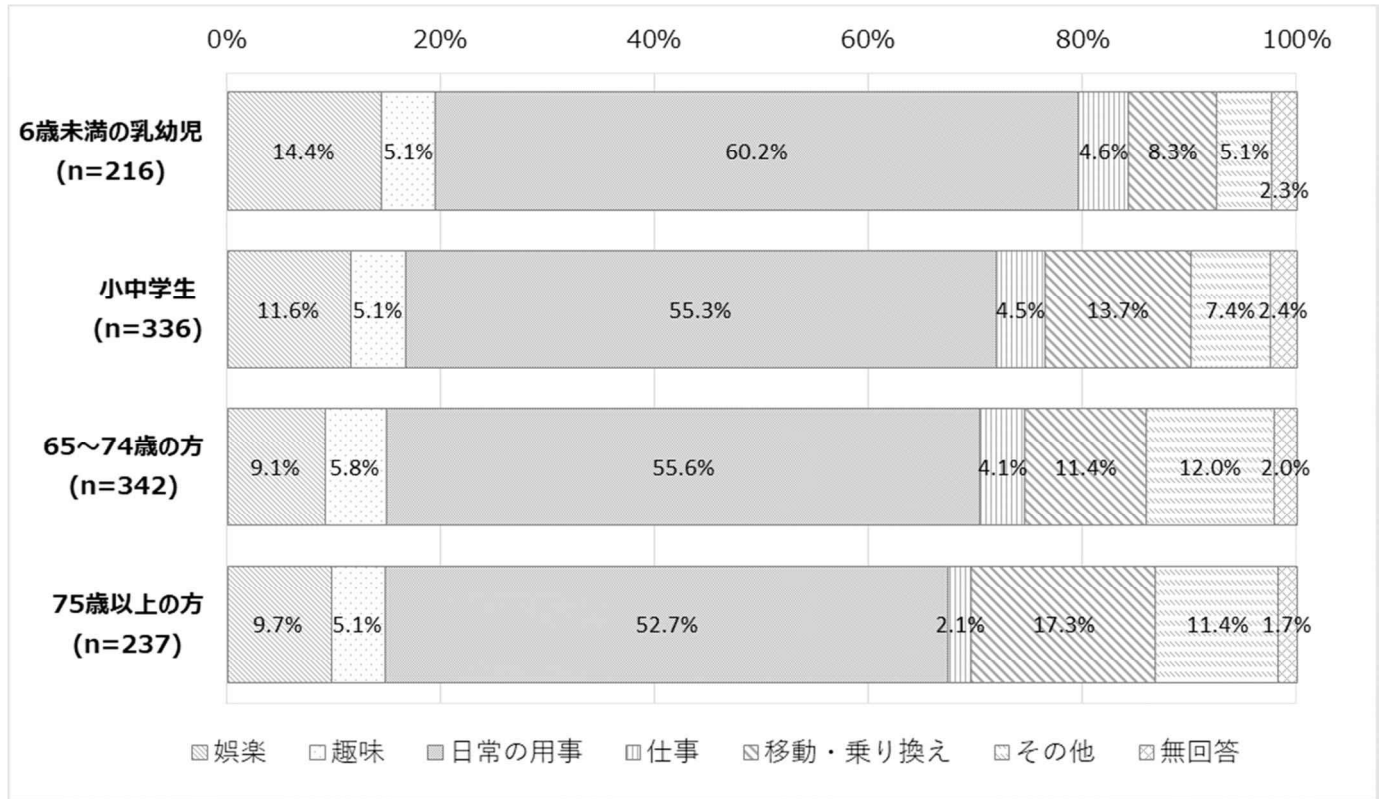


## 8 つくば駅周辺地区の活性化について



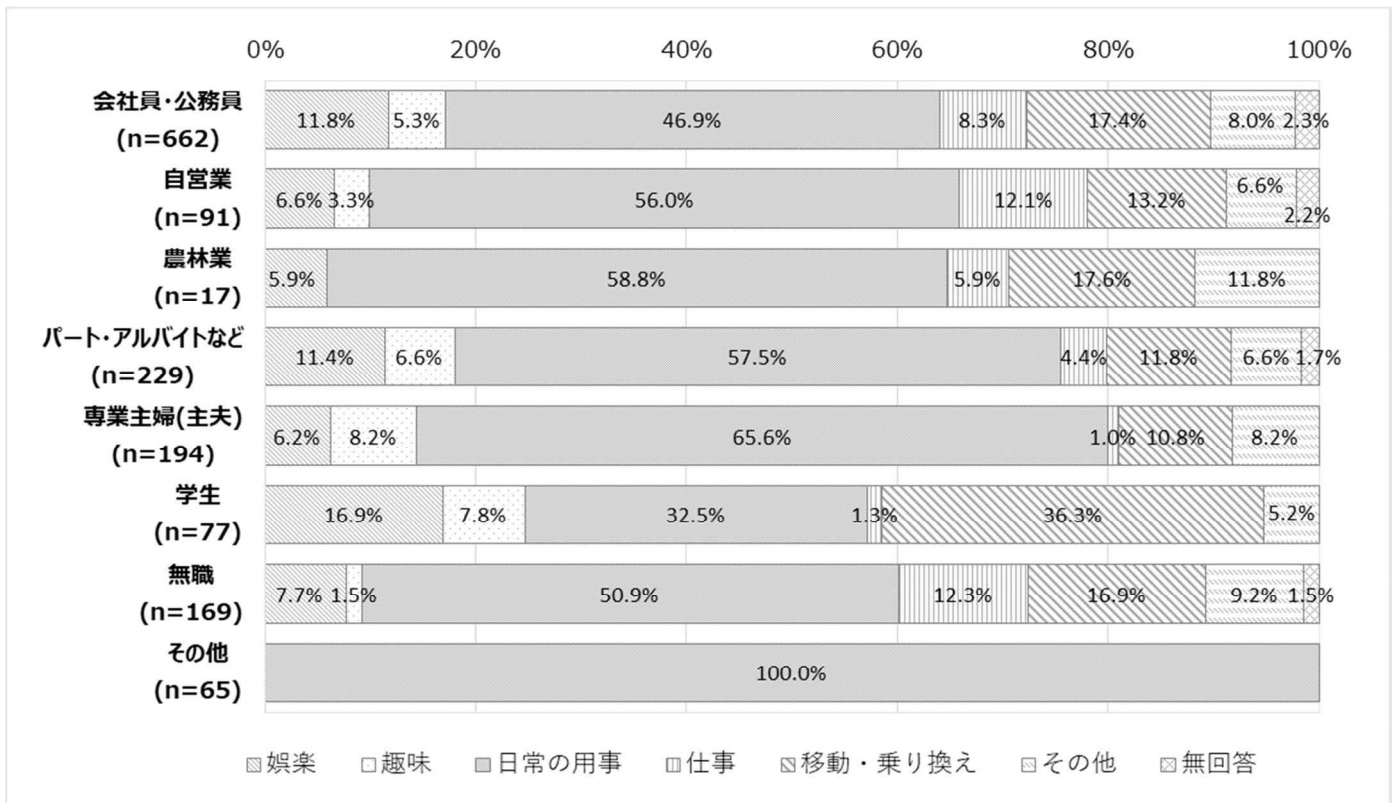
### 【世帯に含む人別】

- ・全ての世帯で「日常の用事」の割合が最も多くなっている。
- ・6歳未満の乳幼児を含む世帯では「娯楽」の割合が14.4%となっている。
- ・75歳以上の方を含む世帯では「移動・乗り換え」の割合が15%を超えている。



### 【職業別】

- ・学生以外の全ての職業では「日常の用事」の割合が最も多くなっている。
- ・学生では「移動・乗り換え」の割合が最も多く、36.3%となっている。



**問 32** あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまる番号を右の回答欄に3つまで記入してください。

① 全体集計の結果

●にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取組は、「商業施設の誘致」が約5割

- ・にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取組については、「商業施設の誘致」が937人(53.5%)で最も多く、「オープンカフェや朝市の設置」が609人(34.8%)、「駐車場の拡充」が555人(31.7%)、「公共交通でのアクセスの向上」が487人(27.8%)が続いている。

選択肢	本調査(R3)	
	回答数(人)	構成比
ペDESTリアンデッキ(歩行者・自転車専用道路)を活用した歩きやすい空間づくり	368	21.0%
商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	412	23.5%
子どもが遊べる広場の設置	424	24.2%
オープンカフェや朝市の設置	609	34.8%
路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテインメントの提供	214	12.2%
科学技術の展示	177	10.1%
商業施設の誘致	937	53.5%
駐車場の拡充	555	31.7%
公共交通でのアクセスの向上	487	27.8%
バーベキューなどが楽しめる広場	146	8.3%
その他	86	4.9%
特に必要ない(今のままで十分)	66	3.8%
無回答	33	1.9%
全体(有効回答数)	1,751	



## 8 つくば駅周辺地区の活性化について

**問 32** あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。 <○は1つ>

### ② クロス集計

#### 【地区別】

- ・全ての地区で「商業施設の誘致」の割合が最も多く、TX沿線地区が最も多い61.7%となっている。
- ・荃崎地区では「商業施設や公共施設を周遊するバスの運行」の割合が30%を超えている。
- ・「駐車場の拡充」は、豊里地区で1位、筑波地区、大穂地区、大穂地区、谷田部地区、桜地区でも上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=121)	商業施設の誘致		駐車場の拡充		オープンカフェや朝市の設置／公共交通でのアクセスの向上		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	
	60	49.6%	49	40.5%	40		33.1%		36	
大穂地区 (n=104)	商業施設の誘致		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		子どもが遊べる広場の設置	
	54	51.9%	49	47.1%	37	35.6%	28	26.9%	27	
豊里地区 (n=118)	駐車場の拡充		商業施設の誘致		公共交通でのアクセスの向上／オープンカフェや朝市の設置		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行／子どもが遊べる広場の設置	
	46	39.0%	45	38.1%	37		31.4%		29	
谷田部地区 (n=242)	商業施設の誘致		駐車場の拡充		オープンカフェや朝市の設置		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		公共交通でのアクセスの向上	
	115	47.5%	83	34.3%	80	33.1%	70	28.9%	63	
桜地区 (n=164)	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		子どもが遊べる広場の設置	
	92	56.1%	61	37.2%	54	32.9%	52	31.7%	42	
荃崎地区 (n=174)	商業施設の誘致		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		公共交通でのアクセスの向上		駐車場の拡充		子どもが遊べる広場の設置	
	68	39.1%	57	32.8%	55	31.6%	53	30.5%	36	
研究学園地区 (n=507)	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		公共交通でのアクセスの向上		ペDESTリアンデッキ(歩行者・自転車専用道路)を活用した歩きやすい空間づくり		駐車場の拡充	
	305	60.2%	205	40.4%	133	26.2%	130	25.6%	126	
TX沿線地区 (n=321)	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		子どもが遊べる広場の設置		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上	
	198	61.7%	127	39.6%	114	35.5%	95	29.6%	70	



## 【年齢別】

- ・10歳代以外の全ての年齢で「商業施設の誘致」の割合が最も多くなっている。
- ・10歳代では「公共交通でのアクセスの向上」の割合が48.1%となっている。
- ・10歳代、70歳以上では「商業施設や公共施設を周遊するバスの運行」の割合が他の年齢に比べて多くなっており、35%を超えている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位		
10歳代 (n=27)	公共交通でのアクセスの向上		商業施設の誘致		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行／オープンカフェや朝市の設置		子どもが遊べる広場の設置				
	13	48.1%	11	40.7%	10	37.0%	5	18.5%			
20歳代 (n=189)	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		公共交通でのアクセスの向上		子どもが遊べる広場の設置		駐車場の拡充		
	103	54.5%	82	43.4%	60	31.7%	54	28.6%	43	22.8%	
30歳代 (n=284)	商業施設の誘致		子どもが遊べる広場の設置		オープンカフェや朝市の設置		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		
	161	56.7%	126	44.4%	103	36.3%	96	33.8%	56	19.7%	
40歳代 (n=419)	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		子どもが遊べる広場の設置		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		
	226	53.9%	160	38	121	28.9%	111	26.5%	101	24.1%	
50歳代 (n=289)	商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		ペDESTリアンデッキ(歩行者・自転車専用道路)を活用した歩きやすい空間づくり		
	169	58.5%	101	34.9%	99	34.3%	82	28.4%	69	23.9%	
60～64歳 (n=134)	商業施設の誘致		駐車場の拡充		オープンカフェや朝市の設置		公共交通でのアクセスの向上		ペDESTリアンデッキ(歩行者・自転車専用道路)を活用した歩きやすい空間づくり		
	82	61.2%	54	40.3%	47	35.1%	38	28.4%	30	22.4%	
65～69歳 (n=147)	商業施設の誘致		駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		オープンカフェや朝市の設置		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		
	71	48.3%	53	36.1%	52	35.4%	45	30.6%	40	27.2%	
70～74歳 (n=158)	商業施設の誘致		駐車場の拡充／商業施設や公共施設を周遊するバスの運行			公共交通でのアクセスの向上		オープンカフェや朝市の設置			
	69	43.7%	60			38.0%		46	29.1%	39	24.7%
75歳以上 (n=100)	商業施設の誘致		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		公共交通でのアクセスの向上		駐車場の拡充		オープンカフェや朝市の設置		
	43	43.0%	42	42.0%	39	39.0%	33	33.0%	22	22.0%	

9 科学のまちについて

問33 あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることがありますか。 <〇は1つ>

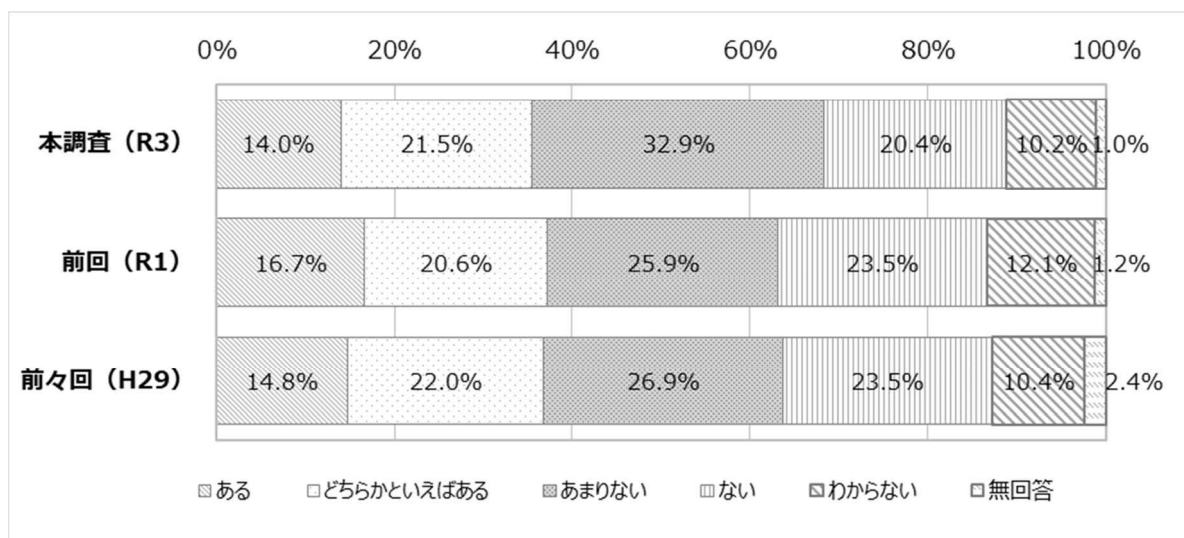
① 全体集計の結果

●つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じたことは、「あまりない/ない」が約5割

・「科学のまち」の恩恵を感じるかについては、「あまりない」が575人(32.9%)で最も多く、「どちらかといえばある」が377人(21.5%)、「ない」が357人(20.4%)、「ある」が246人(14.0%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
ある	246	14.0%	16.7%	14.8%
どちらかといえばある	377	21.5%	20.6%	22.0%
あまりない	575	32.9%	25.9%	26.9%
ない	357	20.4%	23.5%	23.5%
わからない	179	10.2%	12.1%	10.4%
無回答	17	1.0%	1.2%	2.4%
全体	1,751	100.0%	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>



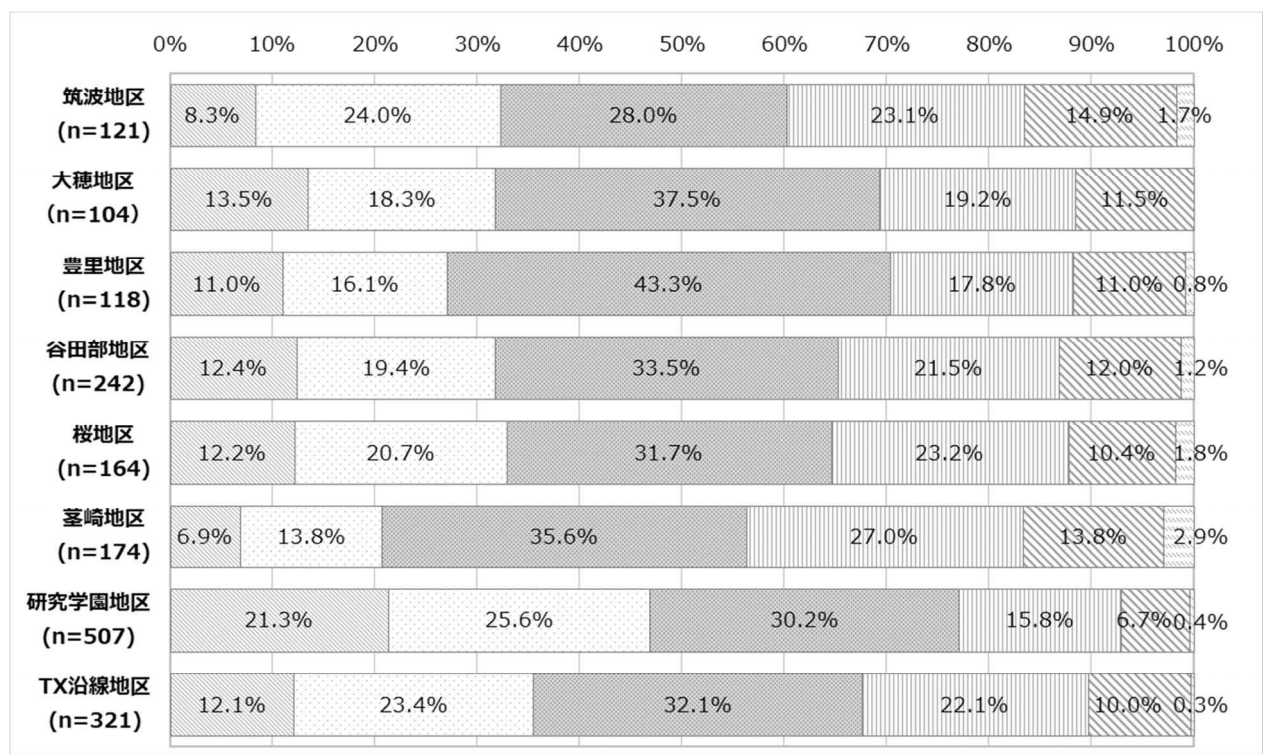
**問 33** あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じるがありますか。 <〇は1つ>

② クロス集計



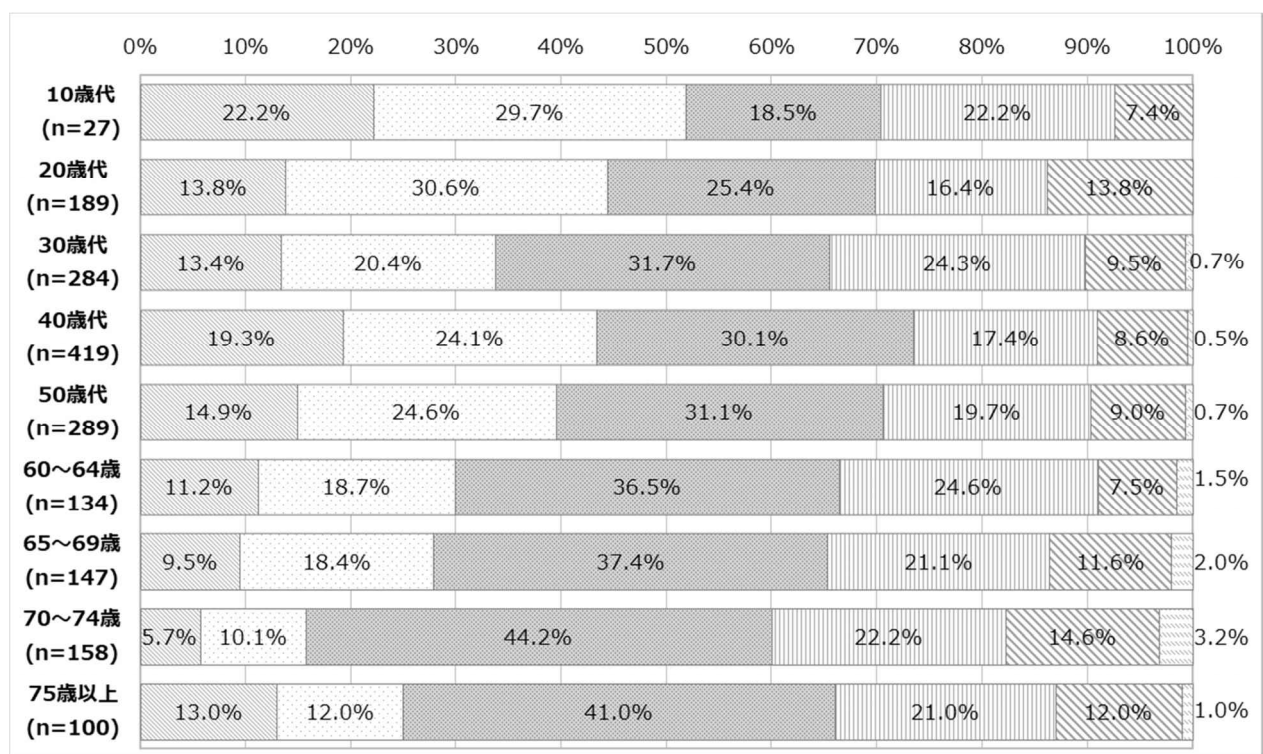
【地区別】

- ・ 研究学園地区以外の全ての地区で「あまりない/ない」の割合が50%を超えている。
- ・ 研究学園地区では「ある/どちらかといえばある」の割合が46.9%となっている。



【年齢別】

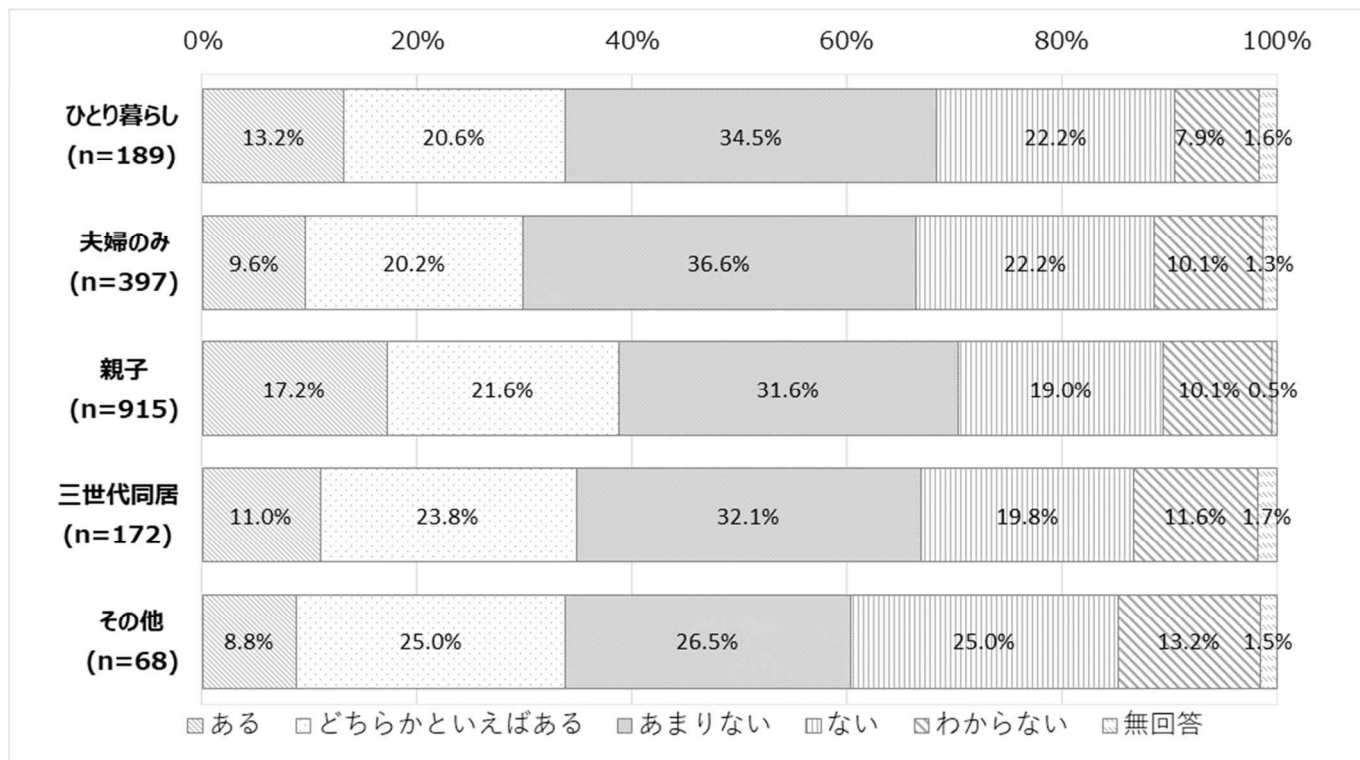
- ・ 70歳以上では「あまりない/ない」の割合が60%を超えており、10歳代、20歳代、40歳代では「ある/どちらかといえばある」の割合が40%を超えている。



## 9 科学のまちについて

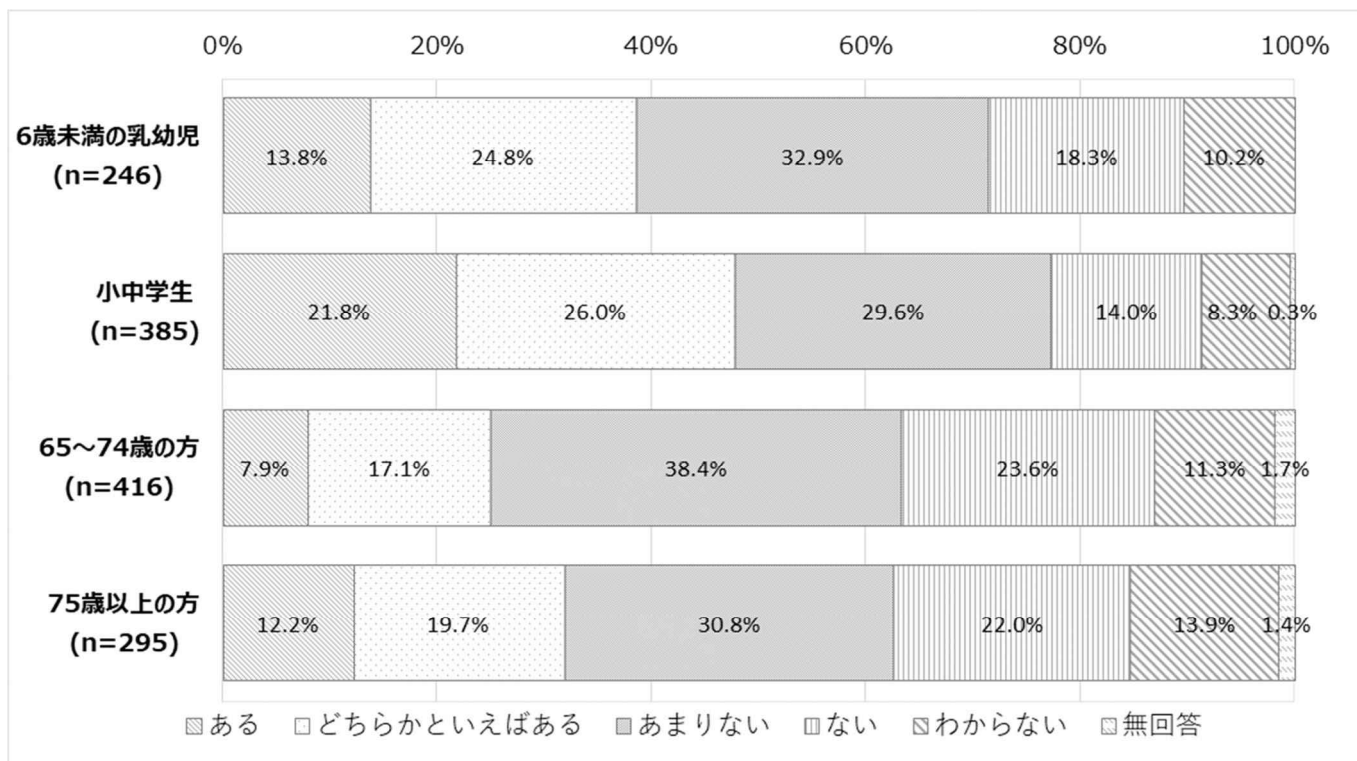
### 【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「あまりない/ない」の割合が最も多くなっている。



### 【世帯に含む人別】

- ・小中学生を含む世帯では「ある/どちらかといえばある」の割合が最も多く、45%を超えている。
- ・小中学生を含む世帯以外の世帯では「あまりない/ない」の割合が最も多く、50%を超えている。



**問 34** あなたは、つくば市は科学のまちならではの先進的な製品・サービスが、いち早く暮らしの中に活かされていると思いますか。 <〇は1つ>

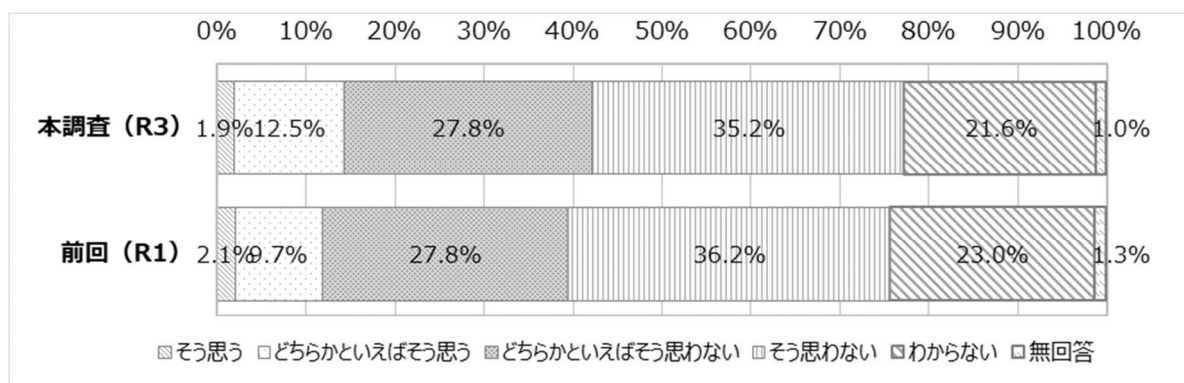
① 全体集計の結果

●先進的な製品・サービスが暮らしの中に活かされていると思うかについては、「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」が約6割

- ・先進的な製品・サービスが暮らしの中に活かされていると思うかについては、「そう思わない」が615人(35.2%)で最も多く、「どちらかといえばそう思わない」が486人(27.8%)、「わからない」が379人(21.6%)、「どちらかといえばそう思う」が219人(12.5%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)
	回答数(人)	構成比	構成比
そう思う	34	1.9%	2.1%
どちらかといえばそう思う	219	12.5%	9.7%
どちらかといえばそう思わない	486	27.8%	27.8%
そう思わない	615	35.2%	36.2%
わからない	379	21.6%	23.0%
無回答	18	1.0%	1.3%
全体	1,751	100.0%	100.0%

<過年度調査との比較>

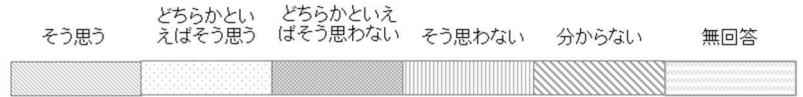




## 9 科学のまちについて

**問 34** あなたは、つくば市は科学のまちならではの先進的な製品・サービスが、いち早く暮らしの中に活かされていると思いますか。 <○は1つ>

### ② クロス集計



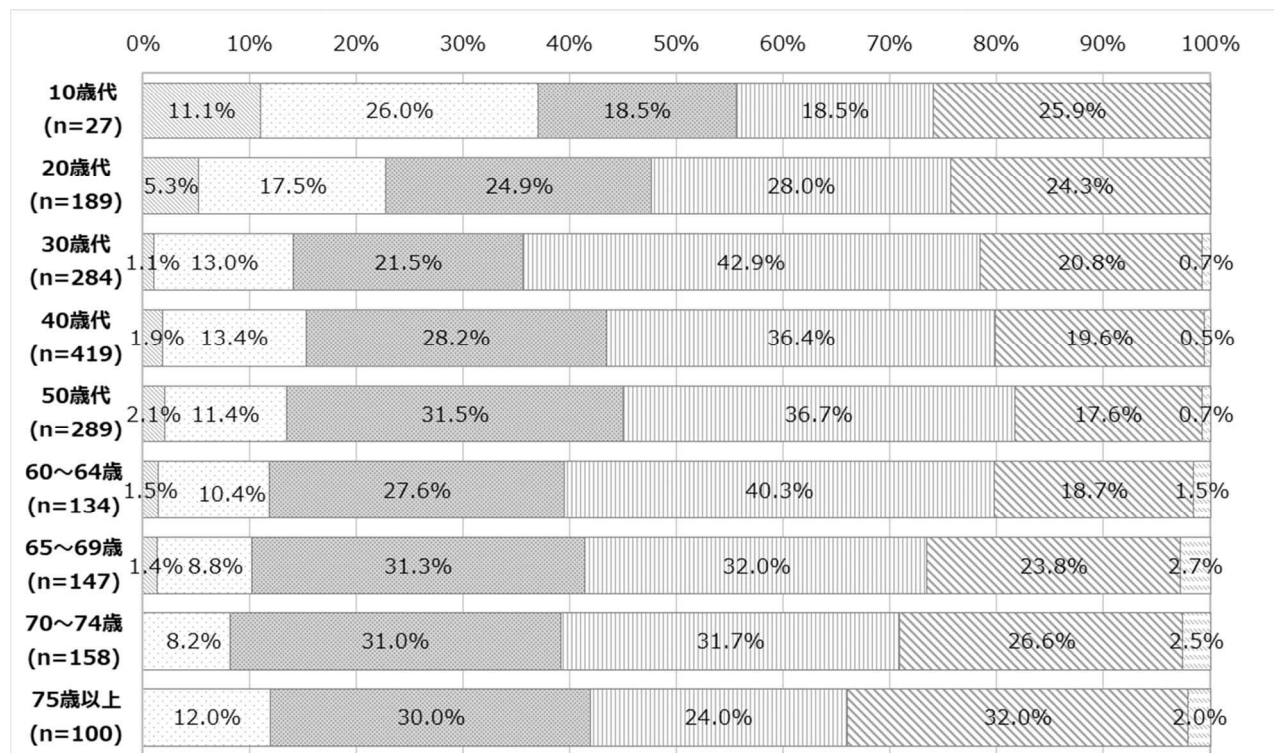
#### 【地区別】

・全ての地区で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が50%を超えている。



#### 【年齢別】

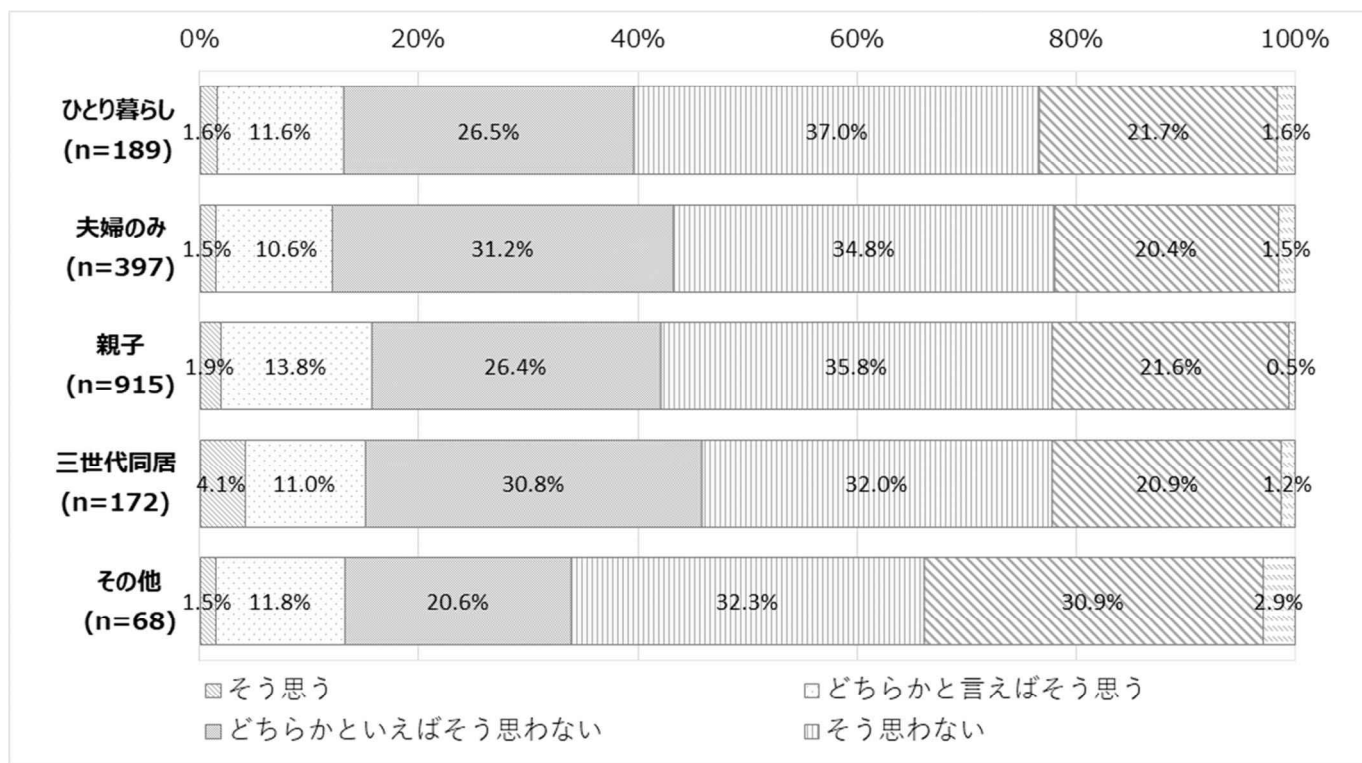
・10歳代以外の全ての年齢で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が50%を超えている。  
 ・10歳代では「そう思う/どちらかといえばそう思う」の割合が30%を超えている。





【世帯構成別】

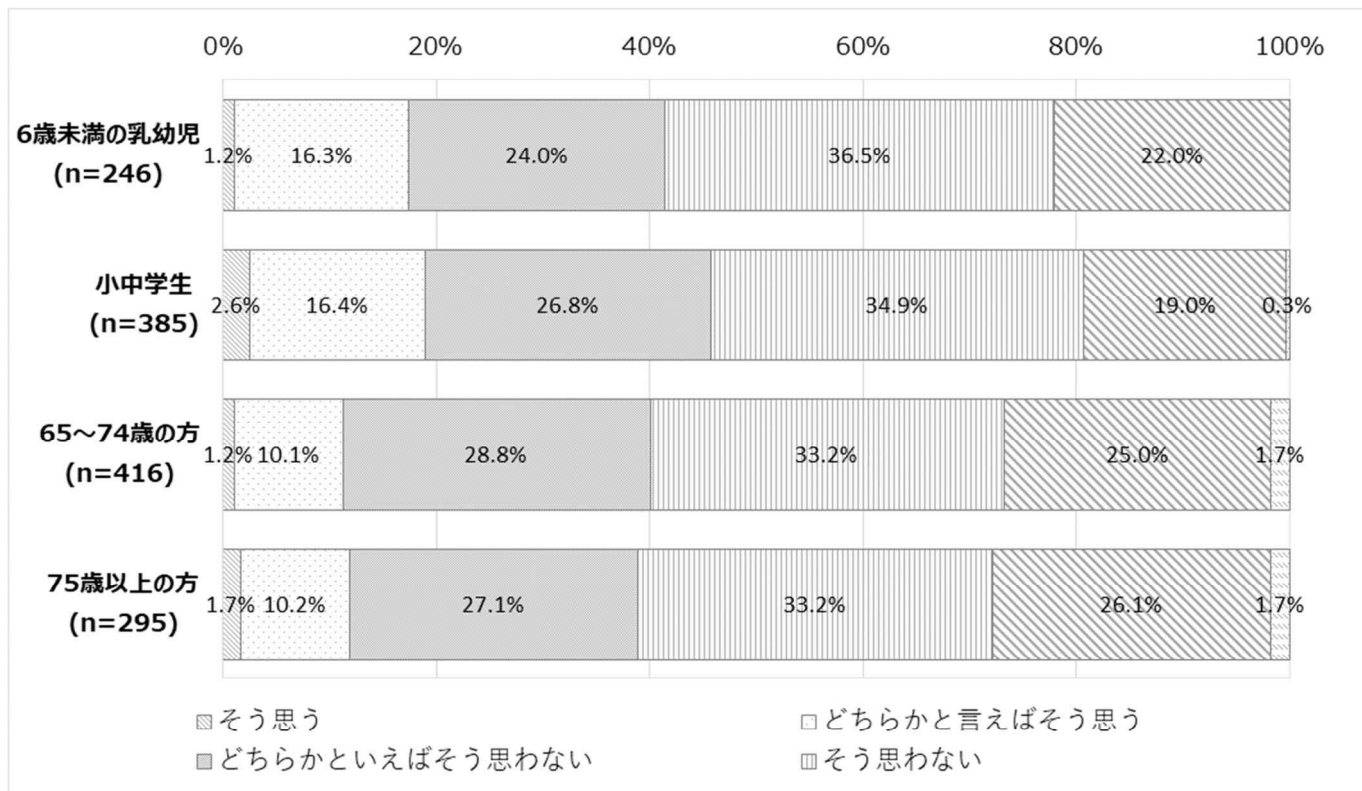
・全ての世帯構成で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が50%を超えている。



【世帯に含む人別】

・全ての世帯で「どちらかといえばそう思わない/そう思わない」の割合が50%を超えている。

・6歳未満の乳幼児、小中学生を含む世帯では「そう思う/どちらかといえばそう思わない」の割合が15%を超えている。



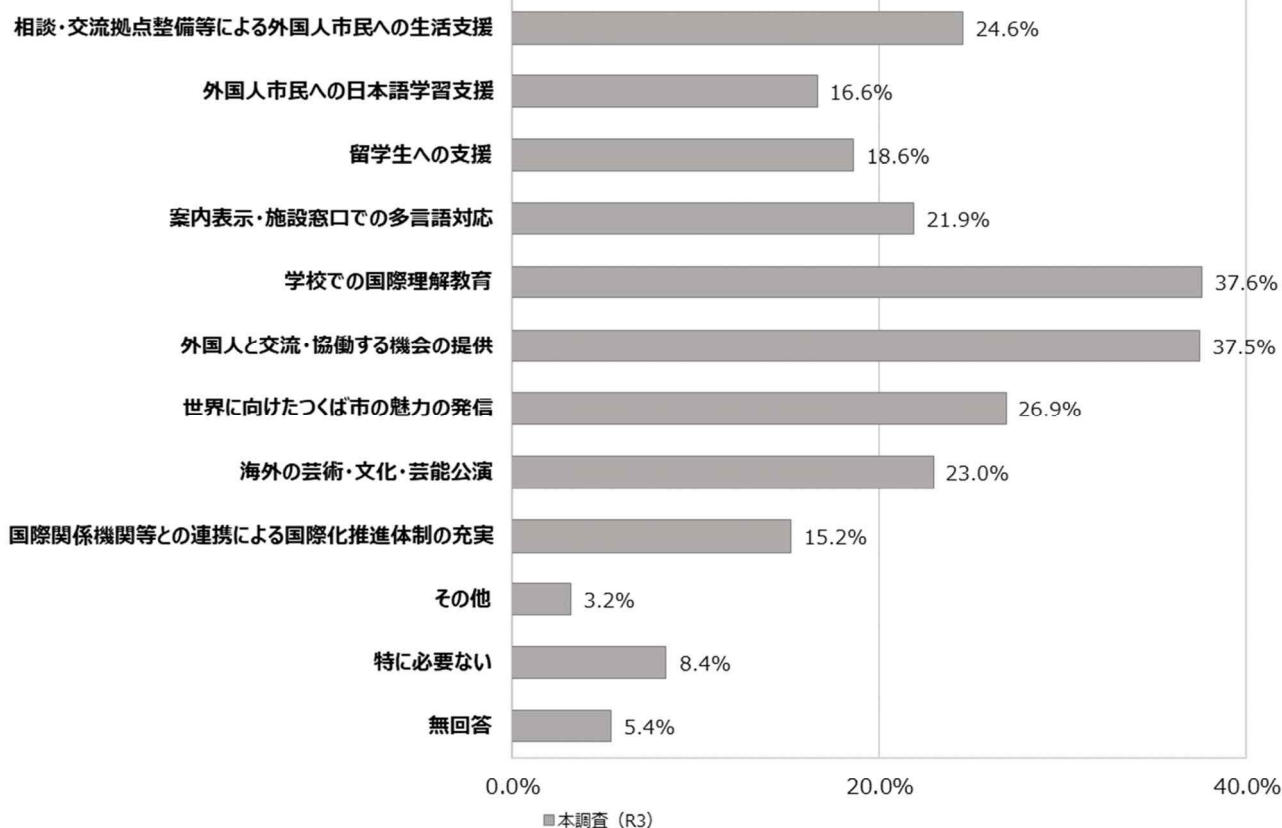
**問 35** あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。  
当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入して下さい。

## ① 全体集計の結果

## ●国際都市として取り組むべきことは、「学校での国際理解教育」が約3割半ば

・つくば市が国際都市として取り組むべきことについては、「学校での国際教育」が658人(37.6%)で最も多く、「外国人と交流する機会の提供」が656人(37.5%)、「世界に向けたつくば市の魅力の発信」が471人(26.9%)、「相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援」が430人(24.6%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)	
	回答数(人)	構成比
1 相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援	430	24.6%
2 外国人市民への日本語学習支援	291	16.6%
3 留学生への支援	326	18.6%
4 案内表示・施設窓口での多言語対応	383	21.9%
5 学校での国際理解教育	658	37.6%
6 外国人と交流・協働する機会の提供	656	37.5%
7 世界に向けたつくば市の魅力の発信	471	26.9%
8 海外の芸術・文化・芸能公演	402	23.0%
9 国際関係機関等との連携による国際化推進体制の充実	266	15.2%
10 その他	56	3.2%
11 特に必要ない	147	8.4%
無回答	94	5.4%
全体(有効回答数)	1,751	



**問 35** あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。  
 当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入して下さい。

② クロス集計

【地区別】

・筑波地区、大穂地区、豊里地区、荃崎地区で「学校での国際理解教育」、その他の地区では「外国人と交流・協働する機会の提供」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=121)	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		外国人と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	52	43.0%	44	36.4%	40	33.1%	39	32.2%	25	20.7%
大穂地区 (n=104)	学校での国際理解教育		外国人と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信		海外の芸術・文化・芸能公演		国際関係機関等との連携による国際化推進体制の充実	
	47	45.2%	41	39.4%	35	33.7%	25	24.0%	24	23.1%
豊里地区 (n=118)	学校での国際理解教育		外国人と交流・協働する機会の提供		案内表示・施設窓口での多言語対応		世界に向けたつくば市の魅力の発信		外国人市民への日本語学習支援	
	45	38.1%	44	37.3%	31	26.3%	29	24.6%	25	21.2%
谷田部地区 (n=242)	外国人と交流・協働する機会の提供		学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	76	31.4%	72	29.8%	71	29.3%	66	27.3%	57	23.6%
桜地区 (n=164)	外国人と交流・協働する機会の提供		学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		海外の芸術・文化・芸能公演		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援	
	64	39.0%	62	37.8%	51	31.1%	42	25.6%	40	24.4%
荃崎地区 (n=174)	学校での国際理解教育		外国人と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		海外の芸術・文化・芸能公演	
	61	35.1%	49	28.2%	48	27.6%	35	20.1%	30	17.2%
研究学園地区 (n=507)	外国人と交流・協働する機会の提供		学校での国際理解教育		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		海外の芸術・文化・芸能公演		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	205	40.4%	186	36.7%	139	27.4%	132	26.0%	119	23.5%
TX沿線地区 (n=321)	外国人と交流・協働する機会の提供		学校での国際理解教育		海外の芸術・文化・芸能公演		世界に向けたつくば市の魅力の発信		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	137	42.7%	133	41.4%	84	26.2%	75	23.4%	73	22.7%

【年齢別】

・10歳から40歳代では「学校での国際理解教育」が最も多くなっている。30歳代、50歳から60歳代では「外国人と交流・協働する機会の提供」、70歳以上では「世界に向けたつくば市の魅力の発信」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=27)	学校での国際理解教育		外国人市民への日本語学習支援		留学生への支援／外国人と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援 ／案内表示・施設窓口での多言語対応		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	14	51.9%	9	33.3%	8	29.6%	7	25.9%	7	25.9%
20歳代 (n=189)	学校での国際理解教育		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		外国人と交流・協働する機会の提供		留学生への支援		世界に向けたつくば市の魅力の発信	
	70	37.0%	60	31.7%	59	31.2%	54	28.6%	53	28.0%
30歳代 (n=284)	学校での国際理解教育／外国人と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信		案内表示・施設窓口での多言語対応		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援 ／海外の芸術・文化・芸能公演		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	120	42.3%	69	24.3%	67	23.6%	67	23.6%	67	23.6%
40歳代 (n=419)	学校での国際理解教育		外国人と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		世界に向けたつくば市の魅力の発信		海外の芸術・文化・芸能公演	
	197	47.0%	176	42.0%	107	25.5%	101	24.1%	98	23.4%
50歳代 (n=289)	外国人と交流・協働する機会の提供		学校での国際理解教育		海外の芸術・文化・芸能公演		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	120	41.5%	98	33.9%	71	24.6%	69	23.9%	61	21.1%
60～64歳 (n=134)	外国人と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		学校での国際理解教育／世界に向けたつくば市の魅力の発信		案内表示・施設窓口での多言語対応		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	52	38.8%	40	29.9%	37	27.6%	33	24.6%	33	24.6%
65～69歳 (n=147)	外国人と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		案内表示・施設窓口での多言語対応		海外の芸術・文化・芸能公演	
	53	36.1%	48	32.7%	44	29.9%	35	23.8%	32	21.8%
70～74歳 (n=158)	世界に向けたつくば市の魅力の発信		外国人と交流・協働する機会の提供		学校での国際理解教育		国際関係機関等との連携による国際化推進体制の充実		海外の芸術・文化・芸能公演	
	59	37.3%	47	29.7%	45	28.5%	41	25.9%	40	25.3%
75歳以上 (n=100)	世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		案内表示・施設窓口での多言語対応		外国人と交流・協働する機会の提供／外国人市民への日本語学習支援		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	41	41.0%	33	33.0%	23	23.0%	21	21.0%	21	21.0%

【世帯に含む人別】

- ・65～74歳の方を含む世帯以外の世帯で「学校での国際理解教育」が最も多くなっている。
- ・65～74歳の方を含む世帯では「外国人と交流・協働する機会の提供」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児 (n=246)	学校での国際理解教育		外国人と交流・協働する機会の提供		案内表示・施設窓口での多言語対応		世界に向けたつくば市の魅力の発信		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援	
	127	51.6%	122	49.6%	63	25.6%	58	23.6%	56	22.8%
小中学生 (n=385)	学校での国際理解教育		外国人と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		海外の芸術・文化・芸能公演	
	212	55.1%	165	42.9%	93	24.2%	89	23.1%	77	20.0%
65～74歳の方 (n=416)	外国人と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	137	32.9%	135	32.5%	128	30.8%	93	22.4%	90	21.6%
75歳以上の方 (n=295)	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		外国人と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	94	31.9%	92	31.2%	86	29.2%	67	22.7%	66	22.4%

【職業別】

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=750)	外国人と交流・協働する機会の提供		学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		海外の芸術・文化・芸能公演		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援	
	321	42.8%	292	38.9%	195	26.0%	182	24.3%	180	24.0%
自営業 (n=111)	学校での国際理解教育		世界に向けたつくば市の魅力の発信		外国人と交流・協働する機会の提供		留学生への支援		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	44	39.6%	32	28.8%	31	27.9%	28	25.2%	24	21.6%
農林業 (n=23)	世界に向けたつくば市の魅力の発信		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援／留学生への支援／外国人と交流・協働する機会の提供		外国人市民への日本語学習支援／学校での国際理解教育／海外の芸術・文化・芸能公演					
	6	26.1%			5	21.7%			4	17.4%
パート・アルバイトなど (n=272)	学校での国際理解教育		外国人と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備による外国人市民への生活支援		海外の芸術・文化・芸能公演		世界に向けたつくば市の魅力の発信	
	114	41.9%	101	37.1%	72	26.5%	66	24.3%	63	23.2%
専業主婦(主夫) (n=226)	学校での国際理解教育		外国人と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援		案内表示・施設窓口での多言語対応		世界に向けたつくば市の魅力の発信	
	89	39.4%	77	34.1%	65	28.8%	60	26.5%	59	26.1%
学生 (n=81)	相談・交流拠点整備による外国人市民への生活支援		学校での国際理解教育		留学生への支援		外国人と交流・協働する機会の提供		世界に向けたつくば市の魅力の発信	
	33	40.7%	31	38.3%	30	37.0%	24	29.6%	22	27.2%
無職 (n=207)	世界に向けたつくば市の魅力の発信		学校での国際理解教育		外国人と交流・協働する機会の提供		案内表示・施設窓口での多言語対応		外国人市民への日本語学習支援	
	81	39.1%	62	30.0%	59	28.5%	44	21.3%	39	18.8%
その他 (n=71)	外国人と交流・協働する機会の提供		相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援／海外の芸術・文化・芸能公演				学校での国際理解教育		案内表示・施設窓口での多言語対応	
	37	52.1%			22	31.0%	21	29.6%	15	21.1%

## 11 SDGs（持続可能な開発目標）について

問36 あなたのSDGsに関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。

<〇は1つ>

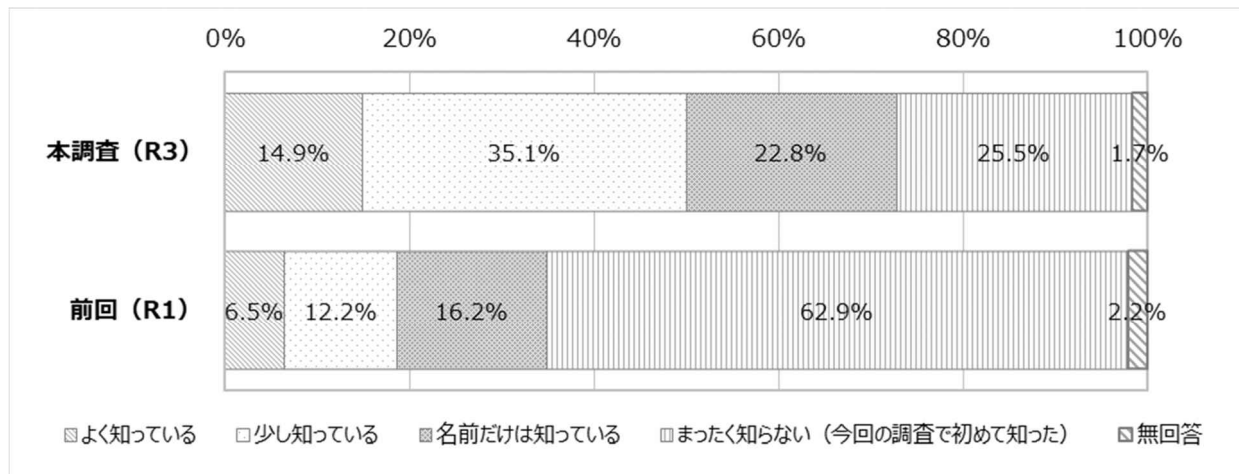
## ① 全体集計の結果

## ●SDGsに関する認知度は、「少し知っている」が3割半ば

- ・SDGsに関する認知度については、「少し知っている」が615人(35.1%)で最も多く、「まったく知らない(今回の調査で初めて知った)」が447人(25.5%)、「名前だけは知っている」が399人(22.8%)、「よく知っている」が261人(14.9%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)
	回答数(人)	構成比	構成比
よく知っている	261	14.9%	6.5%
少し知っている	615	35.1%	12.2%
名前だけは知っている	399	22.8%	16.2%
まったく知らない(今回の調査で初めて知った)	447	25.5%	62.9%
無回答	29	1.7%	2.2%
全体	1,751	100.0%	100.0%

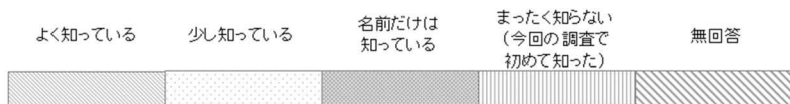
<過年度調査との比較>





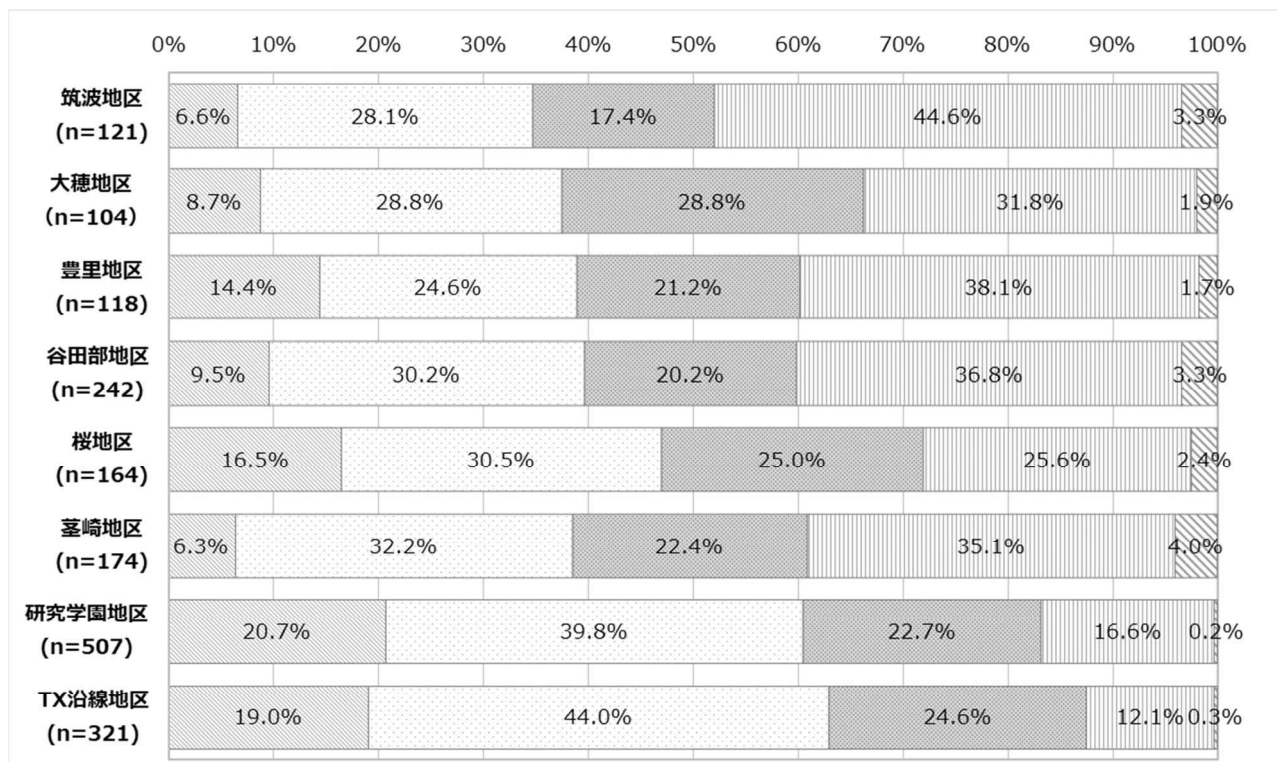
**問 36** あなたのSDGsに関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。  
 <〇は1つ>

② クロス集計



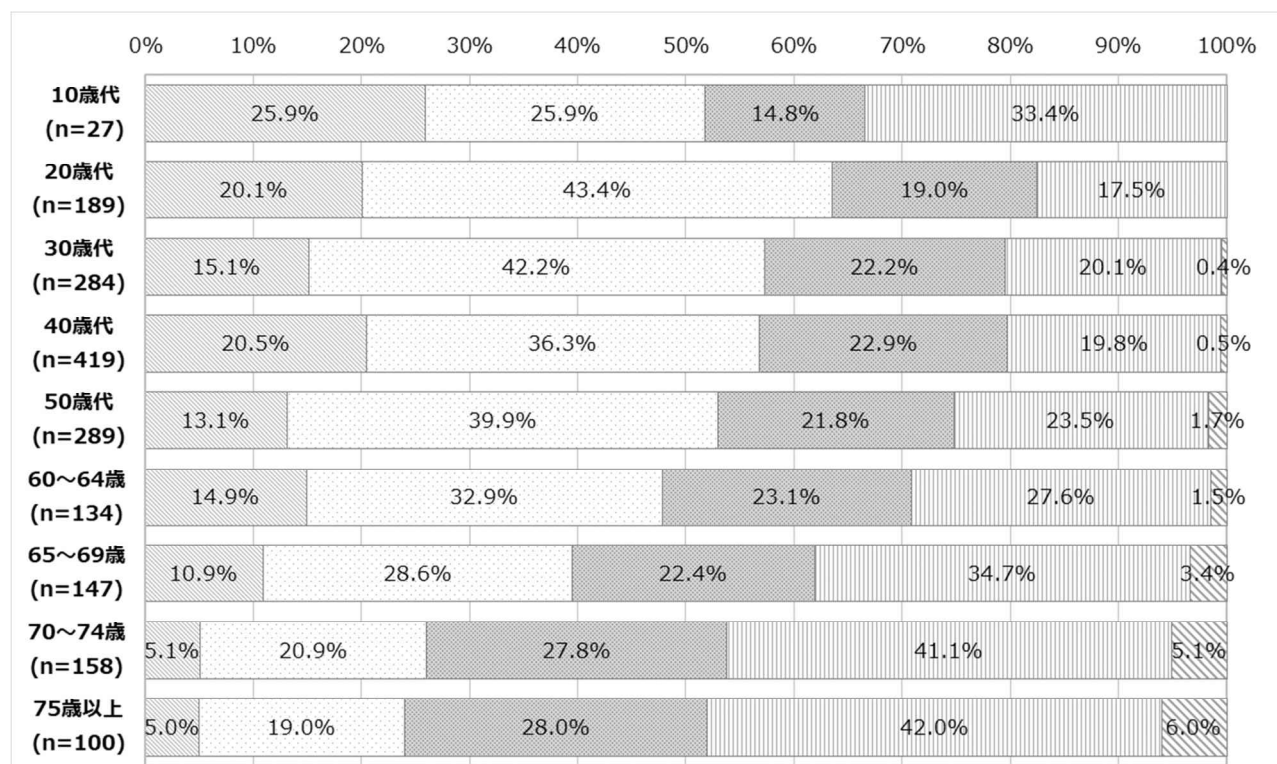
【地区別】

- ・桜地区、研究学園地区、TX沿線地区では「少し知っている」の割合が最も多く、30%を超えている。
- ・桜地区、研究学園地区、TX沿線地区以外の地区では「まったく知らない(今回の調査で初めて知った)」の割合が最も多くなっている。



【年齢別】

- ・10歳代から50歳代では「よく知っている」「少し知っている」の割合が50%を超えている。
- ・70歳以上では「まったく知らない(今回の調査で初めて知った)」の割合が40%を超えている。





**問 37** SDGsや持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の回答欄に3つまで記入してください。

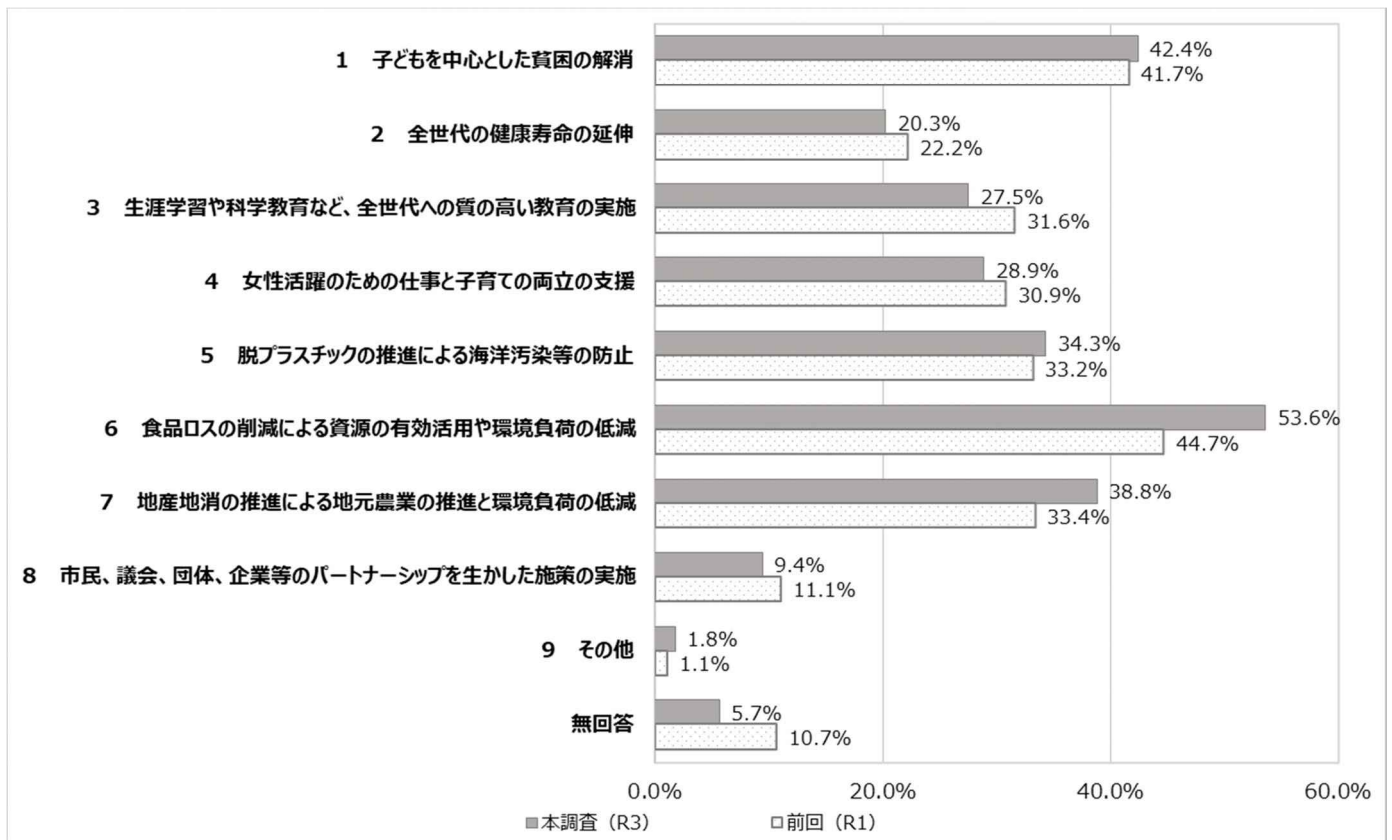
① 全体集計の結果

●SDGsや持続可能都市に関することで関心が高いものは、「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減」が約5割

- SDGsや持続可能都市に関することで、関心が高いものは、「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減」が939人(53.6%)で最も多く、「子どもを中心とした貧困の解消」が743人(42.4%)、「子どもを中心とした貧困の解消」が743人(42.4%)、「地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減」が680人(38.8%)、「脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止」が601人(34.3%)で続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)
	回答数(人)	構成比	構成比
1 子どもを中心とした貧困の解消	743	42.4%	41.7%
2 全世代の健康寿命の延伸	355	20.3%	22.2%
3 生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施	482	27.5%	31.6%
4 女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援	506	28.9%	30.9%
5 脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止	601	34.3%	33.2%
6 食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減	939	53.6%	44.7%
7 地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減	680	38.8%	33.4%
8 市民、議会、団体、企業等のパートナーシップを生かした施策の実施	165	9.4%	11.1%
9 その他	31	1.8%	1.1%
無回答	99	5.7%	10.7%
全体(有効回答数)	1,751		

<過年度調査との比較>



**問37** SDGsや持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の回答欄に3つまで記入してください。

② クロス集計

【地区別】

・全ての地区で「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減」が最も多くなっている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
筑波地区 (n=121)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 59   48.8%	子どもを中心とした貧困の解消 57   47.1%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 50   41.3%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援／脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 36   29.8%	
大穂地区 (n=104)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 58   55.8%	子どもを中心とした貧困の解消 47   45.2%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 41   39.4%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 38   36.5%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 33   31.7%
豊里地区 (n=118)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 64   54.2%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 48   40.7%	子どもを中心とした貧困の解消 46   39.0%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 41   35   24.6%	全世代の健康寿命の延伸 29   24.6%
谷田部地区 (n=242)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 123   50.8%	子どもを中心とした貧困の解消 109   45.0%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 95   39.3%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 87   36.0%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 59   24.4%
桜地区 (n=164)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 89   54.3%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 69   42.1%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 63   38.4%	子どもを中心とした貧困の解消 62   37.8%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 45   27.4%
荻崎地区 (n=174)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 90   51.7%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止／子どもを中心とした貧困の解消 66   37.9%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 58   33.3%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援／生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 42   24.1%	
研究学園地区 (n=507)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 283   55.8%	子どもを中心とした貧困の解消 217   42.8%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 205   40.4%	生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 162   32.0%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 157   31.0%
TX沿線地区 (n=321)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 173   53.9%	子どもを中心とした貧困の解消 139   43.3%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 121   37.7%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 112   34.9%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 111   34.6%

【年齢別】

- ・20歳代、75歳以上以外の全ての年齢で「食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減」が最も多くなっている。
- ・10歳代から30歳代では「女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援」が上位に入っている。
- ・20歳代では「子どもを中心とした貧困の解消」、75歳以上では「プラスチックの推進による海洋汚染等の防止」が最も多くなっている。

回答順	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代 (n=27)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 17   63.0%	子どもを中心とした貧困の解消 14   51.9%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援／脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 10   37.0%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 6   22.2%	
20歳代 (n=189)	子どもを中心とした貧困の解消 100   52.9%	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 93   49.2%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 77   40.7%	生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 63   33.3%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 55   29.1%
30歳代 (n=284)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 142   50.0%	子どもを中心とした貧困の解消 130   45.8%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 116   40.8%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 111   39.1%	生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 109   38.4%
40歳代 (n=419)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 232   55.4%	子どもを中心とした貧困の解消 203   48.4%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 172   41.1%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 135   32.2%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 119   28.4%
50歳代 (n=289)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 168   58.1%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 125   43.3%	子どもを中心とした貧困の解消 121   41.9%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 98   33.9%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 71   24.6%
60～64歳 (n=134)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 74   55.2%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 54   40.3%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減／子どもを中心とした貧困の解消 52   38.8%	全世代の健康寿命の延伸 37   27.6%	
65～69歳 (n=147)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 74   50.3%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 67   45.6%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 60   40.8%	子どもを中心とした貧困の解消 42   28.6%	生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 37   25.2%
70～74歳 (n=158)	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 95   60.1%	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 67   42.4%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 63   39.9%	子どもを中心とした貧困の解消 52   32.9%	女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援 34   21.5%
75歳以上 (n=100)	脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止 47   47.0%	食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負担の低減 43   43.0%	地産地消の推進による地元農業の推進と環境負担の低減 28   28.0%	子どもを中心とした貧困の解消／生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施 27   27.0%	

12 幸福度について

**問 38** あなたは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。  
あてはまる数字（点数）を選んでください。 <〇は1つ>

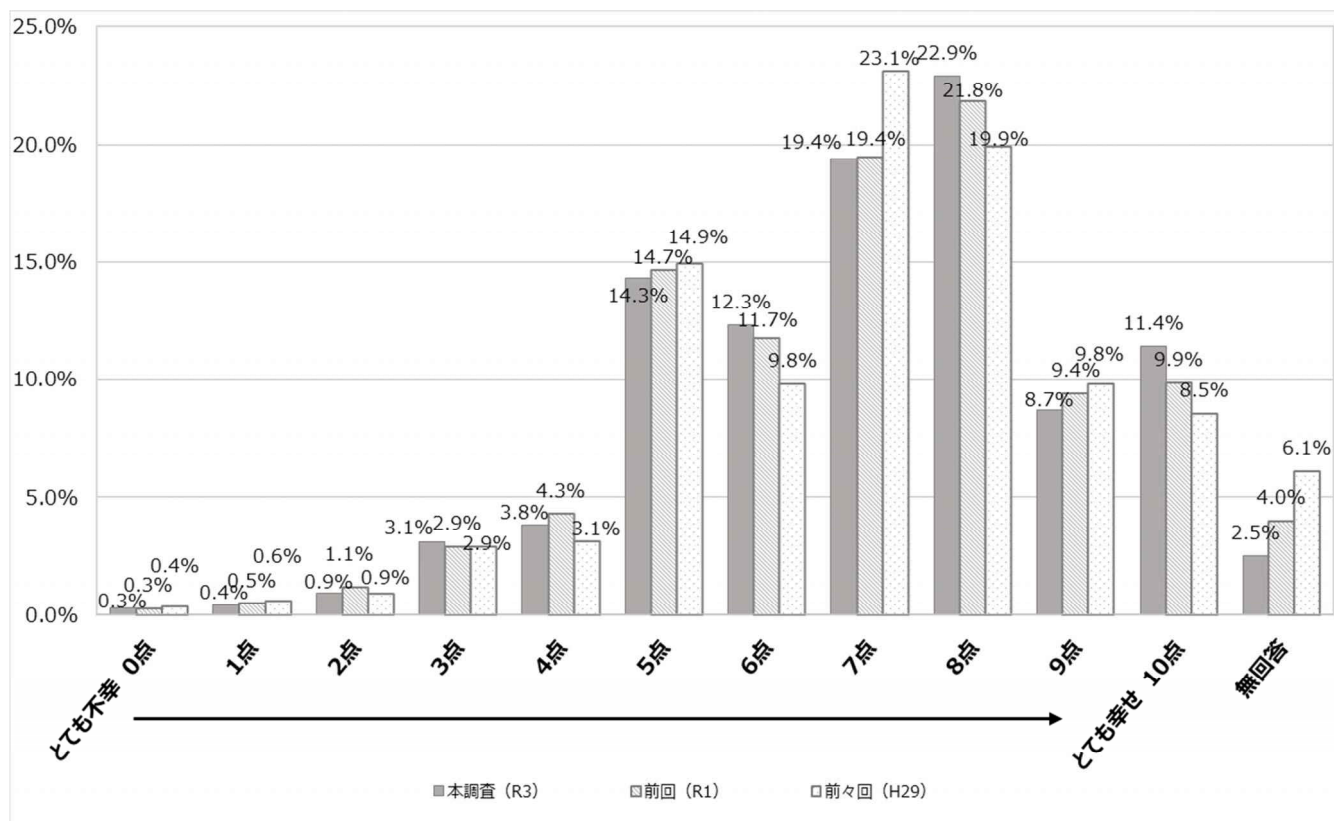
① 全体集計の結果

●現在の幸福度は、全体の平均点は「7.01点」

・幸福度については、「8点」が403人(22.9%)で最も多く、「7点」が339人(19.4%)、「5点」が251人(14.3%)、「6点」が215人(12.3%)で続いている。

選択肢		幸福度											無回答	全体
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		
本調査 (R3)	回答数(人)	5	7	15	54	67	251	215	339	403	152	199	44	1,751
	構成比	0.3%	0.4%	0.9%	3.1%	3.8%	14.3%	12.3%	19.4%	22.9%	8.7%	11.4%	2.5%	100.0%
前回 (R1)	構成比	0.3%	0.5%	1.1%	2.9%	4.3%	14.7%	11.7%	19.4%	21.8%	9.4%	9.9%	4.0%	100.0%
前々回 (H29)	構成比	0.4%	0.6%	0.9%	2.9%	3.1%	14.9%	9.8%	23.1%	19.9%	9.8%	8.5%	6.1%	100.0%

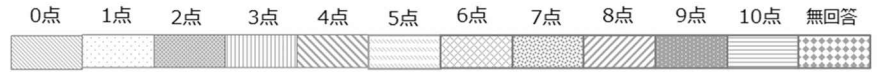
<過年度調査との比較>



## 12 幸福度について

**問 38** あなたは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。  
あてはまる数字（点数）を選んでください。 <〇は1つ>

### ② クロス集計



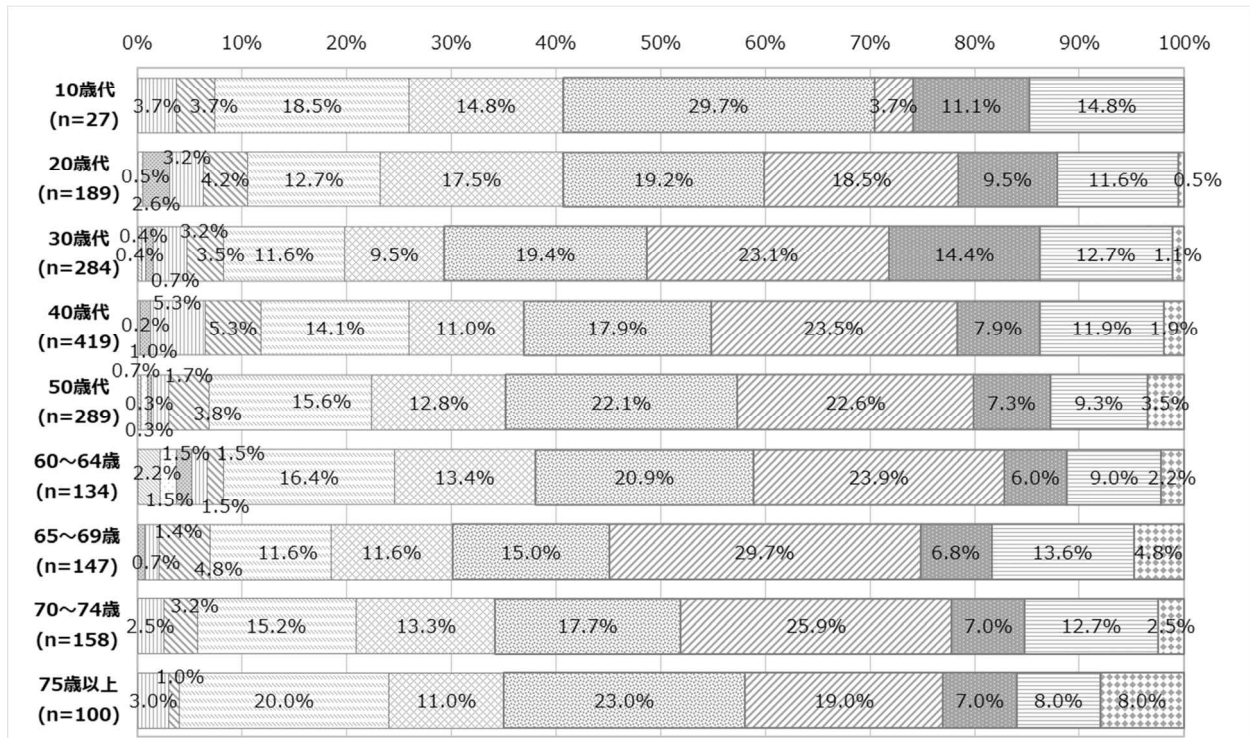
#### 【地区別】

- ・全ての地区で6点以上の割合が60%を超えている。
- ・研究学園地区、TX沿線地区では6点以上の割合が80%を超えている。



#### 【年齢別】

- ・全ての年齢で6点以上の割合が65%を超えている。
- ・10歳代から30歳代、65～69歳では「9点/10点」の割合が20%を超えている。

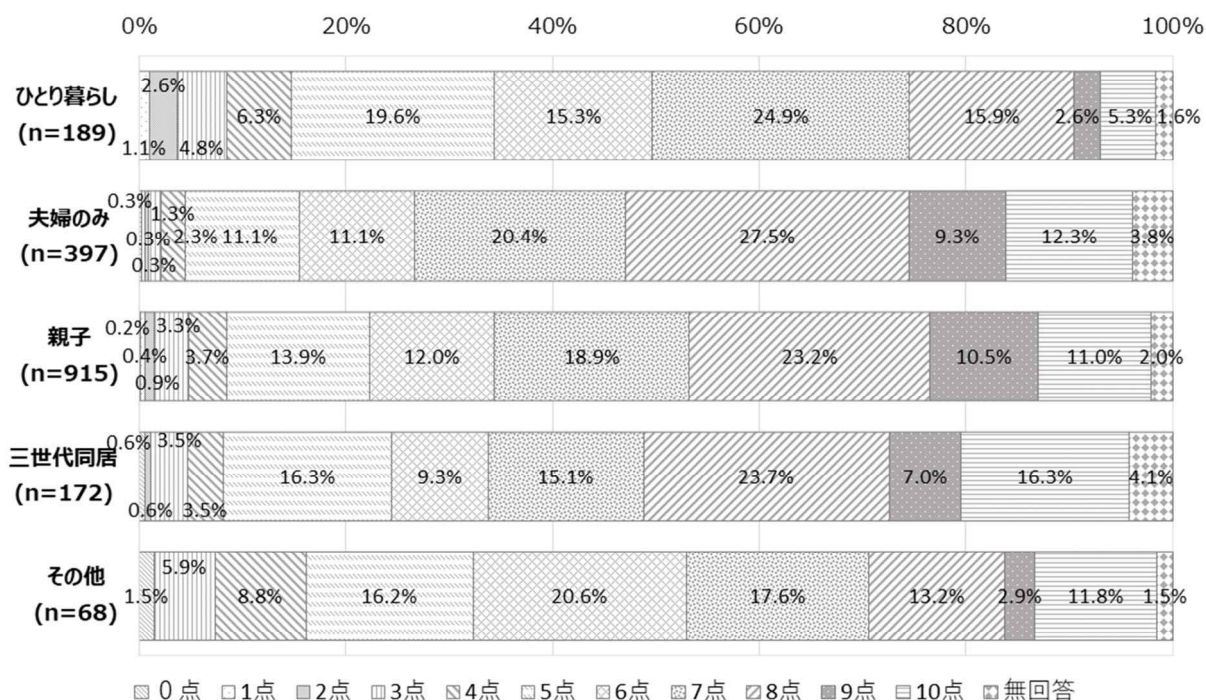






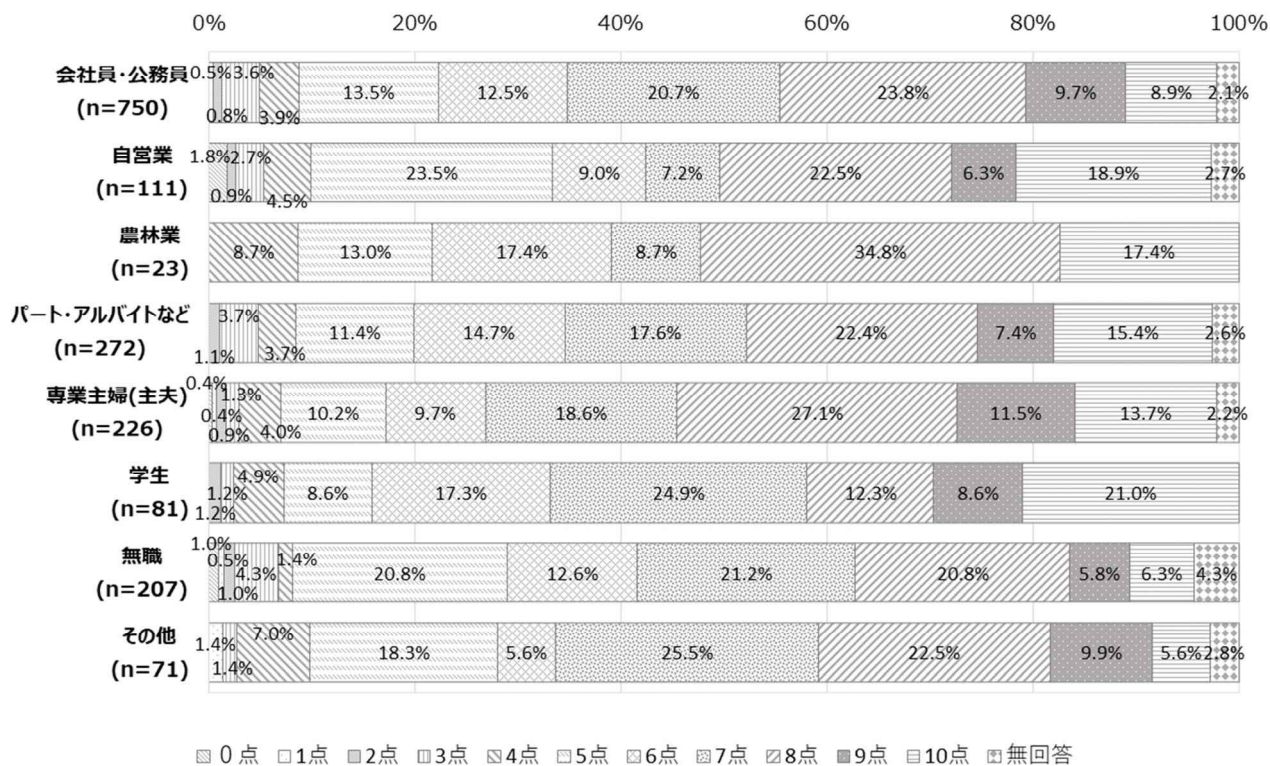
【世帯構成別】

- ・夫婦のみ、親子、三世帯同居では6点以上の割合が70%を超えている。
- ・三世帯同居では10点の割合が15%を超えている。



【職業別】

- ・自営業、無職、その他以外の全ての職業で6点以上の割合が70%を超えている。
- ・学生では10点の割合が20%を超えている。



**問 39** あなたが、自分の幸福度を判断する際に特に重視することは何ですか。  
当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入して下さい。

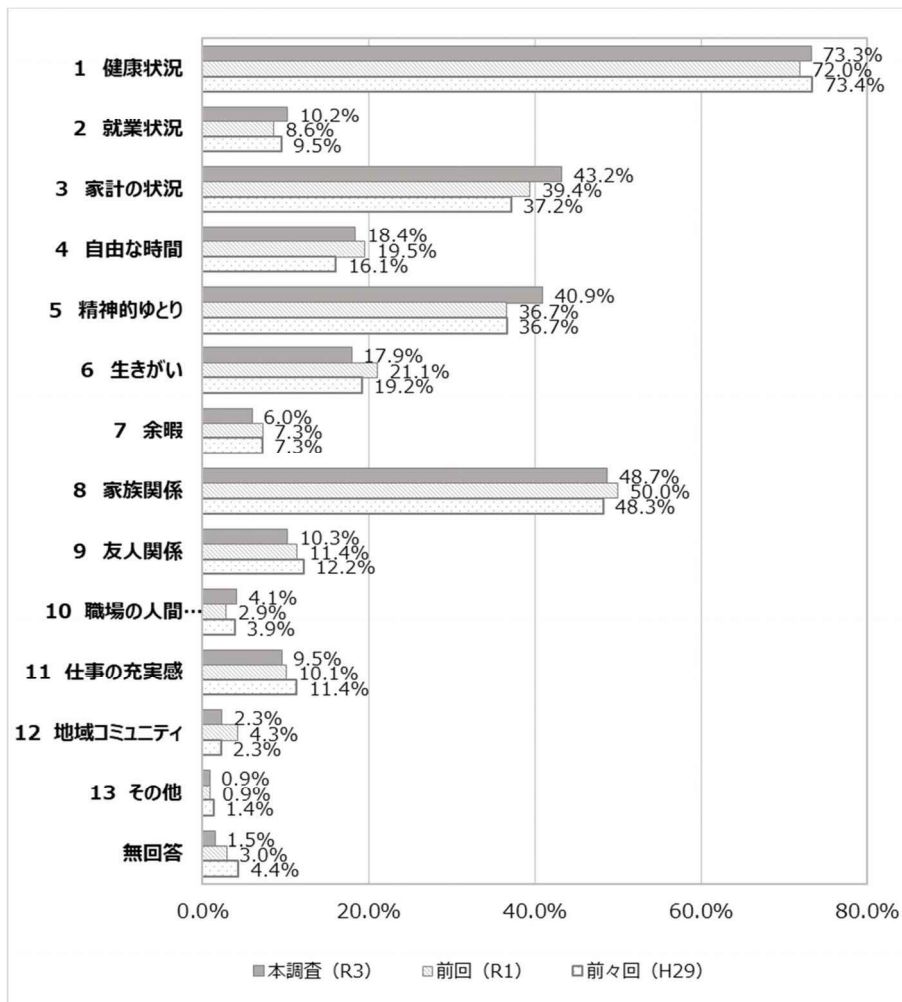
① 全体集計の結果

●幸福度を判断する際に特に重視することは、「健康状況」が約7割

・幸福度を判断する際に特に重視することについては、「健康状況」が1,283人(73.3%)で最も多く、「家族関係」が853人(48.7%)、「家計の状況」が757人(43.2%)、「精神的ゆとり」が717人(40.9%)が続いている。

選択肢	本調査 (R3)		前回 (R1)	前々回 (H29)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
1 健康状況	1,283	73.3%	72.0%	73.4%
2 就業状況	179	10.2%	8.6%	9.5%
3 家計の状況	757	43.2%	39.4%	37.2%
4 自由な時間	322	18.4%	19.5%	16.1%
5 精神的ゆとり	717	40.9%	36.7%	36.7%
6 生きがい	314	17.9%	21.1%	19.2%
7 余暇	105	6.0%	7.3%	7.3%
8 家族関係	853	48.7%	50.0%	48.3%
9 友人関係	180	10.3%	11.4%	12.2%
10 職場の人間関係	72	4.1%	2.9%	3.9%
11 仕事の充実感	167	9.5%	10.1%	11.4%
12 地域コミュニティ	41	2.3%	4.3%	2.3%
13 その他	15	0.9%	0.9%	1.4%
無回答	27	1.5%	3.0%	4.4%
全体(有効回答数)	1,751			

<過年度調査との比較 (項目順) >





**問 39** あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。  
当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入して下さい。

## ② クロス集計

### 【地区別】

- 全ての地区で「健康状況」が最も多く、「家族関係」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=121)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	98	81.0%	65	53.7%	60	49.6%	37	30.6%	20	16.5%
大穂地区 (n=104)	健康状況		家族関係		家計の状況／精神的ゆとり				生きがい	
	84	80.8%	50	48.1%	43		41.3%		18	17.3%
豊里地区 (n=118)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		生きがい	
	84	71.2%	56	47.5%	54	45.8%	47	39.8%	26	22.0%
谷田部地区 (n=242)	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	183	75.6%	105	43.4%	100	41.3%	95	39.3%	48	19.8%
桜地区 (n=164)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		自由な時間	
	123	75.0%	72	43.9%	70	42.7%	67	40.9%	34	20.7%
荻崎地区 (n=174)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	139	79.9%	79	45.4%	68	39.1%	62	35.6%	37	21.3%
研究学園地区 (n=507)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	360	71.0%	251	49.5%	217	42.8%	216	42.6%	97	19.1%
TX沿線地区 (n=321)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	212	66.0%	180	56.1%	150	46.7%	140	43.6%	64	19.9%

### 【年齢別】

- 20歳代以外の全ての年齢で「健康状況」が最も多くなっている。20歳代では「精神的ゆとり」が最も多くなっている。
- 10歳代から20歳代、60～64歳を除く全ての年齢で「家族関係」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=27)	健康状況		友人関係		精神的ゆとり		自由な時間		生きがい／家族関係	
	15	55.6%	14	51.9%	12	44.4%	11	40.7%	8	29.6%
20歳代 (n=189)	精神的ゆとり		健康状況		自由な時間		家族関係／家計の状況			
	103	54.5%	94	49.7%	67	35.4%	63		33.3%	
30歳代 (n=284)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	173	60.9%	145	51.1%	134	47.2%	126	44.4%	60	21.1%
40歳代 (n=419)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	295	70.4%	233	55.6%	198	47.3%	168	40.1%	68	16.2%
50歳代 (n=289)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい／自由な時間	
	224	77.5%	142	49.1%	127	43.9%	109	37.7%	47	16.3%
60～64歳 (n=134)	健康状況		家計の状況		精神的ゆとり		家族関係		生きがい	
	117	87.3%	63	47.0%	62	46.3%	57	42.5%	23	17.2%
65～69歳 (n=147)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	135	91.8%	73	49.7%	69	46.9%	54	36.7%	29	19.7%
70～74歳 (n=158)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	141	89.2%	88	55.7%	61	38.6%	56	35.4%	27	17.1%
75歳以上 (n=100)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	85	85.0%	43	43.0%	35	35.0%	26	26.0%	23	23.0%

## 12 幸福度について

### 【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「健康状況」が最も多くなっている。
- ・ひとり暮らし、親子、三世帯同居、その他では「家計の状況」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=189)	健康状況		精神的ゆとり		家計の状況		生きがい		自由な時間	
	123	65.1%	76	40.2%	73	38.6%	51	27.0%	47	24.9%
夫婦のみ (n=397)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		生きがい	
	328	82.6%	206	51.9%	165	41.6%	162	40.8%	67	16.9%
親子 (n=915)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	644	70.4%	496	54.2%	412	45.0%	377	41.2%	169	18.5%
三世帯同居 (n=172)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	134	77.9%	86	50.0%	76	44.2%	67	39.0%	32	18.6%
その他 (n=68)	健康状況		精神的ゆとり		家計の状況		家族関係		自由な時間	
	45	66.2%	30	44.1%	29	42.6%	27	39.7%	17	25.0%

### 【職業別】

- ・全ての職業で「健康状況」が最も多くなっている。
- ・学生以外の全ての職業で「家族関係」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=750)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	502	66.9%	374	49.9%	311	41.5%	301	40.1%	140	18.7%
自営業 (n=111)	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		生きがい	
	91	82.0%	49	44.1%	47	42.3%	41	36.9%	22	19.8%
農林業 (n=23)	健康状況		家族関係		家計の状況		生きがい		自由な時間	
	22	95.7%	12	52.2%	8	34.8%	7	30.4%	6	26.1%
パート・アルバイトなど (n=272)	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間	
	201	73.9%	147	54.0%	135	49.6%	117	43.0%	37	13.6%
専業主婦(主夫) (n=226)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	195	86.3%	139	61.5%	104	46.0%	101	44.7%	32	14.2%
学生 (n=81)	健康状況		精神的ゆとり		自由な時間		友人関係		家族関係	
	46	56.8%	43	53.1%	35	43.2%	30	37.0%	22	27.2%
無職 (n=207)	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		生きがい	
	171	82.6%	87	42.0%	85	41.1%	76	36.7%	45	21.7%
その他 (n=71)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		仕事の充実感	
	49	69.0%	36	50.7%	31	43.7%	27	38.0%	13	18.3%

問 40 あなたは、心配事や困っていることはありますか。

〈○は当てはまるものすべて〉

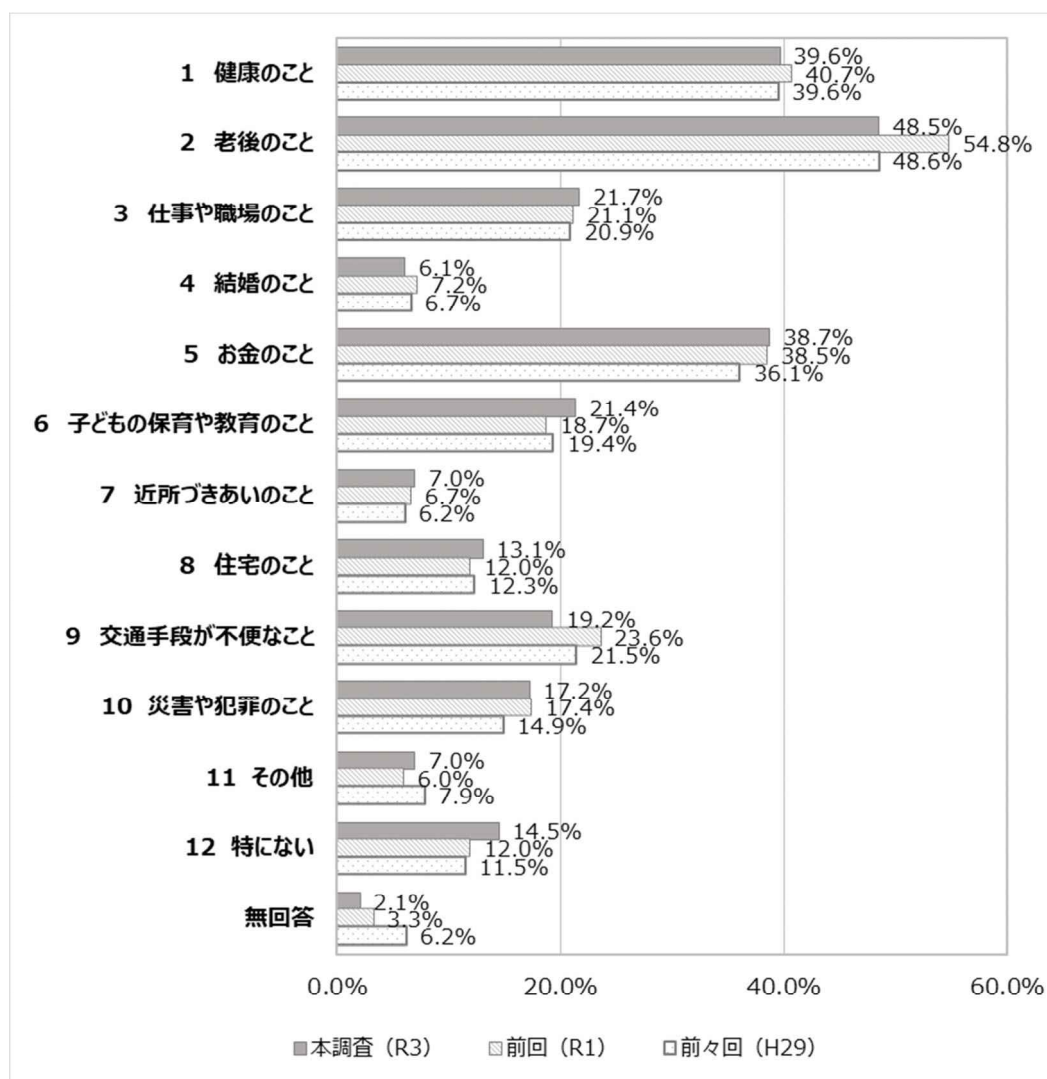
## ① 全体集計の結果

## ●心配事や困っていることは、「老後のこと」が5割近く

・心配事や困っていることについては、「老後のこと」が849人(48.5%)で最も多く、「健康のこと」が694人(39.6%)、「お金のこと」が678人(38.7%)、「仕事や職場のこと」が380人(21.7%)が続いている。

選択肢	本調査(R3)		前回(R1)	前々回(H29)
	回答数(人)	構成比	構成比	構成比
1 健康のこと	694	39.6%	40.7%	39.6%
2 老後のこと	849	48.5%	54.8%	48.6%
3 仕事や職場のこと	380	21.7%	21.1%	20.9%
4 結婚のこと	107	6.1%	7.2%	6.7%
5 お金のこと	678	38.7%	38.5%	36.1%
6 子どもの保育や教育のこと	374	21.4%	18.7%	19.4%
7 近所づきあいのこと	122	7.0%	6.7%	6.2%
8 住宅のこと	229	13.1%	12.0%	12.3%
9 交通手段が不便なこと	337	19.2%	23.6%	21.5%
10 災害や犯罪のこと	302	17.2%	17.4%	14.9%
11 その他	122	7.0%	6.0%	7.9%
12 特にない	254	14.5%	12.0%	11.5%
無回答	36	2.1%	3.3%	6.2%
全体(有効回答数)	1,751			

〈過年度調査との比較(項目順)〉



## 12 幸福度について

問40 あなたは、心配事や困っていることはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

### ② クロス集計

#### 【地区別】

・全ての地区で「老後のこと」が最も多く、「お金のこと」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=121)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		災害や犯罪のこと	
	65	53.7%	60	49.6%	56	46.3%	35	28.9%	27	22.3%
大穂地区 (n=104)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		仕事や職場のこと		子どもの保育や教育のこと	
	59	56.7%	48	46.2%	46	44.2%	28	26.9%	21	20.2%
豊里地区 (n=118)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		特にない	
	64	54.2%	51	43.2%	44	37.3%	29	24.6%	23	19.5%
谷田部地区 (n=242)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		災害や犯罪のこと		交通手段が不便なこと	
	133	55.0%	103	42.6%	91	37.6%	53	21.9%	49	20.2%
桜地区 (n=164)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	79	48.2%	69	42.1%	65	39.6%	38	23.2%	31	18.9%
荃崎地区 (n=174)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	91	52.3%	79	45.4%	70	40.2%	49	28.2%	35	20.1%
研究学園地区 (n=507)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		仕事や職場のこと		子どもの保育や教育のこと	
	229	45.2%	189	37.3%	176	34.7%	116	22.9%	104	20.5%
TX沿線地区 (n=321)	老後のこと		子どもの保育や教育のこと		お金のこと		健康のこと		仕事や職場のこと	
	129	40.2%	121	37.7%	113	35.2%	112	34.9%	90	28.0%

#### 【年齢別】

・10歳代から30歳代では「お金のこと」、40歳代から60歳代では「老後のこと」、70歳以上では「健康のこと」が最も多くなっている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
10歳代 (n=27)	お金のこと		健康のこと		仕事や職場のこと		老後のこと		交通手段が不便なこと／特にな	
	13	48.1%	9	33.3%	8	29.6%	6	22.2%	5	18.5%
20歳代 (n=189)	お金のこと		仕事や職場のこと		老後のこと		健康のこと		結婚のこと	
	91	48.1%	79	41.8%	51	27.0%	50	26.5%	38	20.1%
30歳代 (n=284)	お金のこと		子どもの保育や教育のこと		老後のこと		健康のこと		仕事や職場のこと	
	143	50.4%	124	43.7%	121	42.6%	102	35.9%	86	30.3%
40歳代 (n=419)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		子どもの保育や教育のこと		仕事や職場のこと	
	226	53.9%	185	44.2%	163	38.9%	161	38.4%	121	28.9%
50歳代 (n=289)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		仕事や職場のこと		住宅のこと	
	176	60.9%	119	41.2%	108	37.4%	65	22.5%	48	16.6%
60～64歳 (n=134)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		特にない	
	86	64.2%	62	46.3%	43	32.1%	27	20.1%	21	15.7%
65～69歳 (n=147)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		特にない		災害や犯罪のこと	
	72	49.0%	63	42.9%	35	23.8%	34	23.1%	25	17.0%
70～74歳 (n=158)	健康のこと		老後のこと		交通手段が不便なこと		お金のこと		災害や犯罪のこと	
	75	47.5%	68	43.0%	52	32.9%	36	22.8%	28	17.7%
75歳以上 (n=100)	健康のこと		老後のこと		交通手段が不便なこと		お金のこと		災害や犯罪のこと／特にない	
	49	49.0%	41	41.0%	37	37.0%	22	22.0%	14	14.0%

## 【世帯構成別】

- ・全ての世帯構成で「老後のこと」が最も多く、「健康のこと」「お金のこと」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=189)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		仕事や職場のこと		結婚のこと	
	86	45.5%	81	42.9%	71	37.6%	57	30.2%	43	22.8%
夫婦のみ (n=397)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		特にない	
	190	47.9%	162	40.8%	114	28.7%	84	21.2%	70	17.6%
親子 (n=915)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		子どもの保育や教育のこと		仕事や職場のこと	
	446	48.7%	371	40.5%	353	38.6%	300	32.8%	225	24.6%
三世同居 (n=172)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		子どもの保育や教育のこと／交通手段が不便なこと			
	91	52.9%	80	46.5%	77	44.8%	34		19.8%	
その他 (n=68)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		仕事や職場のこと		災害や犯罪のこと	
	32	47.1%	28	41.2%	27	39.7%	19	27.9%	16	23.5%

## 【住まい別】

- ・全ての住まいで「老後のこと」「お金のこと」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建(持ち家) (n=1,165)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		子どもの保育や教育のこと	
	591	50.7%	485	41.6%	416	35.7%	255	21.9%	245	21.0%
一戸建(借家) (n=35)	お金のこと		老後のこと		健康のこと		仕事や職場のこと		子どもの保育や教育のこと ／住宅のこと／特にない	
	22	62.9%	20	57.1%	12	34.3%	10	28.6%	6	17.1%
集合住宅(分譲) (n=151)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		仕事や職場のこと／子どもの保育や教育のこと			
	67	44.4%	57	37.7%	48	31.8%	36		23.8%	
集合住宅(賃貸) (n=333)	お金のこと		老後のこと		健康のこと		仕事や職場のこと		子どもの保育や教育のこと	
	163	48.9%	144	43.2%	114	34.2%	104	31.2%	77	23.1%
公営住宅(公社・ 県営・市営) (n=17)	老後のこと		健康のこと／お金のこと				仕事や職場のこと／交通手段が不便なこと			
	9	52.9%	8		47.1%		3		17.6%	
社宅・官舎 (n=31)	健康のこと		お金のこと		老後のこと		仕事や職場のこと／子どもの保育や教育のこと			
	11	35.5%	10	32.3%	9	29.0%	8		25.8%	
その他 (n=15)	お金のこと		老後のこと／交通手段が不便なこと				健康のこと		仕事や職場のこと	
	9	60.0%	7		46.7%		5	33.3%	4	26.7%



## 13 自由意見

## (1) 記入者数と意見数

自由意見として、全回答者1,751人のうち、475人(27.1%)から769件の意見があった。

※1人で複数の意見を記入している場合は、内容ごとに分けて集計した。

## (2) つくば市未来構想に基づく意見の集計

「つくば市未来構想」の4つのまちづくりの理念ごとに集計し、いずれにも入らないものは「⑤その他」として集計している。複数人からあった意見を「主な意見」として記載した。

理念ごとに見ると、「誰もが自分らしく生きるまち」に関する意見が最も多く、次いで「魅力をみんなで創るまち」に関する意見が多くなっている。

項目ごとに見ると、「誰もが自分らしく生きるまち」の「公共交通」に関する意見が最も多く、次いで「魅力をみんなで創るまち」の「中心市街地活性化」、「市民のために科学技術をいかすまち」の「行政運営」に関する意見が多くなっている。

## ①魅力をみんなで創るまち

※( )は意見数

項目	主な意見(要約)
地域コミュニティ(39)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の新設・整備、整備の拡充。</li> <li>・図書館の新設・設備・整備の拡充及び利用時間延長。</li> <li>・駐車場、駐輪場が不便で料金が安い。など</li> </ul>
農業振興(6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化等による後継者問題への対策。</li> <li>・子供が農業に触れ合い参加できる機会を設ける。</li> <li>・地産地消。など</li> </ul>
観光振興(8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光PRが不足している。</li> <li>・温泉施設を作ってほしい。</li> <li>・観光振興のための交通網改善。など</li> </ul>
スポーツ・レクリエーション・イベント(16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばアリーナやコンサートホール等施設が欲しい。</li> <li>・スポーツ施設を増やしてほしい。</li> <li>・成人式が出来なかった世代に改めて成人式をしてあげてほしい。</li> <li>・全世代の興味を惹くようなイベント開催してほしい。など</li> </ul>
中心市街地活性化(58)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心部と周辺地域との開発・整備の格差が大きい。</li> <li>・つくば駅周辺の開発・整備に力を入れて欲しい。</li> <li>・大型マンション乱立への不満。など</li> </ul>
情報発信(31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の取組が見えないため、市民が分かりやすいように情報発信して欲しい。</li> <li>・市の広報紙やホームページ等を、もっと充実させて欲しい。</li> <li>・SNS等をもっと活用してほしい。など</li> </ul>

## ②誰もが自分らしく生きるまち

項目		主な意見(要約)
高齢者福祉(18)	高齢者の生活環境支援(14)	・老後の生活が心配である。 ・高齢者支援が充実していない。 ・年金が少なく、介護保険料等が負担。 など
	介護(4)	・介護施設の料金が安い。 ・介護保険が活用できるか不安。 など
医療・健康診断(48)		・コロナの影響による生活変化が大きい。 ・ワクチン接種会場不足など、コロナへの対応や支援不足。 ・産婦人科が少ない。 ・高度医療可能な病院の増加。 など
障害・福祉(12)		・バリアフリーや障がい者支援を充実させてほしい。 ・福祉をもっと充実させてほしい。 など
防災対策(6)		・防災放送を取り入れ、活用してほしい。 ・自然災害対策の強化。 など
防犯(33)	街路灯整備(16)	・街灯がとてもないため、安全のためにも街灯を設置して欲しい。 ・夜は暗くて怖い。 など
	防犯対策(17)	・交番や監視カメラの設置、パトロール等の防犯対策を強化して欲しい。 ・人口増加等で犯罪増加、事故の多角化の懸念。 ・空き巣・車の盗難が多い。 ・空き家や廃墟が多く、防犯面が不安である。 など
都市計画(56)	景観(8)	・自然景観が美しい。 ・空き家や廃墟が景観として悪い。 など
	公園・緑地(19)	・遊具の設置・整備をし、充実させてほしい。 ・公園利用者のマナーの悪さ。 ・公園の緑の整備不足。 など
	都市計画全般(29)	・旧公務員住宅の土地等未使用の土地活用。 ・誰もが笑顔で住みやすい、先を見据えたまちづくりを住民とともに考えて欲しい。 ・中心地と周辺地域の格差をなくしてほしい。 など
上下水道(15)	上下水道整備(10)	・水道水がまずい・汚い。 ・上下水道が整備されていない。 など
	上下水道料金(5)	・上下水道料金が安い。 など
道路整備・維持管理(53)	道路整備(32)	・凸凹や白泉等道路整備が不十分である。 ・歩道が確保されていない道や整備されていない道が多い。 など
	道路環境(21)	・街路樹や雑草等が運転の妨げになっていて、危ない。 ・筑波山の2輪終日通行禁止を解除してもらいたい。 など
公共交通(60)	バス・タクシー(14)	・バスの経路を拡充し、本数やバス停を増やして欲しい。 ・路線バスの料金が安い。 など
	つくばエクスプレス(6)	・つくばエクスプレスの延長。 ・つくばエクスプレスの料金を安くして欲しい。 など
	公共交通網(40)	・公共交通を充実させて欲しい。 ・車がないと生活が不便である。 ・公共交通網の運賃が高い。 など
自動車・自転車交通(37)	自動車交通(25)	・スピードの出し過ぎ等、運転マナーが悪く事故も多い。 ・自動車渋滞が多い。 など
	自転車交通(12)	・自転車専用道路の整備が不十分である。 ・自転車の運転マナーが悪い。 など
自然環境の保全(11)		・緑が失われている。 ・地球への負担を減らす努力や自然について学ぶ場を増やしてほしい。 など

## 13 自由意見

### ③未来をつくる人が育つまち

項目		主な意見(要約)
子育て(23)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援が不足している。</li> <li>・保育園や児童館等の施設が少ない。</li> <li>・子育てしやすい環境づくりをして欲しい。</li> <li>・子供が手軽に遊べる施設が少ない。 など</li> </ul>
教育(46)	学校施設(21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校を増やしてほしい。</li> <li>・校舎が老朽化している。</li> <li>・学校整備に地域格差がある。 など</li> </ul>
	教育環境(25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域格差等なく教育環境を充実させて欲しい。</li> <li>・子供の増加による教育環境の変化の対応。 など</li> </ul>
国際化の推進(7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流や交換留学等つくばならではの国際的な取り組みの推進。</li> <li>・外国人居住者に対する支援の充実。 など</li> </ul>

### ④市民のために科学技術をいかすまち

項目		主な意見(要約)
科学技術振興(16)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究施設や科学技術を身近に感じられるようにして欲しい。</li> <li>・科学技術素養の高い教育を取り入れ、子供たちが科学実験に親しめる街にして欲しい。 など</li> </ul>
商業振興(25)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば駅前にデパートやカフェ等の様々な商業施設や娯楽施設を誘致して欲しい。</li> <li>・地域格差のない商業の活性化。</li> <li>・買い物が不便である。 など</li> </ul>
雇用対策(8)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致を促進し、雇用を増やして欲しい。 など</li> </ul>
行政運営(58)	行政サービス(15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所の窓口やサービスセンター等の職員の対応が悪い。</li> <li>・市役所の手続き等のIT化を望む。</li> <li>・近場での免許更新を可能にしてほしい。 など</li> </ul>
	行財政改革(43)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の市町村と比べて税金が高く、何に使われているかも分からない。</li> <li>・税金の無駄遣いを減らしてほしい。</li> <li>・地域格差をなくしてほしい。 など</li> </ul>
生活環境(19)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・野焼や動物等による悪臭対策。</li> <li>・暴走族等の騒音対策。</li> <li>・ごみのポイ捨てが多い。</li> <li>・ごみの減量化等対策。 など</li> </ul>

### ⑤その他

項目	主な意見(要約)
アンケート(48)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの集計結果や、それがどのように反映されるのかを、市民に分かるように情報発信して欲しい。</li> <li>・項目への不満。</li> <li>・質問数が多い。 など</li> </ul>
つくば市について(12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば市の発展を願う。</li> <li>・市長への期待。 など</li> </ul>

## Ⅲ 調査票

# 令和3年（2021年）度つくば市民意識調査

## 《アンケートご協力をお願い》

皆様には、つくば市政に対して日頃から深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

つくば市では市民の皆様、市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、及び市が進める主要な施策に対するご意見をお伺いするために、市民意識調査を実施いたします。


調査票は、住民基本台帳に記載された18歳以上の男女3,000人を無作為に選ばせていただき、郵送させていただきました。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和3年（2021年）8月

つくば市長 五十嵐立青

### 【ご回答に当たってのお願い】

- 1 調査の回答は、あて名のご本人が行ってください。（どなたかに代筆いただいても結構です。）それが無理な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
  - 2 設問には、「1つ」または「複数」選んで当てはまる番号もしくは当てはまる欄に○印をつけるもの、また、当てはまる番号を「3つ」まで選んで記入するものがありますので、案内に従い回答してください。
  - 3 ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、8月31日（火）までに、切手を貼らずに郵便ポストに投かんしてください。
  - 4 ウェブ回答をご希望の方は、以下の専用ウェブサイトからID・パスワードをご入力の上ご回答いただけます。（詳細は別紙参照）  
 <専用ウェブサイト URL>  
<https://rdc.dstyleweb.com/a8wx/kyymft/>
- 
- 5 その他
    - ・お名前やご連絡先をご記入いただく必要はございません。すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、他の目的には利用いたしません。
    - ・ウェブ回答との重複を防ぐため、調査票ごとにIDを設定しておりますが、ランダムに付与しており回答者個人を特定できないようにしています。
    - ・調査結果は、広報つくば、市ホームページで公表いたします。

〈お問合せ先〉 つくば市政策イノベーション部  
 統計・データ利活用推進室  
 TEL 029-883-1111（代表）内線 6281  
 FAX 029-828-4708

※返信用封筒の受取人あて先の下にある「バーコード」は、料金受取人払のため郵便局が使用するものです。個人を特定するためのものではありません。

ID : a10001



## あなたご自身のことについて

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

- 1 あなたの性別を教えてください。いずれにもあてはまらないと考える場合は○印をつけなくても差し支えありません。 <○は1つ>

1 男性	2 女性
------	------

- 2 あなたの年齢を教えてください。 <○は1つ>

1 10歳代	4 40歳代	7 65～69歳
2 20歳代	5 50歳代	8 70～74歳
3 30歳代	6 60～64歳	9 75歳以上

- 3 あなたの世帯構成を教えてください。 <○は1つ>

1 ひとり暮らし	4 三世帯同居
2 夫婦のみ	5 その他
3 親子	

- 4 あなたの世帯（あなた自身も含めて）には、次に当てはまる方はいますか。 <○は当てはまるものすべて>

1 6歳未満の乳幼児	3 65～74歳の方
2 小中学生	4 75歳以上の方

- 5 あなたの職業（兼業の方は主たる職業）を教えてください。 <○は1つ>

1 会社員・公務員	5 専業主婦（主夫）
2 自営業	6 学生
3 農林業	7 無職
4 パート・アルバイトなど	8 その他（具体的に：_____）

- 6 あなたの現在のお住まいを教えてください。 <○は1つ>

1 一戸建（持ち家）	5 公営住宅（公社・県営・市営）
2 一戸建（借家）	6 社宅・官舎
3 集合住宅（分譲）	7 その他
4 集合住宅（賃貸）	

## 現在の住環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問1 あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。  
※合併前の旧市町村も含めてお答えください。

<○は1つ>

- 1 1年未満
- 2 1年以上5年未満
- 3 5年以上10年未満
- 4 10年以上20年未満
- 5 20年以上30年未満
- 6 30年以上

問2 あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。

<○は1つ>

- 1 ある
- 2 ない

問3 あなたは、これからもつくば市に住み続けたいと思いますか。

<○は1つ>

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1 住み続けたい         | 3 どちらかといえば住み続けたくない |
| 2 どちらかといえば住み続けたい | 4 住み続けたくない         |
|                  | 5 どちらともいえない        |

問4 あなたは、つくば市の「住み心地」についてどう感じていますか。

<○は1つ>

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい         | 3 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 4 住みにくい         |
|                 | 5 どちらともいえない     |

▶【問4で「1 住みやすい」「2 どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】

問5 住みやすいと感じる主な理由は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- |                    |
|--------------------|
| 1 豊かな自然            |
| 2 日常生活が便利          |
| 3 通勤・通学先が近い        |
| 4 交通の便が良い          |
| 5 教育・文化環境が良い       |
| 6 居住環境が良い          |
| 7 充実した医療機関・福祉サービス  |
| 8 充実した公共施設         |
| 9 暮らしていて安全         |
| 10 家族が近くにいる        |
| 11 住み慣れている         |
| 12 その他（具体的に：_____） |

▶【問4で「3 どちらかといえば住みにくい」「4 住みにくい」とお答えの方にお聞きします】

問6 住みにくいとを感じる主な理由は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- |                    |
|--------------------|
| 1 自然が少ない           |
| 2 日常生活が不便          |
| 3 通勤・通学先が遠い        |
| 4 交通の便が悪い          |
| 5 教育・文化環境が悪い       |
| 6 居住環境が悪い          |
| 7 医療機関・福祉サービスが不足   |
| 8 公共施設が不足          |
| 9 暮らしていて不安         |
| 10 家族が遠くにいる        |
| 11 住み慣れていない        |
| 12 その他（具体的に：_____） |

Ⅲ 調査票

問7 あなたは、つくば市の景観をどう思いますか。

<○は1つ>

1 優れている	3 どちらかといえば優れていない
2 どちらかといえば優れている	4 優れていない
	5 わからない

問8 つくば市の景観として、次の項目について、どう思いますか。

<1~5のいずれか1つに○>

項目	優れている	どちらかといえば優れている	どちらかといえば優れていない	優れていない	わからない
1 筑波山・宝篋山	1	2	3	4	5
2 牛久沼	1	2	3	4	5
3 田園風景	1	2	3	4	5
4 里山・平地林	1	2	3	4	5
5 研究学園都市の街並み	1	2	3	4	5
6 つくばエクスプレス駅周辺の街並み	1	2	3	4	5
7 農村集落の街並み	1	2	3	4	5
8 筑波山麓の街並み	1	2	3	4	5
9 西部・北部工業団地の街並み	1	2	3	4	5
10 ペDESTリアンデッキ (歩行者・自転車専用道路)	1	2	3	4	5
11 公園	1	2	3	4	5
12 街路樹	1	2	3	4	5
13 電線・電柱が地中化されている風景	1	2	3	4	5
14 その他(具体的に: _____)	1	2	3	4	5

問9 あなたは、つくば市に愛着を持っていますか。

<○は1つ>

1 愛着がある	3 どちらかといえば愛着がない
2 どちらかといえば愛着がある	4 愛着がない
	5 どちらともいえない

## つくば市の現状やまちづくりへの取組について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

**問 10** あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～42)の項目について、どの程度満足していますか。

<○は1つずつ>

項目		満足度				
		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
健康・福祉	1) 高齢者の福祉	1	2	3	4	5
	2) 子育て環境	1	2	3	4	5
	3) 障害者の福祉	1	2	3	4	5
	4) 生活困窮者の福祉	1	2	3	4	5
	5) 健康づくりの支援	1	2	3	4	5
	6) 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
生活環境・防犯・防災	7) 生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	1	2	3	4	5
	8) 防犯対策	1	2	3	4	5
	9) 防災対策	1	2	3	4	5
	10) 交通安全環境（通学路の安全など）	1	2	3	4	5
	11) 住宅環境	1	2	3	4	5
教育・スポーツ・文化	12) 小中一貫教育の充実	1	2	3	4	5
	13) ICT教育や科学教育の充実	1	2	3	4	5
	14) 教育環境の整備（施設の老朽化対策、設備の充実など）	1	2	3	4	5
	15) 児童生徒の支援体制整備	1	2	3	4	5
	16) スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5
	17) 文化・芸術の振興	1	2	3	4	5
	18) 文化財の保護	1	2	3	4	5
	19) 男女共同参画	1	2	3	4	5
	20) 国際化の推進	1	2	3	4	5
	21) 生涯学習の推進	1	2	3	4	5
	22) 地域交流センター、図書館等の文化施設の充実	1	2	3	4	5



### Ⅲ 調査票

項目		満足度				
		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	わからない
まちづくり	23) つくば駅周辺のにぎわい	1	2	3	4	5
	24) 低炭素社会の推進（温室効果ガスの削減など）	1	2	3	4	5
	25) 環境意識の啓発	1	2	3	4	5
	26) 自然環境や資源の保全・活用	1	2	3	4	5
	27) 公園・広場・遊び場の数	1	2	3	4	5
	28) 公共交通	1	2	3	4	5
	29) 道路整備	1	2	3	4	5
	30) 上水道整備	1	2	3	4	5
	31) 下水道整備	1	2	3	4	5
産業・観光	32) 農業の振興	1	2	3	4	5
	33) 商工業の振興	1	2	3	4	5
	34) 観光の振興	1	2	3	4	5
	35) 筑波山地域ジオパークの取組	1	2	3	4	5
地域・行政	36) 広報紙（かわら版含む）による情報発信	1	2	3	4	5
	37) ホームページ・SNS 等による情報発信	1	2	3	4	5
	38) 行政改革	1	2	3	4	5
	39) 区会・ボランティアなどの地域活動	1	2	3	4	5
	40) 科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）	1	2	3	4	5
	41) ロボットの街つくばの取組 （生活支援ロボット実用化促進など）	1	2	3	4	5
	42) 情報通信技術（I C T）を活用した行政サービス	1	2	3	4	5

▶【問 10で「3 どちらかといえは不満」または「4 不満」とお答えの方にお聞きします】

問 11 特に不満と感じる項目番号 1)～42)と、その理由を教えてください。

<3つまで>

	項目番号	理 由
1		
2		
3		

問12 あなたは、つくば市は自分らしく、自分のやりたいことができるまちであると思いますか。

<○は1つ>

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |
|                | 5 わからない          |

問13 あなたが、市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思うつくば市の魅力は何ですか。

<1~5のいずれか1つに○>

項目	自慢である 紹介したい、 自慢である	どちらかとい え、紹介し たい	どちらかとい ない	あまり紹介し たいとは思わ ない	紹介したいと 思わない	知らない
1 自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）	1	2	3	4	5	
2 科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）	1	2	3	4	5	
3 自然体験施設 （豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、こもれび六斗の森、 フォレストアドベンチャー・つくばなど）	1	2	3	4	5	
4 筑波山地域ジオパーク	1	2	3	4	5	
5 史跡（平沢官衙遺跡、小田城跡など）	1	2	3	4	5	
6 学校教育（小中一貫校、ICT教育など）	1	2	3	4	5	
7 子育て環境	1	2	3	4	5	
8 公園	1	2	3	4	5	
9 農産物	1	2	3	4	5	
10 特産品（北条米、ブルーベリー、福来みかんなど）	1	2	3	4	5	
11 物産品 （つくば産品を使った菓子や酒などの加工食品）	1	2	3	4	5	
12 まつり（まつりつくば、筑波山梅まつり、 つくばフェスティバルなど）	1	2	3	4	5	
13 自転車の街（つくば霞ヶ浦りんりんロードなど）	1	2	3	4	5	
14 ロボットの街	1	2	3	4	5	
15 つくばエクスプレス	1	2	3	4	5	
16 その他 （具体的に：_____）						

### Ⅲ 調査票

問 14 あなたは、つくば市には、市政に市民が参加できる環境が整っていると思いますか。  
<○は1つ>

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |
|                | 5 わからない          |

問 15 あなたは、市政に対する自分の意見等を、以下の方法で市に伝えたことがありますか。  
<○は当てはまるものすべて>

- |  |
|--|
| 1 「市長へのたより」等の手紙                              |
| 2 「市長へのメール」等の電子メール                           |
| 3 要望書や意見書等                                   |
| 4 電話   |
| 5 窓口での会話・筆談等                                 |
| 6 市が実施したアンケートの回答                             |
| 7 「タウンミーティング」や「意見交換会」、「ワークショップ」等市が主催する会合での発言 |
| 8 PTA を経由した意見表明                              |
| 9 区会・自治会を經由した意見表明                            |
| 10 市が開催する委員会・審議会などでの市民委員としての発言               |
| 11 パブリックコメント                                 |
| 12 その他（具体的に：_____）                           |
| 13 市に伝えたい意見がない                               |

問 16 あなたは、つくば市の市政には、市民の声が活かされていると思いますか。  
<○は1つ>

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |
|                | 5 わからない          |

## 少子高齢化への取組について

お答えは、当てはまる番号や欄に○印をつけるか、または番号をお選びください。

**問 17** あなたは、つくば市には安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると思いますか。

<○は1つ>

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |
|                | 5 わからない          |

**問 18** 安心して子どもを産み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

<○は当てはまる欄すべて>

項目		充実している	不足している	わからない
1)	子育て世帯への経済的支援（予防接種への支援、医療福祉費支給制度等）			
2)	保育施設			
3)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育			
4)	子育て支援施設			
5)	放課後児童クラブ			
6)	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談 #8000			
7)	子育てに関する相談体制（保健師訪問、メール案内、チャットボット等）			
8)	地域で子育てを支える仕組み			
9) その他	充実	（具体的に：_____）		
	不足	（具体的に：_____）		

### Ⅲ 調査票

問 19 あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。

<○は1つ>

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない
	5 わからない

問 20 高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

<○は当てはまる欄すべて>

項目		充実している	不足している	わからない
1)	健康づくりや介護予防事業			
2)	高齢者の生きがいがづくり支援（通いの場づくり等）			
3)	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）			
4)	地域で高齢者を支える仕組み（シルバークラブや民生委員等）			
5)	利用できる介護保険サービス			
6)	在宅で介護する家族への支援			
7)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業 #7119			
8)	緊急時や災害時の対策（認知症見守り訓練等を通じた見守り支援等）			
9)	情報提供（チャットボットによるよくある質問への回答等）			
10) その他	充実	（具体的に： _____）		
	不足	（具体的に： _____）		



**問 21** あなたは、豊かな高齢期を過ごすために、どのようなことが重要だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- |    |                        |
|----|------------------------|
| 1  | 健康の維持・増進を心がける          |
| 2  | 貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる      |
| 3  | 外出を主とする趣味活動（旅行やイベントなど） |
| 4  | 自宅で取り組む趣味活動（読書、手芸など）   |
| 5  | 退職後も活かせる専門的技術を身につける    |
| 6  | 夫婦・家族の関係を大切にする         |
| 7  | 友人や仲間との交流を深める          |
| 8  | 近隣や地域の人との交流を深める        |
| 9  | 職場以外の活動の場をつくっておく       |
| 10 | インターネットなどの情報機器や端末の利活用  |
| 11 | その他（具体的に_____）         |

**問 22** あなたは、次に掲げる社会参加活動について、高齢者になっても生涯を通じて参加してみたいと思う活動はありますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- |    |                                |
|----|--------------------------------|
| 1  | 高齢者の見守りや介護支援等の活動               |
| 2  | 保育の手伝い等の子育て支援活動                |
| 3  | 障害者の社会参加支援等の活動                 |
| 4  | 自治会や民生委員等の地域を支える活動             |
| 5  | スポーツクラブや体操教室等、身体を動かす活動         |
| 6  | サークルや交流サロン等、グループで行う趣味活動        |
| 7  | 環境美化や交通安全、防犯、防災等のまちづくり活動       |
| 8  | 共同農園等での農作業活動                   |
| 9  | 市や大学等が実施する公開講座の受講等の学習・教養を深める活動 |
| 10 | パソコン・スマホ教室等の新しい技術を学ぶ活動         |
| 11 | 自身の経験や技術を活かして収入が得られる活動         |
| 12 | その他（具体的に_____）                 |



## 交通環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問26 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- |        |                   |
|--------|-------------------|
| 1 鉄道   | 6 自家用車            |
| 2 路線バス | 7 オートバイ           |
| 3 つくバス | 8 自転車             |
| 4 つくタク | 9 その他（具体的に：_____） |
| 5 タクシー |                   |

問27 あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車と共に安全で快適に通行できていると思いますか。

<○は1つ>

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 できている         | 3 どちらかといえばできていない |
| 2 どちらかといえばできている | 4 できていない         |
|                 | 5 わからない          |

問28 つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。

<○は1つ>

- |                            |
|----------------------------|
| 1 公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち |
| 2 自動車がスムーズに走行できるまち         |
| 3 自転車を安心・便利に利用できるまち        |
| 4 安心・便利に歩くことができるまち         |

## 運動習慣について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問29 あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含みます。

<○は1つ>

- |            |
|------------|
| 1 週に3日以上   |
| 2 週に1～2日   |
| 3 月に1～3日   |
| 4 3か月に1～2日 |
| 5 年に1～3日   |
| 6 しなかった    |

## つくば駅周辺地区の活性化について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または番号をお選びください。

問30 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

<○は1つ>

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1 ほぼ毎日    | 4 月1、2回程度  |
| 2 週2、3回程度 | 5 年数回程度    |
| 3 週1回程度   | 6 まったく訪れない |

▶【問30で1～5を選択した方にお聞きします】

問31 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<○は1つ>

- |                   |
|-------------------|
| 1 娯楽              |
| 2 趣味              |
| 3 日常の用事           |
| 4 仕事              |
| 5 移動・乗り換え         |
| 6 その他（具体的に：_____） |

問32 あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- |   |
|---|
| 1 ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）を活用した歩きやすい空間づくり |
| 2 商業施設や公共施設を周遊するバスの運行                     |
| 3 子どもが遊べる広場の設置                            |
| 4 オープンカフェや朝市の設置                           |
| 5 路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテインメントの提供      |
| 6 科学技術を展示・体験できる場の提供                       |
| 7 商業施設の誘致                                 |
| 8 駐車場の拡充                                  |
| 9 公共交通でのアクセスの向上                           |
| 10 バーベキューなどが楽しめる広場                        |
| 11 その他（具体的に：_____）                        |
| 12 特に必要ない（今のままで十分）                        |

## 科学のまちについて

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問 33 あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることがありますか。  
 <○は1つ>

- |              |         |
|--------------|---------|
| 1 ある         | 3 あまりない |
| 2 どちらかといえばある | 4 ない    |
|              | 5 わからない |

問 34 あなたは、つくば市は科学のまちならではの先端的な製品・サービスが、いち早く暮らしの中に活かされていると思いますか。  
 <○は1つ>

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |
|                | 5 わからない          |

## 国際都市つくばについて

お答えは、当てはまる番号をお選びください。

問 35 あなたは、「国際都市」として、つくば市が今後、強化すべき取り組みは何だと思えますか。当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- |                              |
|------------------------------|
| 1 相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援   |
| 2 外国人市民への日本語学習支援             |
| 3 留学生への支援                    |
| 4 案内表示・施設窓口での多言語対応           |
| 5 学校での国際理解教育                 |
| 6 外国人と交流・協働する機会の提供           |
| 7 世界に向けたつくば市の魅力の発信           |
| 8 海外の芸術・文化・芸能公演              |
| 9 国際関係機関・団体との連携による国際化推進体制の充実 |
| 10 その他（具体的に：_____）           |
| 11 特に必要ない（今のままで十分）           |

## SDGs（持続可能な開発目標）について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または番号をお選びください。

**問 36** あなたのSDGs（※1）に関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。

<○は1つ>

- 1 よく知っている
- 2 少し知っている
- 3 名前だけは知っている
- 4 まったく知らない（今回の調査で初めて知った）

※1 SDGsとは

Sustainable Development Goals の略。2015年の国連サミットで採択された2030年までに達成するための「持続可能な開発目標」です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。つくば市は、SDGsの理念を「持続可能都市ヴィジョン」として反映し、取組を進めています。

**問 37** SDGsや持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- 1 子どもを中心とした貧困の解消
- 2 全世代の健康寿命の延伸
- 3 生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施
- 4 女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援
- 5 脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止
- 6 食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減
- 7 地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減
- 8 市民、議会、団体、企業等のパートナーシップを生かした施策の実施
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）



## 幸福度について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または当てはまる番号をお選びください。

**問38** あなたは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。当てはまる数字（点数）を選んでください。

<○は1つ>

とても 幸せ	←									とても 不幸
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

**問39** あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

1	健康状況
2	就業状況
3	家計の状況
4	自由な時間
5	精神的ゆとり
6	生きがい
7	余暇
8	家族関係
9	友人関係
10	職場の人間関係
11	仕事の充実感
12	地域コミュニティ
13	その他（具体的に： _____）

問 40 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

- 1 健康のこと
- 2 老後のこと
- 3 仕事や職場のこと
- 4 結婚のこと
- 5 お金のこと
- 6 子どもの保育や教育のこと
- 7 近所づきあいのこと
- 8 住宅のこと
- 9 交通手段が不便なこと
- 10 災害や犯罪のこと
- 11 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 12 特にない



---

---

令和3年（2021年）度つくば市民意識調査報告書

令和3年（2021年）年12月

発行 つくば市

調査・編集 つくば市 政策イノベーション部

統計・データ利活用推進室

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

電話 029-883-1111（代表）

---

---